

30年前、4つの土壌を混ぜ合わせ、新しい苗を植えました

その苗は、水を与えられ、肥料を施され

多くの人に見守られながら、地面に根を張り育っています

そこに皆が集まり、助け合い

笑顔と安らぎが生まれますようにと——

One for all, All for one

30th ANNIVERSARY

Osaka City Agricultural Cooperative

大阪市農業協同組合 合併30周年記念誌



目次 Contents

◆ ごあいさつ …………… 2	◆ JA 大阪市の組織・事業
(思い出写真館) …………… 8	組織図 …………… 44
◆ 祝辞 …………… 12	現役員紹介 …………… 45
◆ 合併30周年記念	事業活動紹介 …………… 48
座談会 …… 15	組合員組織活動紹介 …… 58
◆ JA 大阪市の軌跡 …… 21	自己改革の取組み …… 60
	事業所紹介 …………… 64
	(思い出写真館) …………… 72
	◆ 資料編
	歴代役員名簿 …… 73
	貸借対照表 …………… 80
	損益計算書 …………… 84
	主な出来事年表 …… 88

基本理念

サービス

私たち役職員は、感謝の心で
組合員等利用者の皆様に心のこもったサービスを行います。

信 頼

私たち役職員は、常に知恵と力を結集し、
組合員等利用者の皆様と相互信頼を築き上げます。

責 任

私たち役職員は、組合員等利用者の皆様の幸せ、私たちの幸せ、
社会の発展のため、与えられた責任を必ず果たします。



大阪市農業協同組合
代表理事組合長
菱井 由一

ごあいさつ

組合員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。合併30周年を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

大阪市農業協同組合は、平成4年4月に市内4農協が合併して誕生いたしました。政令指定都市としては全国で初めて、1市1農協として発足し、お陰様で合併30周年を迎えることとなりました。これも偏に、組合員・地域の皆さまをはじめ、関係諸官庁並びに各連合会の方々の、長きにわたるご支援ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

この30年の節目にあたり、組合員の皆さまと共に歩んできた歴史を振り返る『JA大阪市合併30周年記念誌』を発刊させていただきました。是非ともご覧いただきたく存じます。

30年を顧みますと、1990年代初頭のバブル経済崩壊後、日本経済は低成長期に入り、金融機関の競争が激化する時代へと突入しました。銀行・証券会社・保険会社間による相互参入の促進や、投資信託の銀行窓口販売の解禁など、1998年に施行された「金融システム改革法」によって、金融市場は自由で多機能なサービスの提供へと大きく舵を切ることになりました。JA大阪市も都市型農協として、バブル期には誰も予想だにできなかった、この厳しい競争に立ち向かうこととなりました。

その後、金融の自由化とグローバル化が進み、資金は世界中に流通。その影響を受け、さまざまな金融市場が拡大

したことにより「証券の時代」「マネー資本主義」という言葉が多用されたことは、今でも記憶に新しいところです。

近年では、金融と情報技術の融合が加速し、新しい商品や仕組みが次々と開発され、スマートフォンも生活に欠かせない情報ツールとして普及し、これまでの金融の進化とは全く異なる新しい進化を遂げています。

一方、農業を取り巻く情勢は、農地面積の減少、農家の高齢化とそれに伴う担い手・後継者不足の問題が深刻化し、食料自給率の低下も大きな問題となっています。そして、2008年のリーマンショックなど世界経済が大きく揺れる中、食品偽装が相次ぎ発覚。「食の安全・安心」に対する消費者の関心が深まり、農産物食品市場も変容しました。

また近年では、気候変動や局地的な豪雨災害により、地域の方々の生命だけでなく、農業分野における災害リスクも高まっています。このような気候傾向は、食料供給を不安定なものにするだけでなく、これまで以上に、農業財産への被害の可能性を視野に入れる必要に迫られています。

平成28年5月には、「都市農業振興基本計画」が閣議決定され、その後、市街化区域内の農地は「宅地化すべきもの」としていた位置づけを「あるべきもの」と思考転換され、都市農地に対する本格的な農業振興施策が講じられるようになりました。ここに至って、市街地での農地の有用性が認識されたわけです。更に平成29年には、新たに「特

定生産緑地制度」が創設され、現行の生産緑地を引き続き農地として維持する道筋が整備されました。農業はもはや、農家世帯だけでなく、地域と共に歩んでいく時代へと変わりつつあります。JA大阪市におきましても、組合員の皆さまと共に都市農地の保全に力を注ぎ、また、農業者と消費者の思いをつなぐ直売所「おいで〜菜」を開業し、大阪市内農業のPRと安全で安心な野菜類の提供（地産地消）など、皆様の暮らしの支えとなるよう、様々な施策を実践して参りました。

このように、経済・農業情勢の変貌が続く環境の中ではありますが、JA大阪市は今後も、「サービス・信頼・責任」の基本理念のもと、協力の力の発揮を目指し、組織の活性化と健全な経営に力を注いで参ります。また、組合員・地域の皆さまとのより強固な信頼関係の構築に努め、存在意義を高く評価していただけるよう、役職員一丸となって、鋭意努力して参る所存でございます。

30周年というこの記念すべき年を迎えるにあたり、ご協力を賜りました組合員・利用者の方々、ならびに本誌発刊に際しお力添えいただきました関係各位に、改めて衷心より厚く御礼を申し上げますとともに、今後も尚一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



JA 大阪市の歴史
 を刻んで 30 年
 わたしたち
 組合員の皆
 思いを未来へ

を刻んで 30 年
 JA 職員が
 さまと共に
 つなぎます





子ども達の笑顔と学びが、地域の未来をつくる



女性の輪で地域と暮らしを明るく生き活きと



都市農業を守り育てる担い手の力



組合活動の振興は地域の皆さまと共に



祝辞



大阪府知事
吉村 洋文

大阪市農業協同組合が合併 30 周年を迎えられましたことを心からお祝いを申し上げます。

貴組合は、平成 4 年に市内 4 農業協同組合の合併により発足されて以来、30 年にわたり、大阪市における農業の振興や地域の活性化に、多大な貢献をしてこられました。長年にわたる、組合員のみなさまと歴代役員各位の「地域で最も信頼され、頼りにされ、地域の利用者から第一に選ばれる JA 大阪市をめざす」という強い決意とご努力に、深く敬意を表します。

さて、大阪における農業と農空間は、府民に新鮮で安全安心な農産物を提供するとともに、災害時の避難スペースや治水機能等都市の安全性の維持向上、さらには、農業体験を通じた健康づくりや子どもたちの健全な育成にも寄与するなど、多様な公益的機能を担っています。近年、高齢化の進展などにより、府内の農地面積や農家戸数は減少傾向にあります。これからも大阪の豊かな農を守り育て、次世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中、貴組合におかれましては、地域の農業とくらしになくてはならない組織をめざし、なにわの伝統野菜普及活動、イタリア野菜の普及拡大・ブランド化、子ども食堂への野菜寄贈、農地の保全などに積極的に取り組んでおられます。今後とも、大阪府の農業振興や地域活性化にご尽力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

大阪府といたしましても、本年 3 月に策定した「おおさか農政アクションプラン」に基づき、「力強い大阪農業の実現」、「豊かな食や農に接する機会の充実」、「農業・農空間を活かした新たな価値創造」の 3 つのめざす方向性を設定し、様々な施策に取り組んでまいります。

また、2025 年に開催される「大阪・関西万博」を契機として、大阪農業のさらなる成長を図るとともに、次代に良好な農空間を引き継いでいくため、引き続き、取り組みを推進してまいりますので、今後ともみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、貴組合のさらなる発展と、組合員のみなさまの益々のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



大阪市長
松井 一郎

大阪市農業協同組合が合併 30 周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。また、皆様方には、平素から大阪市政の各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

貴組合におかれましては、平成 4 年の発足以来、農業生産に必要な資材の共同購入や農作業受託をはじめ、農業技術の向上と経営力の強化のための指導事業など様々な活動を展開され、農家の経営の安定と、安全・安心な農作物の提供に大きく貢献してこられました。また、子どもたちへの食農教育など地域における多彩な活動を通じ、地域社会においても大きな役割を果たしておられます。

ここに記念すべき合併 30 周年を迎えられましたことは誠に意義深く、菱井組合長はじめ関係の皆様方のご熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

担い手の減少や高齢化など、我が国の農業を取り巻く状況が厳しさを増す中、「なにわの伝統野菜」の普及促進に加え、新たにイタリア野菜の栽培に取り組み、「大阪生まれのトレビスリゾット」など加工品の開発・販売にも尽力しておられ、大阪市の都市農業の発展において貴組合の果たされる役割はますます大きくなっております。

皆様方には、さらなる活動の進展を図られますとともに、都市型総合農協として、豊かで安心して暮らすことができる地域社会の発展に貢献いただきますよう期待申し上げます。

大阪市といたしましても、「担い手の確保」と「土地の確保」の 2 つの観点から農業施策に取り組んでおり、皆様方のご協力を得て、平成 4 年度指定の生産緑地のうち 94% を特定生産緑地として指定するなど農地の保全に努めております。また、市内農産物の認知度や購買意欲の向上を目的に SNS を活用したプロモーションを行うなど、時代に合わせた取組も実施しております。今後も、大消費地に近いという都市農業の利点を活かし、豊かな大阪をめざして取組みを推進してまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

合併 30 周年を機として、大阪市農業協同組合が今後一層発展されますよう、また、皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いのごことばといたします。

祝辞



大阪府農業協同組合中央会
代表理事会長

寺下 三郎

このたび大阪市農業協同組合が合併30周年という記念すべき時を迎えられ、その歩みを綴った記念誌を発刊されますことは誠に意義深く、心よりお慶び申し上げます。

貴JAにおかれましては、平成4年4月1日に市内4農協が合併し、1市1農協として発足されて以来、「サービス、信頼、責任」を基本理念に掲げ、都市農業・地域農業の振興に取り組み、組合員・地域の皆様に親しまれ信頼されるJAとして、健全・堅実なJA運営のもと着実な成果と発展を遂げてこられました。これも偏に、組合員の皆様をはじめ歴代組合長ならびに役職員各位のご努力の賜物であり、ここに深く敬意を表する次第であります。

さて、農業・JAを取り巻く情勢は、高齢化や農業従事者の減少、遊休・不耕作農地の増加など厳しい状況に置かれています。加えて、近年のコロナ禍や国際情勢の変化による、食料価格・生産資材価格の高騰など多くの課題にも直面しています。しかし、わたしたちJAグループは今日まで、組織が一体となり協同の力を発揮し、幾多の困難を乗り越えてきました。

貴JAは、直売所運営や移動販売の実施、大阪市農業フェアなどのイベントを通じて、地元野菜やなにわの伝統野菜の普及に取り組み、イタリア野菜の研究・栽培・普及活動を行い新たな特産品の開発にも挑戦されています。さらに、「みどり農園」の運営や農業後継者を対象とした農業講座を開催するなど都市農業の保全に取り組み、地域農業の振興のため不断の改革・挑戦に尽力されております。また、小学生のお弁当作り教室「ベジッ子 Bentol」や親子農業体験などの食農教育や、「大阪まちなかハイキング」などの健康増進活動、文化活動にも取り組み、組合員のみならず地域の皆様と強い絆を築いておられます。

この意義ある合併30周年を契機とされ、これまでに培われた先人の貴重な経験と英知を礎に、さらに組合員の皆様はもとより地域住民からも信頼され必要とされ、第一に選ばれるJAとして、地域農業および地域社会の発展に寄与されますことを心よりご期待申し上げます。

併せて、組合員各位の益々のご健勝と貴JAの限りなきご隆盛を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



常務理事
田中 聡
(営農担当)

常務理事
合羽 雅彦
(総務担当)

常務理事
中川 誠
(信用・共済担当)

常勤監事
文野 和彦

代表理事 組合長
菱井 由一

代表理事 専務
福中 利夫

合併 30周年記念 座談会 Round-table discussions

JA 大阪市経営理念

組合員・地域住民に愛され、親しまれ、信頼されるJAを目指します。
地域農業の振興とゆたかで暮らしやすい地域社会の実現に努めます。
地域のみなさまとともに生き、地域のみなさまとの共感の中で、
心ふれあう地域づくりに取り組みます。

「食」と「農」と「緑」を守り、かけがえのない自然を次世代に引き継ぎます。
高い倫理観と責任感を持ち、地域社会に貢献できる事業と組織づくりに取り組みます。

組合組織内部にだけでなく、外部からも認められる組織となるために時代と経済の波に洗われた激変の30年

■ 変わらぬ農協の使命と変化した組合員との距離感

福中) 市内の4農協が合併して誕生したJA大阪市も、今年4月に30周年を迎えました。この30年を振り返りながら、これからのJAについても語り合いたいと思います。

まずは組合長、我々はJA職員としての年月でしたが、組合長は農業者の正組合員でもあり、組合長の職は2期目となります。組合員という立場から組織の運営側に代わられて、いかがでしたか。

組合長) 30年前と言えば、農業をしている父を休日に手伝っていた程度で、正直なところJAのことはほとんど知りませんでした。企業勤めを引退して農業1本に絞ったのが60歳。この時も「JAに言うとなったらやってくれるで」程度の認識だったんです。それが、非常勤理事にと声を掛けていただいて、2期を終えると次は組合長と言われてね。右も左も分からない中で1期が始まり、積み残しもありましたから2期目へ。皆さんのお力を借りて、何とかここまでやってきました。

運営側に入っているいろいろなことが見えてきて、まず驚いたのは、JAはここまでやっているのかということです。「何でもやってくれる」の裏にはこんな努力があるのだと、農業者にとってなくてはならない組織だと実感しました。

福中) そう感じていただけたのは、農業者あつての協同組合として嬉しい限りです。その一方で、この30年で収益構造が変わり、仕事に対する我々職員の考え方も大きく変わらざるを得ませんでした。正に激変です。

合羽) 合併当時は、バブルがはじけた直後ですから。住宅金融専門会社の不良債権処理問題、いわゆる住専問題が発生して、金融機関も相次いで潰れました。金融機関にとっての暗黒の時代。JA大阪市でも、毎日のように高額の貯金が引き出された時期があったんですよ。バブル期のように、お金を集めたらその金利で運営できる時代も終わり、競争の中で、それまで以上の経営努力が求められるようになり

ました。員外利用率など、行政からの指導も厳しくなりました。出資金の最低金額を1万円から1,000円に変えたのが平成19年、今なお員外利用率の改善に取り組んでいる状況です。当たり前のことをきっちりやっていくのは当然で、社会の中で組織として認められるように進んでいるんだと思います。

中川) 確かに、合羽常務が言われたように、30年前は員外利用率などほとんど考えることがなかったと思います。JAは協同組合ですから、どなた様にもどんどご利用いただくわけにはいきませんが、JA大阪市は都市型農協ですので、どうしても組合員以外や准組合員の貯金や融資残高、共済保有高が増えてしまいます。このジレンマに苦しんできたわけですが、近年はより一層厳しくなってきました。しかし、こうしたジレンマを抱えながらも、契約者保護や法令遵守というコンプライアンスを念頭に置いて、我々は常に推進しなければなりません。

文野) コンプライアンスという言葉が頻繁に使われ始めたのも、バブル崩壊後の証券会社の損失隠しや2000年に入った頃の産地偽装問題からでした。その頃から、企業の不祥事や不正防止に対するコンプライアンス意識や企業倫理のあり方について社会の関心が高くなり、今ではすっかり浸透した言葉になっています。

福中) JAは組合員の組織ですから、銀行とは違う、利用者との強い繋がりがあります。我々は、組合員さんから「JAを信用しとるがな、やっといて」と言われて育ってきましたが、その感覚はもう通用しないし、コンプライアンス的にも通用させてはいけません。その分、組合員さんとの距離が遠くなっているのを感じます。

合羽) 距離があるからこそ、准組合員さんの農業協同組合に対する理解の重要度が増しているんでしょう。ただ、消費者は簡単に比較選択することができる時代になりました。ここの銀行の方が金利が高いとか。その中で、JAを選んでいただいて、総合事業をご利用いただいて、応援していただいて、JAを事業として成り立たせなければならない。農業協同組合として「農」を守り、利益を組合員に還元する。農業協同組合の使命を忘れてはならないということです。

田中) 現在の正組合員は約1,000名、大阪市内の農地は80

ヘクタールあります。市外や府外でも耕作されている正組合員がいらっしゃるの、それを足しても180ヘクタール。80ヘクタールしかないのかと言われるかも知れませんが、都市化された大阪市内に畑や水田があること自体、意義あることです。私達、農業協同組合の使命は、30年前も40年前も変わりません。農業協同組合の主役は農業者である正組

合員で、我々は農業者を支え農地の保全をしていく。その中に、応援団として准組合員さんいらっしゃる私はイメージしています。一人でも農家の正組合員さんがいらっしゃれば、我々は努力する以外何もない。農家が主役で我々は主役じゃない。そのスタンスを忘れてしまうと、我々の存在意義はないと思っています。

政府の「農業改革」に対応したJA組織全体の「自己改革」その一つひとつの取組みを、着実に成果へとつなげる

■ 「准組合員モニター」で応援団づくりと意見の反映

合羽) 准組合員にどうやって理解ある応援団になっていたかサポートしていただくか。昨年、令和3年度から始めた「准組合員モニター」は、正にそのための活動です。年度内で3回実施しましたが、「JAがこんなことやっているんや」とか「こんな施設を持っているんや」「農に対してここまでやっているんや」と参加者は感心されていました。「市内にこんなに農地もあるんやね」と感動されていた方もいらっしゃいます。多少ですが、「准組合員モニター」の方々にJAの活動をアピールできたかと思っています。

組合長) 准組合員さんも多種多様です。農家に生まれて農業に親しみはあるけど農家でなくなった方と、ローン組むためや貯金などJAの事業を利用するために組合員になった方とでは、農に対する理解度や考え方が全く違いますから。今回は、文化教室の参加者や広報誌「萌」を通じて、今まで農業にかかわりの少なかった准組合員さん29名にお集りいただきました。営農促進センターを見学してもらったり、正組合員の畑で「なにわの伝統野菜」の田辺大根や金時人参を収穫してもらって、JAが取り組んでいることを実際に見て、体験して、感じてもらえました。この取組みは今後も継続していきます。

合羽) 多くのご意見を頂いたんですが、我々では気付かない消費者目線での「なるほどな！」というご意見が出てきました。全てが実現できるわけではないのですが、こうしたご意見が伺えるというのは非常にありがたいことです。

組合長) 頂いたご意見で、実行できるものはすぐに実行するようにしています。アンケートで挙がってきた意見が次に来た時に反映できていれば、また意見を出そうかと思っていただけでしょ。目に見える形で、できるだけ早く、意見を反映していきたいと思っています。

文野) 「准組合員モニター」は、JAの自己改革の取組みの一つとして実施されたわけですが、政府から「農業改革」が提示され、農協組織全体で自己改革を推し進めた平成26年からのこの8年は、我々にとって大きな転換点だったと思います。准組合員の事業利用規制だけでなく、信用事業の分離・代理店化なども提示されて、農協組織としてどうあるべきなのか、何ができるのかを問われてきたわけですから。農協組織全体として存在意義を示す大きな変革となりました。

中川) 全国のJA全組合員に対するアンケート調査も実施されて、組合員さんからの評価も受けることになりました。結果として、准組合員の利用制限や信用事業の分離はなくなり、農業協同組合として一定の評価を得た形になったわけですが、今後も自己改革を推し進める中で、准組合員さんのご意見を運営に取り入れて、評価される改革にしてい



く必要があります。
福中) 合併当初は正組合員が3,574人・准組合員が3,585人とほぼ同数の構成員でしたが、今は、正組合員が約1,000人、准組合員が約19,000人と、構成比率が大きく変わりました。先程、田中常務から大阪市内の農地は80ヘクタールとのお話がありましたが、合併当初からすると1/3になっています。この数値を見ても、准組合員さんとの関係が大きなウェイトを占めているか分かります。だからこそ、正組合員さんは元より、准組合員さんにもっと視点を向けなければならないんです。

農業講座と直売所の活性化

文野) 自己改革の取組みとして、次世代の担い手を育てる「農業講座」を開催していますが、卒業生の中から直売所に出荷して下さる方が徐々に出ています。地下鉄谷町線「平野駅」のすぐ近くに直売所を作ったのも良かったんでしょう。よく売れるからこそ、耕作する面白さが湧くのだと思います。

田中) 農業を手伝ってはいたけれど、農業について理論立てて教えてもらってない後継者は多いんです。「あれせい、これせい」と言われてやるけれど、なぜそうするのかの理由が分からない。「農業講座」だと、専門の先生に来ていただいて、質問できるし理論を教えてもらえますから。

組合長) 令和4年度の「農業講座」は計10回で、座学と実技で基礎から学ぶことができます。令和4年度で7期目になりますが、この講座が面白いからと、中には5回以上参加している人もいらっしゃいます。



田中) 今までなら家で食べるためによくある品種を作っていたけれど、直売所に少量でも出荷できるようになったからと、ヨーロッパ野菜や新しい品種を作られたりもしています。苗も営農促進センターで供給していますから。卒業された方全員に農業収入があるわけではないんですが、「農業への見方が変わって、いいものが作れるようになったから楽しくなった」という意見

はよく出てきます。農業って、永遠に勉強ですから。

組合長) 本当にそうです。「百姓は一生勉強や」という言葉は、農業をしていた父からもよく聞きました。「農業講座」には、「今度はこれに挑戦するんや」と参加する方もいらっしゃいます。意義のある講座だと思っています。

農地を保全し、都市の農地を守れ

田中) こうした活動を通じて、農地保全に貢献できるのだと考えています。昨年度から特定生産緑地制度の申請が開始され、農業を続けるか悩んでいたけれど、農業講座を受講して、面白いから農業をやっというところ、特定生産緑地制度の手続きをされた方もいらっしゃいます。こうしたお手

伝いが、我々の使命だと感じます。

中川) 農地保全のために、離農を食い止め、農地を農地として活用し続けられるようにサポートする。特定生産緑地制度などの農地制度が施行された時には、早い段階で説明会を開催したり、登録のサポートなどもしています。行政の各種制度というのとはとにかく煩雑ですから、こうしたサポートもJAとしての重要な役割です。農作業の受託の内容の幅も広がっていますよ。

田中) そうなんです。農業者の高齢化が進んでいますから、新しい要望がどんどん出てきます。例えば、草刈業務もやって欲しいとか。以前はお断りしていたんですが、一昨年に機器を購入して、田植え前の草刈り受託作業も行うことになりました。こうした農作業の受託代行も、農地保全につながっています。

合羽) 逆に言えば、JAが草刈りまでしないと、農地が維持できなくなってきたというのが現実です。次世代への継承についても、サポートや情報発信はしますが、最終的に決められるのはそこのお家です。我々としては、農業者をサポートするだけではなくて、農地の必要性を市民の皆さんにどれだけ発信できるかが重要だと思っています。町の真ん中に畑があることの大切さを知り、理解を深め、地域全体でどう農地保全に取り組んでいけるかです。

田中) 都市の農地が「保全すべきもの」とされたのは、平成28年5月の「都市農業振興基本計画」が閣議決定されてからです。それまでは、都市の人口が増加する中、大都市圏の農地は「宅地化すべきもの」と考えられていたんですが、そこから一転、「都市の農地は、多様な機能を持つ保全すべき農地」へと変わりました。

組合長) 都市農業の継続・農業者の育成に取り組んで来たJA大阪市にとって、農業協同組合の存在意義や活動意義の裏付けとなる非常に大きな方向転換でした。都市の農地は、食料の生産だけではなくて、防災や環境保全、農業と食を学ぶ場として、地域の交流の場としての役割も期待されています。

文野) そもそも農業がなぜ細っていったのかというと、農業だけでは食べていけないから。安い食料を外国から輸入して、国内では工業生産物を作って輸出すればいいという国際分業論がありましたね。でも国内外の自然災害やウクライナ情勢による食料の高騰を見ると、食料を自国で賄うことの大切さを実感します。国全体で大切な農地を保全し、国産国産に本気で取り組んでいかないと。

田中) 日本は先進国で自給率が一番低いというのは皆知っています。政府としても対応していかなければならない課題になっています。でも、問題が表面化すると話題になりますが、喉元を過ぎてしまうと「安価なものを輸入したらええやん」という繰り返しだったでしょ。我々は根本的に意識を変え

JAの未来に向けて、今取り組むべき課題

福中) 今年は第8次の中期経営計画の始まりの年でもあります。先程コンプライアンスが話題にのぼりましたが、内部管理態勢と内部統制システムの整備・運用強化も取り組むべき課題として上がっていますね。

内部管理態勢と内部統制システムの強化

文野) コンプライアンスは、「法令遵守」だけでなく倫理など社会規範を含む広い範囲の意味を含んでいますから、法的知識だけでなく、倫理的思考を含めた継続的な教育体制が必要になってきます。農業協同組合として求められる活動を正しく行っているか、不祥事の芽はないか、本店・各支店とも毎日の朝礼で「コンプライアンスマニュアル」を読み上げたりしながら、日々、職員の意識醸成のために地道な活動を続けています。役員のコンプライアンス研修も定期的に行っています。また、コンプライアンスに関する資格取得にも力を入れています。

田中) 現在約250名の職員がいますが、新人もいれば定年間近の職員もいます。かなり知識的にも違いますから、知識や認識を共有することはとても重要です。

中川) 我々は機密性の高い情報と大切な資産を取り扱うわけですから、「コンプライアンスマニュアル」も更新を重ねています。コンプライアンスの定義自体が変化していますので、常に更新していかないと意味がありませんから。

文野) 内部統制システムの整備と運用強化において、JA大阪市では3線モデル体制を取っています。第1線は事業部門の「各支店や事務所管部署」、第2線はリスク管理部門の「リスク管理部」、第3線が内部監査部門の「監査部」になります。それぞれのラインでの役割を理解し、着実に実行する。適



なければならぬ。もちろん、大都市の大阪市で、市内の約1,000人の正組合員さんが耕作されても、市内の需要は到底賄うことなどできません。でもそれとは別に、農家にも地元住民にも、地元農業に対する誇りを持ってもらいたいと思います。

切な報告・指示を徹底し、連携する。リスク管理という防衛的な視点だけではなくて、目的達成といった創造的な役割分担として機能できる体制づくりに取り組んでいます。

女性の運営参画と優秀な人材の育成

福中) 組織を支えるのは人ですから、優秀な人材の育成と登用についても新たな取り組みを始めています。まずは女性役員の比率です。行政からの努力目標は15%になっていますが、現在は目標に達していません。そこで、役員定数の変更や女性役員を3名から4名に増やすなどの見直しを行いました。

組合長) 管理職への女性登用も進めていますよ。女性支店長・副支店長はこれまで2名だったんですが、3名に増員しました。更に、渉外・窓口の強化を図るため、2支店で女性支店長の下に、男性と女性の支店長代理を配置しています。2名になることで、支店内での管理業務を分散することができますから、支店長代理の一方は渉外担当に対し、もう一方は窓口担当に対し、教育する時間なども生まれます。支店長自身も、代理が2名いることで外交的な活動頻度を増やすことができますから、よりアクティブなマネジメントができるようになります。今後も、優秀な人材育成の強化に努めたいですね。

福中) 女性男性区別することなく、能力のある者を適したポジションに据え、組織を内部から活性化していこうというわけです。そうすることで、より強いコンプライアンス管理体制作りもできると考えています。

組合長) JAには、業務遂行や昇進昇格に必要な試験があるんですが、女性も試験に挑戦して、かなり上位の資格を取ってくれるようになりました。資格は自分のステイタスであり、その資格を持っている人が多いと

いうことはJAにとってもステイタスになるから、どんどん挑戦して欲しいと奨励しています。例えば資格が取れなくても、学ぶという姿勢、その課程で身に付いた知識は必ず役に立ちますから。

田中 JAは幅広い事業を行っていますから、多くの知識が必要とされます。そうした学びを進め業務に取り組んでいることに、誇りを持って欲しいと思います。それに、いろんな知識を持っている人は、発想も豊かですし、物事も多角的に捉えることができますから、自己啓発を促せる良い制度だと思います。

広報活動の強化に向けて、複数チャネルの活用を

合羽 第8次中期経営計画の中に「広報活動の強化によるJAの魅力発信」が重点項目にあがっているのですが、広報は「自己改革」の中で見えてきた課題でもあります。准組合員モニターでも「JAさんは広報が下手くそやな」と言われています。我々も広報活動を積極的に取り組んではいるのですが、発信力が弱いのだと思います。インスタグラムを使ったり、今年の4月にはホームページをリニューアルしましたが、内部発信だけでは広がりません。外部のチャネルとの連携強化が不可欠だと考えています。

田中 NHKのニュースで「大阪生まれのテレビスリゾット」を紹介していただいたんですが、大阪市(行政)のホームページで見つけて興味を持っていただいたようです。ネーミングを担当していただいたIBU 四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部とは、今後もタイアップして産学連携をすすめていくよう話し合いの場を設けています。こうした他の組織との共同企画の推進や、情報発信ルートの拡大が、発信力を高める重要なポイントではないでしょうか。

合羽 そうですね。現在、貸農園の情報を区のホームページとリンクさせてもらっていたり、大阪市の経済戦略局と協力して、JA大阪市本店別館で開催された「イタリア野菜ライブキッチン」をYouTubeで流してもらっています。こうした連携を深めていく中で、JA大阪市を全く知らない方にも知っていただく機会を増や

していききたい。広報は、JA大阪市の活動に賛同していただき、我々組織を支えてもらうための重要な手段だと考えています。

中川 正直なところ、これまで多くの職員が「これだけのことをやってるから、大げさに広報せんでもええやん」と思っていたのではないのでしょうか。考えてみれば、我々の活動を知っているのは、組合員全体からすればほんの一部の方なんですけど、やるのが大事で、アピールすることが大事だとは思ってなかったんですよ。でもそれではいけないということを、本当の意味で納得しないと、発信力は高まらないでしょう。

組合員にとって支え甲斐のあるJAとなるために

福中 広報活動しかり人材育成しかり農地保全しかり、JA大阪市としては「やっているつもり」なんです。でも、「やっているつもり」ではなく、実践されているのか、効果が上がっているのかの確認をしていかなければならない。確認を取って足らなければ更に考えて対応する。課題を一つずつ消し込んで成果を上げていくことが必要です。我々の「やっているつもり」は、まだまだ、組合員や地域、行政機関には伝わっていないと思います。「やっている」ではなく「伝わっているのか」を絶えず確認していかなければダメです。「やってるからいいだろう」という認識を捨てて、我々は客観的な視点を持つことに真剣に取り組まなければなりません。

組合長 福中専務の言う通りです。やってるつもりだったけど、外部から見ればそうではなかった、これが今後の課題だと思います。そのために、これまでやってきたことを整理しながら、皆に分かってもらえるようにアピールしていくこと。しっかりと振り返りながら、出来なかったことの改善をすすめていくこと。どんなことでも、自己満足でやっとならなければいけません。組合員さんや地域の方々に認められる活動をして、「支えがいのあるJAであり続けたい」と思ってもらえるようにならんとね。



Trajectory JA 大阪市の軌跡

組織・経営基盤の強化に向け、政令指定都市初の1市

1農協として合併した「JA 大阪市」の始動



市内1農協への合併に向け、大阪市内4農協（大阪市・大阪市長吉・東淀川・大阪市茨田）が、中之島の大阪市役所に会しました。

◆平成2年12月17日
大阪市内4農協合併促進協議会設立総会



JA 大阪市は、政令指定都市初の1市1農協として合併しました。4部・1室・10課・1センター・15支店・1連絡所と規模を拡大してスタート。本店営業室で、合併記念式典を実施しました。



◆平成4年4月1日
大阪市農業協同組合発足
合併記念式典（本店営業室）
JAの愛称スタート

1990
平成2

1991
平成3

1992
平成4

1993
平成5

◆平成3年10月22日
大阪市内4農協合併予備契約調印式（大阪コクサイホテル）



◆平成4年5月6日
東淀川支店
リニューアルオープン



◆平成4年5月9日
合併祝賀会（月華殿・フェイスゲストハウス）



西尾正也大阪市長（当時）をはじめ、関係各庁、各連合会、新旧の役員など約220名の方々を招いての華やかな祝賀会になりました。



合併促進協議会会長の西尾正也大阪市長（当時）が立会人となり、天野朝一組合長（大阪市）、吉本良治組合長（大阪市長吉）、村上英世組合長（東淀川）、永田治一郎組合長（大阪市茨田）が合同予備契約書の調印を行いました。



組合員組織各会の総会は、役員人事や活動内容・予算などを決定する意思決定機関。毎年春に開催されます。

【組合員組織の第1回総会開催】

◆平成5年4月15日

婦人部 第1回通常総会
（月華殿）

◆平成5年4月16日
技術部会 第1回通常総会
（本店3階小会議室）

◆平成5年6月28日
年金友の会 第1回総会

◆平成5年5月22日
第1回通常総代会（なんばグランド花月）

◆平成5年7月8日
JA 大阪市職員 OB 会発足

○平成4年10月1日
外貨両替業務開始

○平成5年3月31日
貸出金残高 400 億円達成

○平成5年6月21日
定期預金金利完全自由化

○平成5年12月13日
ATM コーナー設置
（地下鉄長原駅）



◆平成4年11月21日
大阪市農業フェア
（加美グランド：平野区）

毎年秋に開催する、市内農業のPRと地域住民との交流をはかる大イベント。市内産農産物の品評会・即売会の他、屋台や展示コーナー、花苗のプレゼントなど、子どもから大人まで楽しめるイベントで、多くの方でにぎわいます。



◆平成4年12月25～28日
第1回 冬休み子ども村
（妙高高原パノラマスキー場・新潟） 130名

冬休み子ども村は、小学生を対象にしたイベントです。妙高高原・北志賀小丸山・梅池などのスキー場で、スキーインストラクターの指導のもと、スキーやゲームを楽しみました。平成4年度から平成10年度まで開催されました。



◆平成4年9月
積金旅行（ハワイ/スペイン）



◆平成5年9月29日
第1回 JA 大阪市年金友の会
ゲートボール大会
（加美グランド：平野区）

バブル経済崩壊で多くの課題が表面化。この危機を乗り

り越える人材育成 — 職員能力5%アップを目指して



◆平成6年1月28～31日
技術部会中国研修旅行
中国農業視察（深圳）



専門家による年金相談会の随時実施がスタート。相談員には、社会保険労務士の安田晴彦先生を迎えました。

◆平成6年10月21日
第1回年金相談会（本店）

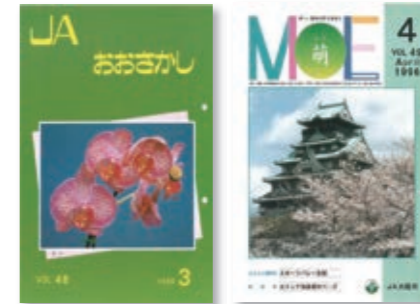


大阪府下役職員ら350人が参集し、「地域社会の中核となるJA運動の展開と強靱な経営力の創出」を基本方針に、取組みを決議。JA大阪府が、府下の優良JAとして表彰を受けました。

◆平成6年12月5日
第16回大阪府JA大会で
JA大阪府が優良JA表彰



◆平成7年12月12日
住吉支店新築オープン



◎平成8年4月
広報誌の名称を
「JAおおさかし」から「萌」に変更
名称は職員より公募。萌には「木々から新しい芽が出るように新しい出発に向けて」の意味が込められています。



◆平成9年3月10日
住之江支店新築オープン

1994
平成6

1995
平成7

1996
平成8

1997
平成9

◎平成6年3月31日
貸出金残高500億円達成

◎平成6年1月4日
第3次オンラインシステム開始

◎平成6年10月1日
国債等窓口販売開始

◎平成7年3月31日
貸出金残高600億円達成

◎平成7年6月19日
日銀歳入金取扱開始

◎平成7年4月19日
「婦人部」の名称を「女性会」に変更

◎平成7年11月13日
第4次オンラインシステム開始

◎平成8年4月1日
貯蓄貯金取扱開始

◎平成8年4月1日
JA大阪府軟式野球部発足

◎平成8年4月1日
運輸省の認可を受け「旅行センター」発足
(平成11年3月31日廃止)

◎平成8年11月
JAバンクマスコットキャラクター
「ちよきんぎょ」登場



◆平成6年8月3日
夏休み親子教室
(長吉支店大会議室) 150名

中央会職員による紙芝居「すてないで」、あべまりあ一座のあったかいねコンサート、イラスト教室などが開かれました。



◆平成7年3月4～5日
農機具・園芸用品展示即売会
(営農センター)

農機具や石材・軽トラックなどが購入できる展示会。展示内容を変えながらも、年に1度継続して開催されています。



◆平成8年7月23日
技術部会講演会
(コミュニティープラザ平野) 128名

JA大阪経済連 赤木禎二氏を講師に迎え「大阪市における農業の変遷とそ菜生産発達経過、作物別病害虫駆除、キャベツのコナガ防除農業適用について」と題した講習会を実施しました。



◆平成8年10月3日
女性会教養講座「万葉講習会」
(本店大会議室) 70名

武庫川女子大学教授の清原和義氏を講師に迎え、「万葉の恋」をテーマに、現代では考えられない奥ゆかしい「恋の話」の数々を伺いました。



◆平成9年8月4日
夏休み親子レクリエーション教室
(平野区画整理記念会館) 80名

女性会主催の夏休みイベント。講師に宮崎良雄・千恵子夫妻を招き、先生の歌声に合わせて親子で楽しく身体を動かしました。



◆平成7年6～7月
JA大阪府みどりツアー
「北欧まるごと8日間の旅」



◆平成8年5月8～11日
ママさん大学第1期生第4過程
「四万十川と道後の旅」

金融ビックバンに揺れる信用事業。農業の持続的発展

と豊かな地域づくりという、揺るぎない総合事業の基軸



1997年度表彰農協および農協功労表彰者が決定され、JA 大阪市の天野朝一代表理事組合長が「特別功労表彰」を受賞しました。

◆平成10年1月22日
JA 全国中央会 1997年度表彰



第45回 JA 大阪女性会・家の光大会が開催され、JA 大阪女性会 倉澤武子副会長（平野支部長）が事例発表を行いました。本大会で、JA 大阪女性会は「特別優良団体表彰」を受賞しました。

◆平成10年10月14日
JA 大阪女性会・家の光大会で「特別優良団体表彰」受賞



上海市農業訪日視察団25名が営農センターを訪れました。花きハウス栽培の生産技術の説明を受け、種まきから発芽までの作業を見学しました。

◆平成11年12月20日
上海市農業訪日視察団 営農センターを視察



日本版ビックバン（金融システム改革）の本格実施を控え、大阪府下 JA 役職員が集結し、「夢」「希望」「創造」に満ちた「21世紀JA」を実現するための大会を開催。約5,000人が参加しました。

◆平成12年10月21日
大阪府下 JA 役職員大会 「Open The JA、未来へ」（舞洲アリーナ）



◆平成12年12月11日
茨田支店新築オープン

1998
平成10

1999
平成11

2000
平成12

2001
平成13

◎平成10年8月2日
一部店舗でサンデーバンキング開始

◎平成11年3月31日
長期共済保有高5,000億円達成

◎平成12年3月6日
日本版デビットカードサービス (J-Debit) 開始

◎平成12年4月3日
基本理念を「サービス」「信頼」「責任」に変更 職能制度導入

◎平成12年5月15日
郵貯銀行 ATM 提携開始 (出金取引)

◎平成12年10月2日
JA バンクカード登場
クレジットとキャッシュカードの2つの機能を備えたカード



◆平成9年11月15・16日
大阪市農業フェア (鶴見緑地プール横広場)

平成9年度の農業フェアは、大阪府農業水産フェスティバルとの同時開催となりました。地下鉄鶴見緑地線の全線開通もあってか、多くの来場者で賑わいました。



◆平成10年2月26日
女性会 第3回文化祭 (コミュニティープラザ平野) 650名

女性会では、2年に1度日々の活動の成果を発表する文化祭を開催しています。作品展示や舞台発表などを行う他、次の活動へとつながる情報収集や交流の場にもなっています。



◆平成11年5月18・21日
女性会講習会 「2級・3級ホームヘルパー講習会開講式」

講師に沖津邦弘氏（和歌山社会福祉専門学校校長）を招き、ホームヘルパー講習会の開校式を開催。講習と特別養護老人ホームでの介護実習を終え、3級41名・2級13名がホームヘルパーの資格を取得しました。



◆平成11年10月6日
技術部会・女性会合同 健康管理講習会「男も女も 痴呆と寝たきり病人の介護」 (コミュニティープラザ平野) 460名

平成12年4月の介護保険制度施行を前に、池脇政子氏を講師に迎え、介護に関する講習会を合同で実施しました。技術部会・女性会共に、様々なテーマで健康管理講習会を実施しています。



◆平成12年11月13・14日
共済優待旅行「小豆島」 4班 185名



◆平成12年9～10月
JA 大阪市貯金旅行 「アメリカ西海岸とハワイ8日間」



◆平成13年2月13～15日
第43回全国家の光大会に大阪府代表として初出場

大阪府家の光大会で JA 大阪女性会が代表に選ばれ、「第43回全国家の光大会・中日本区体験発表大会」への初出場を果たしました。大会は東京で行われ、倉澤武子会長は「地域に密着し、共に羽ばたく輝く女性でありたい」と力強く発表しました。

第1次中期経営計画

2001年度～2003年度（平成13年4月～平成16年3月）

＝基本方針＝

農業・JAを取り巻く環境が大きく変化するなか、JA大阪市では都市農業の特色を発揮し、組合員と地域への貢献に取り組むことが必要不可欠であると考えます。そういった中、JA大阪市では経営の効率化・合理化、監査体制を強化し、21世紀を展望した更なる飛躍を目指して3ヶ年総合計画のもと健全経営を確保してまいります。また、人材面においても職員意識改革を一層強化し、組合員等利用者のニーズに応える為レベルアップをはかり、役職員一丸となって問題解決に取り組んでまいります。

- 1 都市農業の振興と緑空間の保全・活用
- 2 役職員の意識改革と経営・事業戦略の再構築

バブル経済崩壊後、長期低迷にあえぐ我が国経済は、不良債権処理を加速するとともに、金融システムの安定化、競争力のある産業構造への転換が強く求められていました。とりわけ金融機関においては、ペイオフ解禁、大手銀行間の統合等、JAを取り巻く環境は今後一層厳しくなっていくことが見込まれていました。

このような中、JA大阪市では、地域密着化による相談体制強化の結果、平成13年9月末には節目となる貯金残

高2,000億円を達成いたしました。あわせて、平成14年1月にはJASTEMシステム稼働を契機として、ハンディ端末機をはじめとするOA機器を活用し、事務の合理化・効率化に取り組みました。コンプライアンス面においては、公共性の高い業務を行うJAとして、法令遵守はもとより社会一般的な倫理やモラルが求められるため、平成13年度に作成した「コンプライアンス・マニュアル」に基づき、役職員教育を充実させました。



当年度から設定される中期経営計画の第1次計画を含む議案を可決承認しました。

◆平成13年6月22日
第9回通常総代会（なんばグランド花月）



2002
平成14

◎平成14年1月4日
JASTEMシステム稼働
JAの金融事業のための
全国統一システム

JA大阪中央会より菊井専務理事を講師に招き、「農業、JAを取り巻く情勢とコンプライアンスの取組み」と題した研修会を実施。JA大阪市では、定期的に役員・職員に向けたコンプライアンス研修を行っています。

◆平成14年8月26日
平成14年度第5回理事会で
役員コンプライアンス研修を実施

◎平成14年4月1日
JA共済フォルダー登録制度
「しあわせ夢くらぶ」開始
JA大阪市合併10周年



◆平成13年10月18日
技術部会・女性会合同
健康管理講習会「転ばない・寝込まない」
（コミュニティープラザ平野）400名

講師に中世古博幸氏を迎え、ユーモアたっぷりの講義を受けました。



◆平成13年10月19日
矢田東小学校 稲刈り体験学習
（営農センター）

5年生60人が営農センターで稲刈りを体験。籾摺りなどの機械や花の育苗などについても説明を受けました。



◆平成14年8月9日
夏休み親子手話教室
ちゃぐりんフェスタ
（コミュニティープラザ平野）110名

講師に大阪ろうあ会館ろうあ者生活相談員 中島正二氏を迎えました。



◎平成15年2月18日
JAネットバンキング開始

2003
平成15

◎平成15年1月6日
本人確認、
金融機関等に義務化



◆平成15年1月30日
瓜破東小学校 営農センター見学
（営農センター）

3年生3クラスの児童が、昔と今の農具の違いを知るため営農センターを訪れました。発芽室やハウスの自動散水なども見学しました。



三重県の4つのJA（三重中央・一志東部・松阪・多気郡）で構成される「JA松阪金融研究会」から9名が来訪。窓口活性化の取組みなどを視察しました。

◆平成15年9月5日
JA松阪金融研究会
茨田支店を視察

◎平成15年4月1日
JA大阪市苦情対応窓口設置

◎平成15年4月1日
顧客総合情報システム導入
電子帳票システム稼働



◆平成13年5月14～16日
ママさん大学第3期生第1過程
「東北・八幡平・陸中海岸めぐり」



◆平成16年11月14～26日
JA大阪市貯金旅行
「感動大陸オーストラリア8日間」



◆平成16年2月28日
JAバンク大阪窓口ロールプレイング大会
JA大阪市代表 長吉支店ペア府下第2位
（大阪国際交流センター）

2004
平成16

◎平成16年1月16日
マルチペイメントネットワーク
サービス（ペイジー）開始
さまざまな決済に関わる収納機関と
金融機関の共同ネットワーク

◆平成16年2月10日
第46回全国家の光大会（大阪国際会議場）



大会の展示会場では、大阪府特産農作物が紹介され、大阪市の伝統野菜である天王寺蕪や田辺大根も展示されました。

第2次中期経営計画

2004年度～2006年度
(平成16年4月～平成19年3月)

＝基本方針＝

JA 大阪市が組合員に必要とされ、地域になくなくてはならないJAとして存在し活動する為には、組合員をはじめ地域住民からのJAに対する多くの意見、批判等を真摯に受け止め解決をはかっていくことが重要です。そして、JA本来の姿である「農」と「共生」の世紀づくりをめざす「21世紀 改革への挑戦！」をテーマに、右記の事項を実践してまいります。

- 1 安全・安心な農作物の提供と地域農業の振興
- 2 組合員の負託に応える経営事業改革
- 3 経営の健全性、高度化への取組み強化
- 4 協同活動の強化による組織基盤の拡充と地域の活性化
- 5 役職員の意識改革と経営・事業戦略の再構築

依然としてデフレ環境下にあった日本経済ですが、不良債権処理の進捗や外部環境の改善もあり、緩やかな景気回復局面を迎えました。また、ペイオフが解禁され、金融機関を選ぶ利用者の目線が厳しくなりました。農政面では、BSE問題による牛肉の輸入禁止措置、鳥インフルエンザの蔓延による鶏肉・鶏卵の出荷停止措置の影響もあり、「食の安全・安心」について、消費者の関心がより一層高まりました。

JA 大阪市では、当JAの存在意義、存在価値を明確に打ち出すため「21世紀 改革への挑戦」をテーマに中期経営計画を策定。経営の効率化・エリア戦略の見直しを念頭に、平成16年5月に東住吉支店と矢田支店の店舗統廃合を実施し、東住吉支店を新築しました。また、同年11月にはホームページを開設し、地域利用者の方々への情報発信、広報活動の充実に努めました。



◆平成16年5月10日
東住吉支店新築オープン (矢田支店を統合)



新任の総代に、中央会JA対策室 松田勉室長から、地域組合員の代表である総代の役割などについて説明しました。

◆平成17年11月10・14・17日
総代研修会 (ブロック別開催) 155名



JA 大阪市の代表として、東住吉支店ペアが出場しました。

◆平成18年3月11日
JAバンク大阪ロールプレイング大会2006 (大阪国際交流センター)



第53回JA大阪女性会・家の光大会が開催され、女性会活動事例発表の部で、樋口善子副会長 (長吉支部長) の発表が入賞しました。

◆平成18年11月10日
JA大阪女性会・家の光大会で「普及文化活動優良JA・女性会表彰」受賞

◆平成19年3月24日
西淀連絡所を東淀川支店と統合

2005
平成17

2006
平成18

2007
平成19

◎平成16年11月1日
ホームページ開設

◎平成16年11月22日
JA大阪システム (JOWS) 「出資金システム」稼働

◎平成17年4月25日
JA大阪システム (JOWS) 「購買事業システム」稼働

◎平成17年10月3日
JA大阪システム (JOWS) 「日経業務システム」稼働

◎平成17年11月21日
セブン銀行ATM提携開始 (出金取引)

◎平成18年9月29日
貯金残高2,500億円達成

◎平成18年10月2日
IC・生体認証機能付キャッシュカード取扱開始
国債口座管理手数料を無料化



◆平成16年4月10日
全事業推進決起大会 講演「やったらやれるで！全ては心の姿勢で決まる」(コミュニティープラザ平野)

毎年、年度目標の確認や各種表彰などを行う決起大会。平成16年度は、初の試みで講演会も実施。中川政雄氏を講師に迎えました。



◆平成16年12月4日
なにわの伝統野菜復活フェスタで野菜即売 (湊町リバープレイス)

技術部会と女性会が、市内産野菜の即売と白玉ぜんざいの販売で参加。イベントでは、市内小学生による栽培学習、伝統野菜のレシピ紹介などがありました。



◆平成17年6月14日
瓜破小学校 稲作指導 (営農センター)

5年生126人が、年間を通しての稲作学習のため田植えを体験。瓜破土地改良区と連携し、近隣農家や営農センター職員が指導にあたりました。秋には、鎌での収穫を体験します。



◆平成17年11月15～16日
共済優待旅行「勝浦温泉」107名



◆平成18年9月12～21日
JA大阪市貯金旅行「アメリカ東海岸8日間」



◆平成18年5月11日
ママさん大学 第4期生第2課程 宮根誠司氏講演 (帝国ホテル大阪) 209名

フリーアナウンサー宮根誠司氏のトークショーの後、豪華なランチを楽しみました。



◆平成18年7月27日
女性会 夏休み親子レインボー体操教室 (コミュニティープラザ平野) 120名

二村ヤソ子氏をインストラクターに迎え体操教室を開催。家族揃って口ずさめるアニメソングに合わせた体操を楽しみました。

第3次中期経営計画

2007年度～2009年度
(平成19年4月～平成22年3月)

＝基本方針＝

「食」「農」「環境」を次世代につなぐ
元気なJAづくり

- 1 都市農業の振興と安全・安心な農作物の提供
- 2 夢のある豊かな地域社会づくり
- 3 組合員加入の促進と組織・事業基盤づくり
- 4 事業改革の継続と万全な事業・経営の確立



◎平成19年4月
こども110番運動への参加



◎平成19年
カールビズがスタート(6月～9月)

◎平成19年4月1日
「営農センター」の名称を
「営農促進センター」に変更

◎平成19年5月
ATM 入出金取引提携
(郵便貯金・セブン銀行)



◆平成20年1月18日
瓜破小学校「千本杵もちつき体験」

瓜破小学校との協同企画。5年生の児童107人を対象に、千本杵を使った餅つき体験学習を実施しました。



◆平成20年3月17日
瓜破支店リニューアルオープン



◆平成20年2月12日
加美支店リニューアルオープン

2008
平成20

◎平成20年1月6日
府内JAネットサンデーバンキング
ATM 出金利用手数料無料化



◆平成20年3月27～28日
春休み親子料理教室(平野支店調理室) 36名

西川節子講師からレシピの説明を受け、八尾産葉ごぼうを使ったライスバーガーなど4品を作りました。



議員らは、貸農園の様子や「毛馬きゅうり」のハウスなどを視察し、JA関係者と会談しました。

◆平成20年6月27日
自民党都市農業研究会
営農促進センター・市内農業視察

◎平成20年4月1日
出向く営農指導開始
(営農サポートカー導入)
田植受託事業開始
米買取・販売開始



◆平成20年5月12～15日
ママさん大学第4期生第4課程
「香港マカオ美食の旅」

＝平成20年度～21年度公募スローガン＝ (発案者：当時 瓜破支店 佐々木正人)

「私たちの笑顔はお客様の笑顔、私たちの元気はお客様の元気」

サブプライムローン問題に端を発した米国経済の先行き不安や原油価格の高騰、その後のリーマンショックに代表される未曾有の金融危機により、我が国を含め各国金融市場は大混乱に。雇用や所得環境が低水準に推移し、実体経済にも大きな影響を及ぼしました。

このような中、窓口相談体制強化のため、店舗レイアウトの変更を伴う全面改装を実施。平成20年2月の加美支

店改装を皮切りに、順次、瓜破支店・加美南支店・平野支店の改装を行いました。また、「食への安心・安全」への意識の高まりを背景に、「食」や「農」への理解を深めるための活動を実施しました。「パケツ苗」を地域の小学校に斡旋した他、農業体験ツアーや女性会親子料理教室を開催。「食」「農」「環境」を基軸として、組合員の皆さまをはじめ地域の方に愛されるJAづくりに取り組みました。



◆平成21年3月9日
平野支店リニューアルオープン



◆平成21年2月23日
加美南支店リニューアルオープン



JA役員や関係者ら600名が参加。「新たな協力を創造するJAづくりへの挑戦」をスローガンに決議を採択しました。また、大阪府管内特産品や農風景が展示されました。

◆平成21年12月1日
第21回JA大阪府大会(大阪中央公会堂)



JA大阪市野球部員21名が、地域に貢献したいとの思いから、認知症サポーター養成講座を受講しました。

◆平成22年2月16日
JA大阪市野球部
認知症サポーター養成講座受講

2009
平成21

◎平成20年10月20日
三菱東京UFJとのATM相互提携(出金取引)



◆平成21年1月30日
支部長代表協議会第1回記念講演会
「人は誰でも主役になれる」
(フェイス・ゲストハウス) 58人

講師に「葉っぱビジネス」で注目の株式会社いろどり(徳島県)代表取締役副社長の横石知二氏を招きました。



◆平成21年10月31日
1日まるごと親子れんこん体験
(大阪府門真市北島地区)

参加した44人の親子は、れんこん田で収穫や計測、包装の一連の作業を見学。料理教室も開催され、レンコンミルフィーユを作りました。



◆平成21年12月7～11日
営農促進センター朝市
スタート(営農促進センター)

営農促進センター内で栽培した野菜や米の他、農家組合員から出荷された野菜・花苗などを販売する朝市を開始。毎年、年に1～2回開催しています。

2010
平成22

◎平成22年1月4日
信用事業新システム(JASTEM)導入

第4次中期経営計画

2010年度～2012年度
(平成22年4月～平成25年3月)

＝基本方針＝

新たな協同を創造する

JAづくりへの挑戦

- 1 消費者との連携による都市農業の振興
- 2 総合性を発揮した地域社会づくり
- 3 経営基盤・事業基盤の拡充・強化と万全な経営の確立
- 4 事業目標の貫徹と効率経営への対応



平野支店で、朝採り野菜と花苗を販売する朝市を開始。毎月、第2土曜日と前日の金曜日に実施しました。

◆平成22年4月
技術部会が朝市会を発足
朝市の運営を開始



東日本大震災発生を受け、大規模な記念行事を中止し、懇親会を行いました。

◆平成23年5月14日
**JA 大阪市合併 20周年
記念行事** (スイスホテル南海大阪) 68名
20周年記念誌贈呈



JA 大阪市も市内産農産物をマルシェ・カーネーションに出品。売上金の一部を「NHK 年末助け合い」に寄付しました。

◆平成23年10月29日
「ふるさとの食 につぼんの食」
大阪フェスティバルに出品
(NHK ホール)



大阪市教育委員会から地場産物活用の依頼を受け、平成22年から始まった取組みです。毎年継続され、金時人参なども提供しています。

◆平成23年11月28日
大阪市内の学校給食用に
600本の田辺大根を提供



組合員やご利用者約1,000名が参加。演歌歌手の中村美律子さんと神野美伽さんによる特別公演や上方落語も披露されました。

◆平成24年10月25日
JA 大阪市合併 20周年記念
「感謝の集い」(新歌舞伎座)

◆平成24年4月1日
JA 大阪市合併 20周年



◆平成25年2月
本支店9店にAED設置・救命処置を体験



◆平成25年2月7～8日
中学生職場体験受け入れ
瓜破西中学2年生11名(富農促進センター)

2011
平成23

2012
平成24

2013
平成25

◎平成24年4月2日 ホームページリニューアル

◎平成24年4月2日 「組織活性化対策委員会」設置



◆平成22年8月19日
近畿の農と食を学ぼう 夏休みJA
キッズ交流会 (JA 共済連大阪ビル)

JA 大阪市とJA 紀南の親子81名が参加。大阪と和歌山の農業について学び、大阪産ピオーネや和歌山の冷凍梅などを使った料理も体験しました。



◆平成22年10月19日
JA 大阪市文化セミナー
(クオレ大阪中央) 567名

舞の海秀平氏による「可能性への挑戦～夢は必ずかなう～」と題した講演を開催。笑福亭瓶太さんの交通安全落語や敏捷性測定も楽しみました。



◆平成22年12月16日
JA グループ大阪
合同農業祭
(NHK 大阪放送局アトリウム)

府内JA・中央会・連合会が一堂に会し、大阪府農業をPRしました。JA 大阪市は、田辺大根・青ネギ・花苗を販売しました。



◆平成23年5月16～20日
ママさん大学第5期生第3課程
「韓国済州島3日間」



◆平成23年8月29～30日
年友の会親睦旅行「湯村温泉」



◆平成24年3月24日
イチゴと野菜の収穫体験
(信貴山のどか村)

大阪市管轄内在住の家族39名が参加。しいたけとイチゴ狩り、九条葱の収穫を楽しみました。



◆平成24年9月29日
プレミアムセミナー
(ホテルニューオータニ大阪)

組織活性化対策委員会による「資産管理セミナー(8月より4回開催)の集大成として、組合員を対象に開催。

第5次中期経営計画

2013年度～2015年度
(平成25年4月～平成28年3月)

=基本方針=

次代へつなぐ協同

— 協同組合の力で

大阪農業の振興と地域を豊かに —

- 1 持続可能な都市農業の振興
- 2 豊かで暮らしやすい地域社会の実現
- 3 経営基盤の強化に向けた取り組み
- 4 経営基盤の拡充と次世代対策への取り組み

＝ 第5次中期経営計画 公募スローガン ＝ (発案者：当時 長吉支店 飯塚 賢司)

「笑顔あふれるみんなの JA 次代へつなぐ無限の力」

平成24年12月に成立した第2次安倍内閣では、大震災後低迷する日本経済のカンフル剤に「アベノミクス」を提唱し、大胆な金融緩和を中心とした「3本の矢」を基軸とした政策を実行。株価は大幅に上昇し、日経平均株価は、15年ぶりに2万円台を回復しました。

JA 大阪市では、平成26年6月に加美南支店及び本店を新築。翌7月には直売所1号店「おいで～菜」をオー

ブンしました。また同時期、経営基盤・組織基盤の強化を図る観点から、長吉支店と六反支店の店舗統廃合を実施し、長吉支店を新築しました。

「組織活性化対策委員会」では、組合員の皆さまのご意見も取り入れながら取組みの幅を大きく広げ、様々なイベントを開催。また信用事業では、平成26年12月に節目となる貯金残高3,000億円を達成しました。



◆平成25年11月25日
加美南支店新築オープン
<本店併設>



出荷する農作物の栽培方法・農業の安全使用・栽培暦記帳の徹底について確認しました。



◆平成26年6月23日
本店完成式典・グランドオープン

◎平成26年12月15日
貯金残高3,000億円達成

◎平成25年11月18日
ATM 取引提携の拡大
(ローソン ATM・イーネット)

◆平成26年2月18日
直売所・朝市会第1回総会



女性会の日頃の活動成果を発表するイベント「文化祭」の名称が変更され、第1回大会が開催されました。

◆平成27年2月20日
第1回 JA 大阪市女性・「家の光」大会開催 (本店別館ホール)



ビルが建ち並ぶ中央区で、大阪市産の野菜や花苗を販売する夕市を開催。「なにわの伝統野菜生産者協議会」の提案で実現しました。

◆平成27年12月9日
初の「JA 夕市」開催
(JA 大阪センタービル前)



平成27年「家の光」高普及実績表彰で、JA 大阪市が第1位に入賞し表彰されました。

◆平成28年2月10日
第58回 全国家の光大会
(仙台サンプラザホール)

2014 平成26

◆平成25年11月8日
東淀川支部 初の朝市・バザー



女性会と技術部会が協力して開催。バザーの収益金は社会福祉団体へ寄付しました。

◆平成26年7月1日
直売所「おいで～菜」オープン<本店併設>



◆平成26年7月28日
長吉支店新築オープン



2015 平成27

◆平成26年10月
各種文化教室スタート



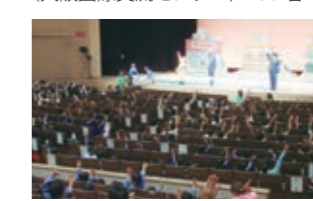
囲碁愛好会・絵手紙教室・ヨガ教室を毎月開催。

◆平成27年10月20日
六反朝市スタート
(六反倉庫)



六反倉庫での初の朝市。毎月第1・3水曜に開催しました。

◆平成27年11月25日
JA 共済交通安全ミュージカル
(大阪国際交流センター) 750名



「魔法園児 マモルワタル」が交通ルールを楽しく教えます。

2016 平成28

◆平成28年3月19日
第1回 囲碁大会 (組合員相談センター)



平成26年開始の文化教室「囲碁愛好会」会員らによる初大会。

【組織活性化対策委員会(組活) 主催の新イベントが続々開催】

◆平成25年5月22・28日
6月7日
大阪市内産野菜で食農教育出張授業

◆平成25年7月18日
第1回 男の料理教室
(平野支店料理教室)

◆平成25年9月14日
第1回 大阪まちなかハイキング
～平野区をめぐる～

◆平成25年10月30日
第1回 JA 大阪市ゴルフ大会
(島ヶ原カントリークラブ)

◆平成25年12月21日
ワラ細作り教室
草履作り体験

◆平成26年4月12日
税務セミナー
「相続税の改正について」

◆平成26年10月10日
第1回 いきいきセミナー
『心豊かに老後を暮らすために』& 落語 (本店別館ホール)

◆平成26年10・11月
各区民祭りで即売会

◆平成26年12月13日
第1回 ウィンターコンサート
(本店別館ホール)

◆平成27年1月9日
第1回 初笑い新春演芸会
(本店別館ホール)

◆平成27年3月14日
高齢者交通安全教室
(本店別館ホール)

◆平成27年6月
市内小学校を訪問し
田植え指導

第6次中期経営計画

2016年度～2018年度
(平成28年4月～平成31年3月)

=基本方針=

JA 大阪市のさらなる充実に向けて

- 1 市内農業の振興
- 2 組織基盤の強化
- 3 組合員、利用者満足度向上への取組 (CS・現場営業力強化プログラム導入)
- 4 総合事業展開による経営強化
- 5 内部監査の品質強化

＝ 第6次中期経営計画 公募スローガン ＝ (発案者：当時 資金管理課 濱田 龍夫)

「未来はぐくむ確かな絆 地域いどる豊かなJA」

平成28年4月1日、改正農協法が施行。総合事業制の見直し、准組合員の事業利用制限、営農経済事業の強化等が求められ、JAを取り巻く環境は非常に厳しいものとなりました。JAグループでは、その前年の第27回JA全国大会にて「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を軸とした創造的自己改革に取り組むことを決議。JA大阪では、農業講座を開講、直売所2号店「おいで～菜平野店」

を開設し、農家所得向上と市内農業振興に努めました。また、JAの新たなファンを増やし事業伸長と顧客基盤の拡充を実現するために、CS(顧客満足度)・現場営業力強化プログラムを導入。「①自ら考え自ら働く職員」「②お客さま視点での行動マネジメントの仕組み」「③連携しながら成長する組織」への改善に取り組み、次もJAを利用したいという「お客様が利用し続けるサイクル」の構築に努めました。



農家に必要な相続対策と都市農地保全のための関係法・制度についての講義と、市内農業活性化に向けた意見交換会が実施され、約100名が参加しました。

◆平成29年2月4日
「営農経済事業についての意見交換会」と「農地・農業経営継承に向けた勉強会」を開催 (本店別館 ホール)



住之江支部の技術部会・女性会会員とJA職員が協力し、支店駐車場で初の朝市を開催。新鮮な野菜と卵や花き類を用意し、近隣住民で賑わいました。

◆平成29年3月22日
住之江支店で初の朝市



◆平成29年6月12日
平野支店新築オープン



◆平成29年6月15日
直売所「おいで～菜」平野店オープン
<平野支店併設>



難波葱のPRイベント「難波葱フェスタ」に先立ちキックオフセレモニーが開催され、南海難波駅周辺で難波葱500袋を通行人に配布しました。

◆平成30年1月18日
難波葱フェスタキックオフセレモニー
(南海難波駅周辺)



大阪市と合同で、各支店にて特定生産緑地制度説明会を開催。生産緑地の改正点などについて説明し、農家組合員から具体的な相談を受けました。

◆平成30年3月22～29日
特定生産緑地制度説明会
(各支店) 計330名



自己改革の取組みの共有を目的に、参加組合員を広報誌で公募。約1,200名が参加し、自己改革実践内容を報告した後、坂本冬美さんの特別公演を観賞しました。

◆平成30年11月11日
JA大阪市組合員の集い (大阪新歌舞伎座)

2017 平成29

◎平成28年4月9日
ATM稼働時間の拡大



◆平成28年5月20日
第1期「農業講座」開始(計6回)
(本店別館 ホール・営農促進センター) 19名

農業経験の浅い農家組合員や、農業を基礎から学びたいという農業後継者が対象。座学・実技を通して基礎から学び、農業後継者を育成します。



◆平成28年7月30日
第2回 夏休み子ども大会
(本店別館 ホール) 約50名

女性会読書ボランティアグループ「ループ」による読み聞かせ、JA全共連大阪府本部による介助犬デモンストレーションの他、エコ工作教室などを開催しました。

◆平成29年8月8～9日
小学校教員職場体験受け入れ



◆平成29年10月17日
台湾の農協役員が平野支店と直売所を視察



2018 平成30

◆平成30年4月10日
米定温倉庫完成 (営農促進センター内)



◆平成29年11月4日
親子農業体験(稲刈・サツマイモ掘り)
(営農促進センター) 25名

夏と秋に開催される、小・中学生家族を対象にした毎年恒例のイベント。7月に田植えした田んぼで、鎌を使って稲刈ります。

◆平成30年5月16日
女性会「季節の炊き込みごはん」販売スタート
府内産米「ひのひかり」を普及 (おいで～菜平野店)



◆平成30年7月12日
レディースカレッジ「ラ・ラ・ラ♪」開始(計6回) (本店別館 ホール)

JA大阪市の文化活動を知っていたら、女性会の振興につながればと開催。1回目のハンドエステ体験の他、マナー講座やパン作りなどを楽しみました。

2019 平成31

◆平成31年3月26日
ベジっ子 Bento! 春
(本店別館 料理教室) 19名



大阪市内産の野菜に関心を持ってもらおうと、平成28年春にスタート。春・夏・冬休みと年3回実施しています。講師は女性会会員で、読み聞かせも実施。

第7次中期経営計画

2019年度～2021年度
(平成31年4月～令和4年3月)

=基本方針=

地域から信頼され必要とされる
JA 大阪市を目指して

- 1 持続可能な都市農業の展開
- 2 経営基盤の確立による健全・堅実なJA経営
- 3 組合員・地域との関係強化による組織基盤の確立
- 4 協同の理念を実践する人材の育成
- 5 協同組合と大阪農業の情報発信

＝ 第7次中期経営計画 公募スローガン ＝ (発案者：当時 長吉支店 委浦 亜弥)

「未来につなごう 希望の光 ともに築こう 地域の輪」

平成31年5月1日、元号が「平成」から「令和」に改元。この年12月、中国武漢市での第1例目感染者報告から今日まで続く新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、経済活動は大きく低迷しました。日常生活も大きな行動制限を受けることとなり、生活様式が一変する事態となりました。JA 大阪市では、安全・安心な野菜類を広く地域の皆さまにお届けすることを目的として、平成31年4月より各支店

での移動販売を開始いたしました。あわせて特筆すべき新しい取り組みとして、同年より営農促進センターにてイタリア野菜の試験栽培を開始。料理店・流通関係者を招いた「イタリア野菜お披露目ライブキッチン」を開催しています。また、イタリア野菜を活用した取り組みとして、子ども食堂へのイタリア野菜の寄贈や、初の加工食品「大阪生まれのトレビスリゾット」の開発を行いました。



帝塚山学院大学との共同企画。学生が田辺大根のメニューを考案。メニューはキャンパス食堂で提供され、入賞者のレシピを広報誌「萌」で発表しました。

◆令和1年12月25日
第1回なにわの伝統野菜メニュー
開発コンテスト



◆令和2年5月25日
巽支店新築オープン (巽南支店と統合)



コロナ禍による外出自粛の中、花を育てる楽しみを感じてもらおうと、市内在住の小学生がいる世帯に61セットの「ミニガーデニングキット」をプレゼントしました。

◆令和2年8月1～31日申込
寄せ植えキットプレゼント

◎平成31年4月16日
直売所「おいで～菜」移動販売開始

2020
令和2

◆令和1年8月
イタリア野菜試験栽培開始
(営農促進センター)

◆令和1年7月9日
特殊詐欺撲滅キャンペーンセレモニー
(本店駐車場)



JA 大阪市では、組合員・地域利用者の資産を守るため「特殊詐欺撲滅キャンペーン」を実施。警察署とも協力して、啓蒙活動や呼びかけを行いました。



◆令和1年11月20日
第1回 イタリア野菜お披露目ライブ
キッチン (本店別館 料理教室)

イタリア外務省主導の「世界イタリア料理週間」の公式イベントとして開催。飲食店関係者を対象に、島之内フジマル醸造所の岡統括シェフが実演。

【令和2年4月7日】
新型コロナウイルス感染拡大
大阪に緊急事態宣言発令



◆令和2年2月21日
支部長代表協議会主催
正木明さん講演会
(本店別館 ホール) 150名

「防災は自助・互助・協力のまちづくり」と題した講演会。昨年の西川ヘレン氏に続き3回目の開催です。



◆令和3年3月15日
東淀川支店リニューアルオープン



◆令和3年3月30日
営農促進センターを
防災協力農地に登録
大阪市内第1号

2021
令和3

◎令和3年1月19日
女性活躍リーディングカンパニー認証取得



◎令和3年9月15日
「大阪生まれのトレビスリゾット」
の開発・販売

大阪市内産のトレビスとお米「ヒノヒカリ」を使ったリゾットを、組合員・株幸南食糧・IBU 四天王寺大学の協力で開発。直売所「おいで～菜」平野店や通販サイト「JA タウン」で販売しています。



◆令和3年10月25日
茨田支店リニューアルオープン
(城東支店と統合)

◆令和3年6月30日
大阪市立小学校に不織布マスク
を寄贈 (計57,600枚)



◎令和3年4月1日
JA 版農業電子図書館導入



◆令和3年10月21日
「准組合員モニター」活動開始 (計3回)

准組合員にJA 大阪市の事業や活動を知っていただき、意見やご提案を事業に反映するため、モニター活動を開始。事業所見学や農業体験、意見交換会などを実施しました。



◆令和4年2月28日
加美支店リニューアルオープン
(加美南支店を統合)

2022
令和4

◎令和3年11月1日
渉外担当者による集金に
電子サインを採用

◆令和4年2月4日
産学連携の強化に向けて
IBU 四天王寺大学・四天王寺大学
短期大学部教授と意見交換 (本店)



「大阪生まれのトレビスリゾット」のネーミングを担当したIBU 四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部。学生らの学ぶ機会を提供しながら、学生らのアイデアを取り入れた商品開発を推進したいとの考えを相互に確認しました。

第8次中期経営計画

2022年度～2024年度
(令和4年4月～令和7年3月)

＝基本方針＝

不断の自己改革の実践！

持続可能な大阪農業と地域共生
をめざして

- 1 持続可能な大阪農業の振興
- 2 組合員・地域住民のJAへの参加・参画に向けた環境づくり
- 3 将来の環境変化を踏まえた経営基盤の確立
- 4 JAの組織・事業・経営を支え活躍する「人」づくり
- 5 広報活動の強化によるJAの魅力発信

＝第8次中期経営計画 公募スローガン＝
(発案者：本店 経理課 松尾 純一)

「不断の改革 不断の挑戦 目指せ地域のオンリー ONE!」

令和3年6月に閣議決定された「規制改革実施計画」では、各JAが自己改革実践サイクルを構築していくことが求められ、その中で、准組合員の意思反映や事業利用の方向性をPDCAサイクルに盛り込んでいくこととなりました。

このような中、JA大阪市では第8次中期経営計画の初年度を迎え、2年目となる「准組合員モニター」を実施いたします。地域利用者の意思反映にかかる取組を強化するとともに、直売所や移動販売の活用、また教育機関との連携による地元農作物の情報発信強化を通じ、引き続きJA自己改革の実践に努めてまいります。



実行委員会にJA全農大阪が名を連ねる「おおさかもんマルシェ」に、移動販売車「おいで～菜」で出店。直売所「おいで～菜」をPRし、市内産の新鮮野菜の魅力を伝えました。

◆令和4年5月27～28日
おおさかもんマルシェに出店
(グランフロント大阪うめきた広場)

2023
令和5

2024
令和6

◆令和4年4月1日

JA大阪市合併30周年

各種文化教室を再開

ホームページをリニューアル

情報が探しやすいようページ構成を変更。また、PCでもスマホでも見やすいレイアウトになるレスポンス仕様に変更しました。

リニューアルを記念し、市内在住の方へ、抽選で100セットの「ミニガーデニングキット」をプレゼントしました。



◆令和4年7月

組合員の支部活動を一部再開

◆令和4年11月15日

JA大阪市合併30周年記念式典

(大阪新歌舞伎座)
30周年記念誌贈呈

「記念式典」と「福田こうへい特別講演」の2部構成で実施。JA大阪市役員・組合員総代・組合員組織役員などの他、広報誌「萌」で公募した組合員等を合わせて約1,200名を招待します。



組織図

現役員紹介

事業活動紹介

信用事業

共済事業

営農事業

経済事業

経営管理

組合員組織活動紹介

自己改革の取組み

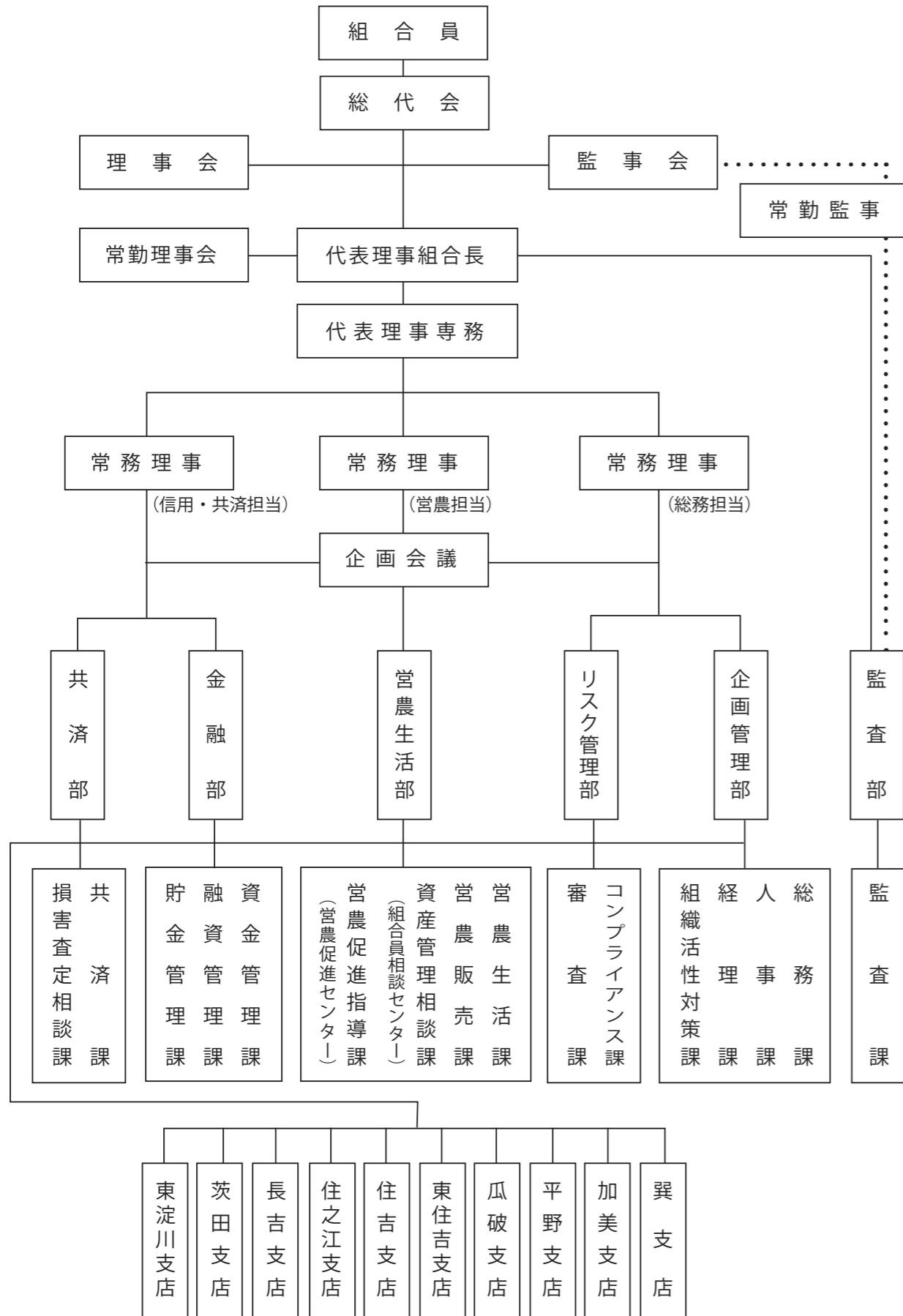
事業所紹介

Organization・Concern

JA 大阪市の組織・事業

組織図

令和4年4月1日現在



現役員紹介 //

常勤役員



代表理事 組合長
菱井 由一



代表理事 専務
福中 利夫



常務理事
合羽 雅彦



常務理事
田中 聡



常務理事
中川 誠



常勤監事
文野 和彦

理事



理事 井浪 一晃



理事 岡田 尚士



理事 林 育彦



理事 木下 泰徳



理事 山口 雄三



理事 坂野 幸作



理事 磯田 一昭



理事 榊井 勇



理事 西川 光明



理事 井田 一裕



理事 平岡 美枝子



理事 林 登志子



理事 山野 吉英



理事 青木 清明



理事 樹 富加津



理事 藪野 雄史



理事 竹野 嗣夫



理事 芝本 等



理事 長谷 裕司



理事 村井 富雄



理事 辻本 一



理事 南野 利博



理事 綿世 良一



理事 山野 義秋

監 事



代表監事 山内 幸夫



監事 瀧田 義治



監事 灰野 悦次



監事 東野 富士雄



員外監事 辰巳 八栄子



信用事業

- 貯金
- 貸出
- 為替
- 国債販売

令和 4 年 3 月末現在

貯金残高
3,288 億 3,266 万円

貸出金残高
748 億 3,130 万円

JA 大阪市では、地域の組合員・利用者の皆さまの大切な金融資産管理をサポートするため、各種貯金から資産運用まで、幅広い商品やサービスをご用意。『地域で一番頼れる金融機関』を目指し、様々な取組みを行っています。

各支店での年金や住宅ローン相談などに加え、提案型サポートの強化として「財産診断」を実施。ご家族の状況や不動産・金融資産の保有状況を様々な角度から分析し、各分野の専門家と連携して、「資産を活かす・資産を次代へ遺す」ための最適なプランをご提案いたします。遺言信託や遺産整理など、相続に関する煩雑で分かりにくい手続きのご相談なども承っています。

貸出しについては、農業基盤の拡充と農業の発展をはかるため、「JA 農機ハウスローン」や「農業振興資金」など農業関連融資に積極的に取り組んでいます。また、皆さまのニーズやライフプランに合わせて「住宅ローン」「リフォームローン」「マイカーローン」「教育ローン」など、最適なプランを選択していただけるよう、多数の商品をご用意しています。

一方、IT 機器の普及に対応し、「JA ネットバンク」や「JA バンクアプリ」などインターネットを活用したサービスにも注力。JA バンクアプリでは、スマートフォン専用のソフト（アプリケーション）で、口座残高や入出金履歴等を簡単に確認することができます。また、JA ネットバンクを利用すれば、窓口や ATM に行くことなく、インターネットで振込や公共料金支払などの取引が可能です。

JA 大阪市も一員となっている JA バンクでは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JA バンク・セーフティネット」を構築し、組合員・利用者の皆さまにより一層の「安心」をお届けしております。さらに、「食」と「農」への理解を深めるため、平成 20 年度より『JA バンク食農教育応援事業』をスタート。JA 大阪市もこの事業に賛同し、食農教育活動を推進しています。

これからも万全の体制のもと、金融サービスの充実・強化を図り、『JA 大阪市ならではの』存在価値を発揮するよう努めてまいります。



「農業関連融資」
農業者の皆さまの運転資金・設備資金などの資金ニーズにお応えしています。



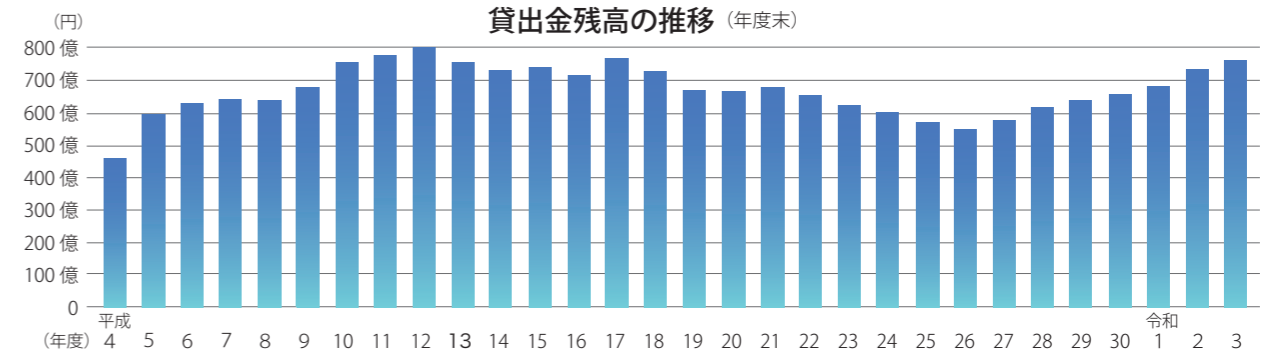
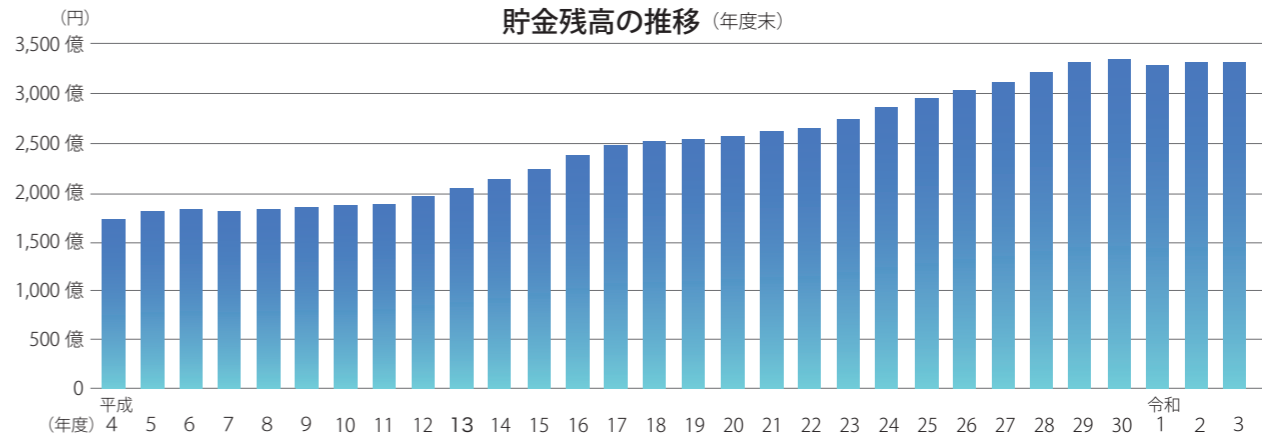
「各支店での各種相談受付」
「頼りになる身近な JA 大阪市」を目指し、年金・住宅ローン・相続に関する相談など、各種相談を承っています。



「JA バンク食農教育応援事業」
JA 大阪市もこの事業を活用し、市内小学校への農業教育教材配布、「親子農業体験」など様々な食農教育を実施しています。



「年金友の会」
生きがいのある明るい人生を送ることを目的とした会です。毎年、記念品をお渡しするほか、1泊2日旅行など、シルバーライフを応援しています。





共済事業

長期共済

短期共済



令和4年3月末現在



長期共済保有高
5,572億7,931万円

年金共済保有高
96億6,000万円

令和3年度 共済金支払実績
64億2,138万円

JAの共済事業は、生活を取り巻くさまざまなリスク『ケガ・病気・火災・自然災害・交通事故など』を対象としています。『共済』とは、組合員・利用者の皆様があらかじめ一定の『共済掛金』を拠出して協同の財産を準備し、不測の事故などが生じた場合に『共済金』をお支払いする保障制度。組合員やそのご家族に生じる経済的な損失を補い、生活の安定を図る相互扶助（助け合い）です。JA大阪では、この共済により、地域の組合員・利用者の皆様に『ひと・いえ・くるま』の総合保障を通じた安心をお届けしています。

また、組合員・利用者の皆様とのコミュニケーションを強化する「3Q活動」を実施。3Q活動とは、「ありがとうの気持ち」を込めた訪問やお電話での確認活動で、「最近、ご家族のみなさまにはおかわりはありませんか?」「最近、ご自身やご家族の保障について気になったことはありませんか?」「現在ご加入の保障内容で、ご不明・ご心配なことはありませんか?」という「3つのQ（質問）」をお伺いして

います。ライフスタイルの変化やニーズにあった保障を提供し、共済金をもれなくご請求いただくための取組みです。

一方、組合員・利用者の皆様の利便性向上と事務手続きの軽減を図るため、タブレット型端末機を活用した契約申し込み手続きのペーパーレス化や共済掛金のキャッシュレス化を実施しています。また、皆様の更なる利便性向上に向けた取組として、令和3年度より、スマートフォンアプリ『JA共済アプリ』で2種類のサービスを開始。24時間・365日いつでもアプリの利用が可能になり、ご契約者様ご自身でご契約内容の確認や住所や電話番号変更のお手続きをいただけるようになりました。

さらに、地域貢献活動として「書道コンクール」や「交通安全教室」を開催し、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりにも取り組んでいます。

今後も組合員・利用者との『絆』を何よりも大切に、『安心』と『満足』を提供してまいります。

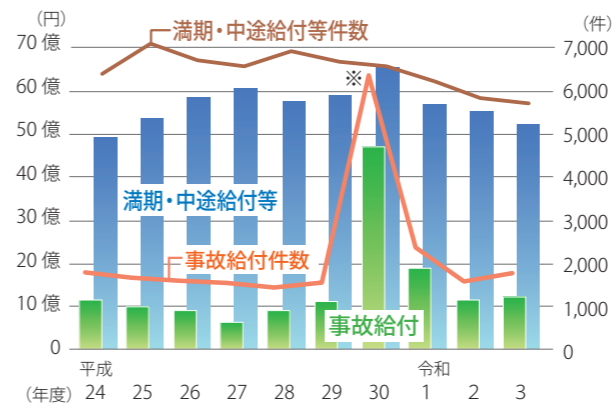


「農業者の皆さまに対する保障」
農業協同組合の共済として、農業を取り巻くリスクに備え、様々な保障を取り扱っています。



「JA共済大阪府書道コンクール」
書写教育に貢献することを目的とした、大阪府下小・中学生対象の書道コンクールです。令和3年度には1,132名の児童生徒が出品し、力作を競い合いました。

共済支払実績の推移（年度末）

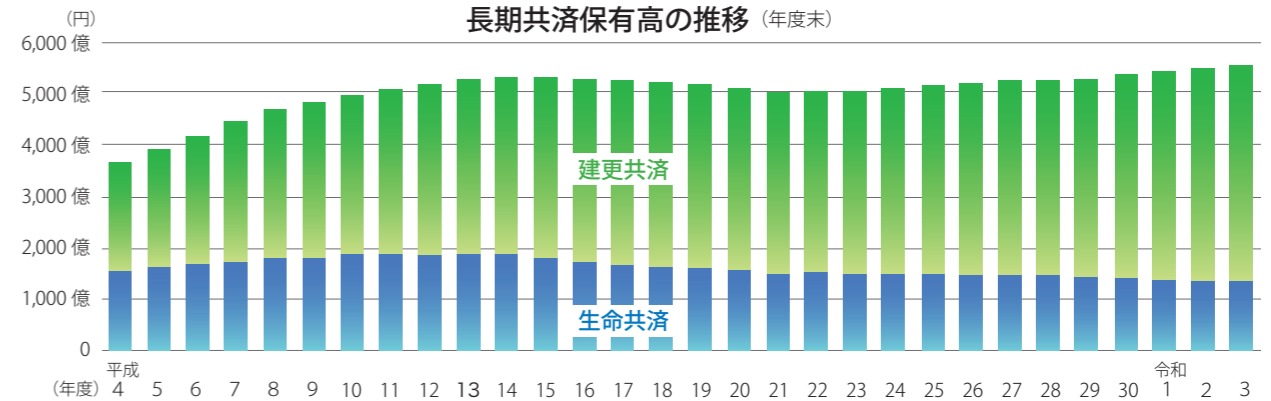


※平成30年度は大阪北部地震・台風21号が発生

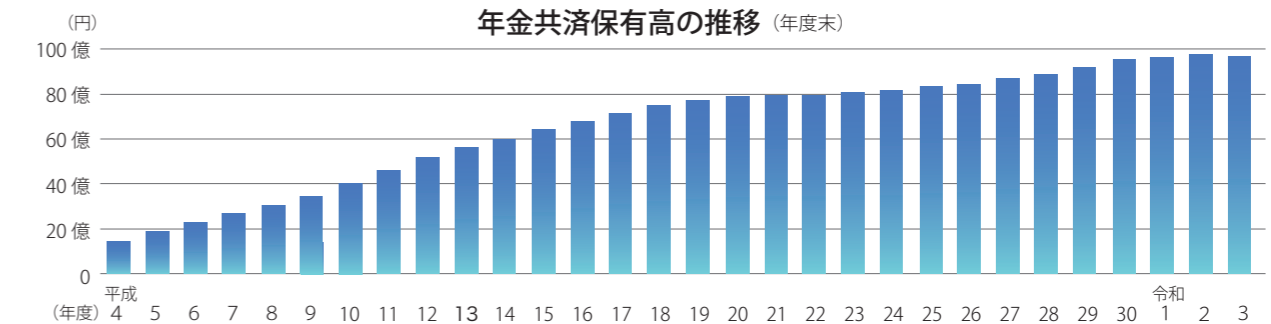


「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」
就学前の幼稚園・保育園児を対象とした大人気の交通安全教室です。アンパンマンたちと一緒に歌って踊って、交通ルールなどを学びます。

長期共済保有高の推移（年度末）



年金共済保有高の推移（年度末）





営農事業

利用事業

指導事業



令和3年度 利用事業収益

7,033 万円

令和3年度 指導事業収入

290 万円

営農促進指導課では、「持続可能な大阪農業と地域共生」を重点課題とし、担い手の確保や営農サポートによる農地の保全、食農教育の実践による都市農業への理解推進など、幅広く取り組んでいます。

「利用事業」では、高齢化が進む農家組合員の営農をサポートする受託作業を実施。年々ご要望が増える中、受託内容の充実と効率化に努めています。令和2年度には、草刈り受託作業を追加しました。営農促進センターでは、花き・野菜・水稻苗の育成も行っており、新たにイタリア野菜やたまねぎ苗の育苗も開始。安価で品質のよい苗を安定的に供給し、農家組合員の負担に応えられるよう努めています。

令和1年度より、農地保全のため貸農園の開設にも取り組み、3年間で3件を新規開設しました。

「指導事業」では、後継者育成や農業技術の指導を実施。担い手の育成と新規就農者の技術指導のため開催している「農業講座」は、今年で7年目を迎えています。また、令和3年度から「農業電子図書館」を各支店に設置。「農業電子

図書館」は、病害虫や雑草・農薬など生産に関する情報等が簡単に検索できる、タッチパネル式の情報端末タブレットです。持ち運べて画像も見られるため、出向く営農指導の強化へ活用をすすめています。農家組合員や貸農園利用者に頼られる指導・サポートができるよう、体制構築に努めています。

また、農地制度や農業関連制度などの説明会を実施し、理解の浸透に努めています。特定生産緑地指定申請については、令和2年度より、行政などと連携して対象組合員全戸に意向確認を実施し、営農の継続を促しました。

地域共生の取り組みでは、災害時の市民の安全確保などに役立つ農地「防災協力農地」の登録を推進し、大阪市内では営農促進センターが第1号に登録されました。また、近隣小学校の総合学習の一環として、営農促進センターのは場でのお米作りの体験（田植え、稲刈り）を実施。学習田のある小学校には、水稻苗を無償提供しています。更に、組織活性化対策課と連携し、「親子農業体験」を継続して実施するなど、食農教育を通じて地域との共生を目指しています。



利用事業

「田植え・水稻収穫・トラクター作業など農作業の受託」



「水稻機械苗や野菜・花き苗の育成」

田植えや苗の育成など、農作業の一部を代行する「利用事業」を年間通して行っています。



「貸農園」

天候や病害虫など自然の厳しさと向き合いながら、野菜を自らの手で育てて味わう喜びを体感していただけます。



指導事業

「土壌診断」

土壌の栄養状態を知り効率的な施肥の実施で、作物の収穫量・品質を向上し、生産コストの低下を目指します。

「農業講座」

農業後継者らを対象とした農業講座。座学から営農促進センターでの実地講習まで、基礎からしっかり学びます。



「各種制度説明会」

農地制度や大阪エコ農産物認証制度などの説明会を随時開催。農地の継承と営農をサポートしています。



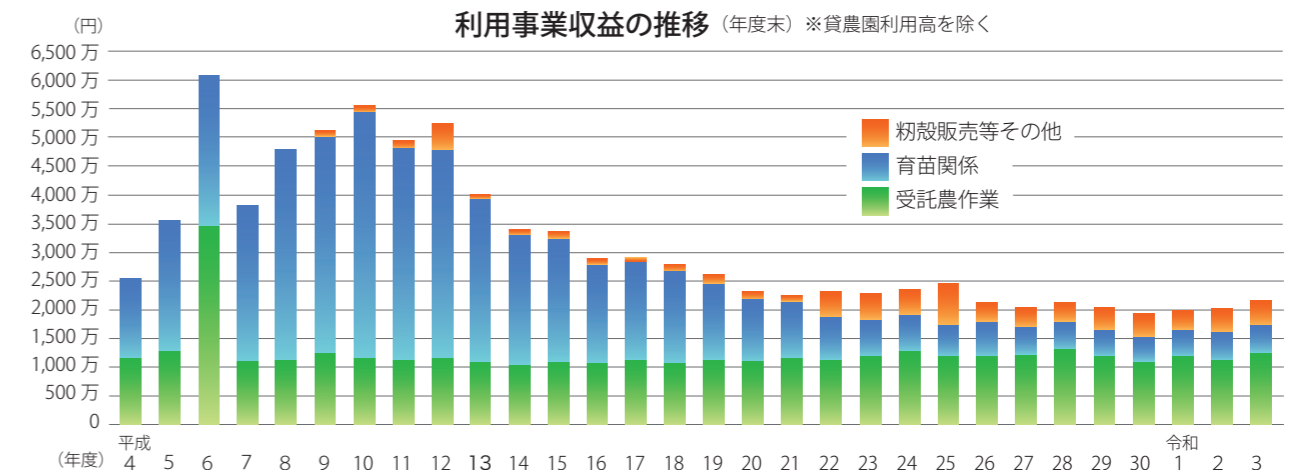
「イタリア野菜試験栽培と栽培指導」

大消費地に近接する立地を活かし、イタリア野菜を大阪市の新たな特産品にすべく取り組んでいます。



「農業体験（食農教育）」

営農促進センターで、春と秋に「親子農業体験」を実施する他、児童・学生や教員らの農業体験も受け入れています。





経済事業

- 販売事業
- 購買事業
- 資産管理


令和3年度 販売事業収益
3,481 万円
令和3年度 購買事業収益
5,275 万円
令和3年度 宅地等供給事業収益
4,512 万円

販売事業

営農販売課では、管内農家組合員が生産した農産物の販売を行っています。販売品取扱高は低迷していましたが、近年増加傾向に転じています。

平成26年2月にJA大阪市直売所・朝市会が発足し、同年7月に直売所「おいで〜菜 本店」が、平成29年6月には直売所「おいで〜菜 平野店」がオープン。常設直売所の開設により、販売の間口を大きく広げました。また、店頭と並ぶ野菜には出荷者の氏名が記載されており、消費者と生産者をつなぐ場にもなっています。その後、管轄エリア全域で新鮮な農産物を販売するため、「おいで〜菜 本店」の業態を移動販売に転換。移動販売車が、毎月定期的に各支店へ新鮮な野菜を運んでいます。また「おいで〜菜 平野店」では、農家組合員が育てたお米「ヒノヒカリ」を販売し、お好みの精米度合いでの店内精米も実施。玄米は、平成30年に新設された米定温倉庫で、品質を維持して保管されています。また、インスタグラムで新鮮野菜の入荷状況や農家

組合員の活動情報を随時発信するなど、SNSを使ったPR活動も推進しています。

一方、朝市会の会員では、研修を重ねて農業技術の向上と新たな農産物の生産にも取り組んでおり、新規就農者支援のため開講されている「農業講座」修了者からも、直売所に出荷する農家組合員が生まれています。

また令和3年からは、オリジナルの加工品開発という新たな展開も加わりました。農家組合員が生産したイタリア野菜トレビスとお米ヒノヒカリを使ったリゾットの開発では、幸南食糧株式会社とIBU 四天王寺大学・四天王寺大学短期大学の協力で商品化。「おいで〜菜 平野店」だけでなく、通販サイト「JAタウン」でも販売しています。試食アンケートの集計結果を踏まえた商品改良を加え、更に、イタリア野菜を使った新たな商品開発も進行しています。こうした地元企業とのビジネスマッチングも進めながら、今後も、農家組合員の販路拡大と農家所得の増大に向けて取り組んでまいります。



直売所「おいで〜菜 平野店」
市内農産物を中心に、旬の野菜や加工品、花苗などを取り扱っています。「インスタグラム」を活用して旬の情報も発信しています。



おいで〜菜「移動販売」
週と曜日を固定し、各支店を巡回する移動販売です。「直売所は遠くて行けない」との声にお応えしてスタートしました。



年に1度の大規模イベント「大阪市農業フェア」
収穫の秋の大イベント。農産物の品評会 & 即売会の他、模擬店や花苗のプレゼントなど、大阪市農業のPRと地域の皆様との交流をはかっています。



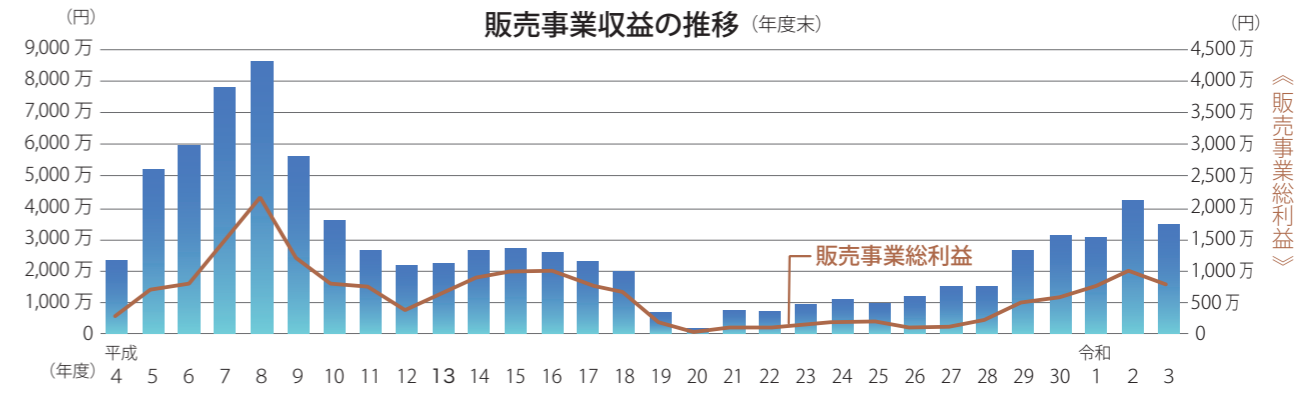
地域イベントで「即売会」・事業所主催の「朝市」
区民まつりなどの地域イベントで、野菜や花苗の「即売会」を実施。営農促進センター・東淀川支店・巽支店では、事業所単独での即売会「朝市」を開催しています。



都心の直売イベント「夕市」
朝市や移動販売を行っていない大阪の中心街で働く方に大阪市農業を知ってもらおうと、仕事帰りの夕方にJAセンタービル(中央区)で冬に実施しています。



オリジナル加工品の開発
「大阪生まれのトレビスリゾット」を皮切りに、イタリア野菜を使った「ケールのポタージュスープ」「フェネルのスープ」などの開発をすすめています。



事業活動紹介

購買事業

営農生活課では、農家組合員が生産に必要とする生産資材と、組合員の皆さまの暮らしに必要な生活物資を取り扱っています。

生産資材では、取扱品目の選定と銘柄集約、予約購買による一括購入により、低価格で安全・良質な資材の提供を目指しています。また、土壌診断による効率的な施肥設計など、営農促進指導課と連携した取組みも実施しています。

生活物資では、生活様式が多様化する中で、高齢者や地域の皆さまのニーズに対応した、健康で豊かな生活に必要な品目の選定と取扱商品の充実に取り組んでいます。食料品を中心としたエコープマーク商品（安心・安全な JA グループのオリジナル商品）等の共同購入（つみあげ運動）のほか、石材・仏具などのメモリアル商品、住宅関連商品、健康関連商品など幅広い品揃えです。

また、年に1度、農機具展示会と購買用品合同展示会を実施。実際に商品を手に取り、説明を受けながら吟味していただける機会を設けています。



「農機具の展示会・講習会」
農機具の展示販売の他、農機具の使い方や安全講習を年に1度、営農促進センターで開催。



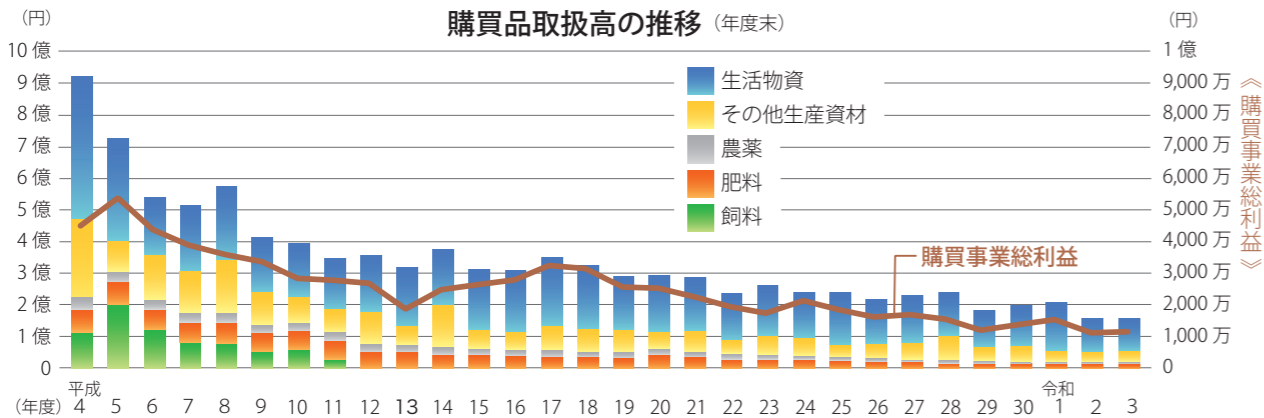
「予約購入」
肥料や農薬・生産資材の予約購入を年に2度実施。



「購買用品合同展示会」
仏壇から美術品、農業関連商品まで幅広い商品が集まる展示会。年に1度、本店別館ホールで開催。



「共同購入 つみあげ運動」
エコープの食品や生活用品を、年に3回カタログ注文で共同購入します。



資産管理相談事業

資産管理相談課では、組合員皆さまの大切な資産（不動産）を守り有効活用していただくため、様々なニーズにお応えしています。

宅地建物取引業免許を取得し、土地売買の仲介や土地活用に関する相談を承っており、更に、顧問弁護士や顧問税理士・融資管理課等と連携した不動産有効活用のご提案も行っています。

新築個人住宅斡旋時には、建築に伴う諸手続きや設計・管理、完成後のアフターサービスまで、施主さまの立場に対応する「施主代行システム」でサポートいたします。施行時には、JA グループの一級建築士が、着工から完成・引渡しまで工事中の建物を厳しくチェックしています。

その他、農地の売買や農地の盛土などのご相談・サポート、特定生産緑地の申請や生産緑地に追加申請のサポートなど、農地が次世代に繋がるよう、行政等関係諸団体とも連携し農地保全にも努めています。

- 【業務内容】
- ◎土地活用の相談やテナント斡旋
 - ◎土地（農地・宅地等）の売買の仲介
 - ◎集合住宅（大手提携業者）等の建物建築の斡旋
 - ◎新築個人住宅の斡旋（JA 全農を通して大手ハウスメーカーと提携）



監査

業務上の不正の防止と経営目標の効果的な達成、客観的意見や助言・助言による諸活動の支援を目的として内部監査を行っています。

不祥事を未然に防止する組織体制と、不祥事を発生させない組織風土の構築に注力し、法令遵守に重点を置いた取組みを展開。また、JA の組織・事業・経営を支え活躍する人づ

リスク管理

リスク管理部コンプライアンス課では、役職員が各種法令や企業倫理・社会規範を遵守し、不祥事を発生させないコンプライアンス体制強化に努めています。JA 大阪市の内部統制における第2線のディフェンスラインとして、第1線の事業部署・支店を指導・支援し、第3線である監査部署と連携を図り、リスク管理における司令塔的な役割を担います。

審査課は、独立した部門として融資案件の検証・審査を行っています。「堅実な管理の上こそ良質な事業推進が成り立つ」という認識を定着させるべく、債権管理を意識した自己査定を取り組みにより、信用リスク管理の強化を目指します。

- 【3線モデル（3つのディフェンスライン）】
- リスク軽減と不祥事未然防止のための3線による牽制
- 第1線（事業部署・支店）：リスクをコントロールする直接的責任
 - 第2線（管理部門）：1線への支援を含めた助言・監督など間接管理
 - 第3線（監査部署）：1線・2線の評価と助言

くりを実践し、各業務に精通した内部監査士資格保有者の育成・上級内部監査士の資格取得や、監査業務に必要な専門的知識向上に努めています。

3線モデル強化に注力し、牽制機能を果たすことができるよう、リスクアプローチの考え方にに基づき内部監査計画を策定、実行しています。

企画管理

企画管理部は、総務課・人事課・経理課・組織活性化対策課の4課により構成されており、各事業部門を支援しながら、組織・経営基盤の拡充を目指しています。

経営企画分野では、JA の経営改善や成長を図るため、将来発生する環境変化を想定し、効果的・効率的な事業運営を目指す経営計画を策定すると共に、信憑性のある経営基盤の強化を進めています。また、JA の組織・事業・経営を支える「人」にも着目し、職場内ローテーションや人事考課制度の効果的な運用など、人材育成と働きやすい職場環境づくりを実践しています。

令和4年4月には、JA 大阪市の特徴である都市農業をイメージにしたデザインのホームページに一新。スマホでも見やすくなったサイトで、「食と農」や「地域活動」など、大阪市内農業やJA 大阪市の取組みについての情報発信を行っています。近年では、JA の認知・利用・参加に繋げるため、組合員や地域の皆様を対象とした文化活動・健康増進活動などを実施し、教育機関と連携した食農教育にも力を入れています。また、准組合員による意思反映に向けた取組み「准組合員モニター」を開催し、組合員との対話を進め、正・准組合員が両輪となった JA 運営の実現に努めています。

＜組織活性化対策課の取組み（一例）＞



支部長代表協議会

- 【会 員】各支店の支部長代表
- 【会 員 数】10名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】農協運動の実践組織として、農業の振興と農業経営の改善等、組合員相互の提携と協同活動を高め、組合員の経済的、社会的地位と文化向上を図る
- 【主な活動】・支部長研修やセミナーの実施
・著名人講演会等の開催



技術部会

- 【会 員】農業に関わる組合員
- 【会 員 数】409名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】情報交換と連帯をはかり、農家の経営技術水準を組織的に高めること
- 【主な活動】・農作物品評会の開催
・立毛品評会の開催
・地域イベントでの即売会の開催と大阪市農業のPR活動
・各支部での視察研修会の実施
・営農に関する研修会の実施



年金友の会

- 【会 員】JA 大阪市の口座で年金をお受け取りの方
- 【会 員 数】916名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】相互の連携、話し合いで生きがいのある明るい人生を送ること
- 【主な活動】・親睦旅行の開催



大阪市花き生産組合

- 【会 員】花きの生産者
- 【会 員 数】11名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】生産技術の向上と、経営の効率化並びに組合員相互の親睦
- 【主な活動】・直売所、イベントなどでの花苗などの販売とPR活動
・花き生産技術向上に向けた研修会の実施
・寄せ植えキット「ミニガーデニングキット」の花苗生産
・食農教育 (寄せ植え体験)



女性会

- 【会 員】組合員の女性
- 【会 員 数】1,348名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】会員相互の提携と協同活動を高め、会員の地位向上と明るい豊かな地域社会を築くこと
- 【主な活動】・各支部でのクラブ活動
・各支部での講習会
・JA 大阪市 女性・家の光大会 (活動発表会) の開催
・親睦旅行の実施
・地域イベントでの即売会などのサポート
・食農教育
『ベジっ子 Bento!』の先生
『親子農業体験』のサポート
・読み聞かせなどのボランティア活動
・みそづくりなど文化の継承活動



JA大阪市直売所・朝市会

- 【会 員】直売所などへ農産物を出荷する生産者
- 【会 員 数】159名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】新鮮で安全・安心な農産物を市民に提供、地産地消、情報提供、情報交換、会員相互の活性化、農家の経営技術水準を組織的に高めること
- 【主な活動】・直売所、朝市、移動販売への農作物の出荷
・視察研修会の実施
・営農に関する研修会の実施
・農業の使用など、納品作物に関する基準策定



大阪市なにわの伝統野菜生産者協議会

- 【会 員】なにわの伝統野菜の生産者
- 【会 員 数】15名 (令和4年3月31日現在)
- 【活動目的】伝統野菜生産技術の向上と、経営の効率化並びに会員相互の親睦
- 【主な活動】・直売所、イベントでの伝統野菜の販売とPR活動
・生産技術向上に向けた研修会の実施
・市内小学校給食への出荷
・食農教育 (ほ場視察、収穫体験)



自己改革

「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」の確立

◆平成 25 年 12 月
「農林水産業・地域の活力創造プラン」

農業の成長産業化に向けた農協・農業委員会等に関する改革の推進が明示。

◆平成 26 年 6 月
農協改革の推進について

政府の農協改革集中推進期間開始

◎平成 27 年 4 月

「都市農業振興基本法」施行

都市農地は「宅地化すべきもの」から「保全すべきもの」へと方針転換。都市農地の役割（必要性）を明示。

◆平成 28 年 4 月

「改正農業協同組合法」施行

農協中央会の一般社団法人への移行など、農協組織や役割の変更。各農協単位での株式会社等への組織変更の選択も可能に。准組合員の利用規制は、農協改革の実行状況の調査のうえ 5 年後に結論を出すことに。

◎平成 29 年 5 月

「生産緑地法」改正

都市農地の保全・活用を図るため、生産緑地指定のハードルが下げられた。

◆令和 3 年 6 月

准組合員の事業利用について、一律的な規制は導入しないという結論に

組合員の評価を踏まえて、自己改革の取り組みの改善・実行を繰り返す「自己改革実践サイクル」の構築と実践を求める。

政府 農協改革集中推進期間

自己改革集中期間

不断の自己改革の実践

◆平成 26 年 4 月
「JA グループ営農・経済改革プラン」発表

◆平成 26 年 11 月
「JA グループ自己改革案」発表

基本目標（活動の 3 つの柱）

- 1 農業者の所得増大
- 2 農業生産の拡大
- 3 地域の活性化

◎平成 28 年 4 月
「JA 大阪市 なにわ野菜ファミリー」デビュー

JA の自己改革に対する調査
JA 大阪市 組合員アンケート

平成 30 年～令和 1 年にかけて実施

JA 大阪市の全組合員にアンケート用紙を郵送。これを正・准組合員との対話の機会とし、JA 役職員による訪問・対面を原則に、アンケートを回収しました。



◎令和 3 年 4 月
JA 大阪市における准組合員を「正組合員と共に地域農業や地域経済における発展を支えるパートナー」と位置づける。

◎令和 3 年 10 月～
JA 大阪市 准組合員との対話強化へ「准組合員モニター」活動開始

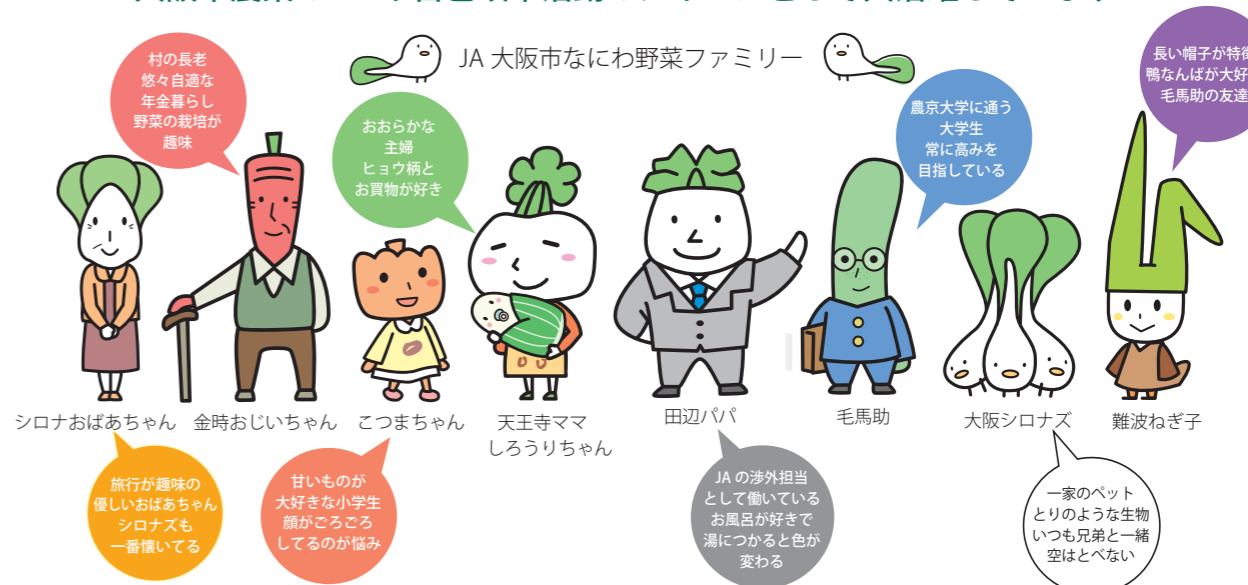
准組合員に JA 大阪市の今を伝え、准組合員の声を組合運営に活かすための活動です。

政府が進める「農協改革」は、農業の成長産業化に向けた展開として提言されました。

しかしこの「農協改革」は、農家や農協からの要望によるものではなく、准組合員の事業利用規制や信用事業の分離・代理店化など、ともすれば農協の解体につながる改革でもありました。

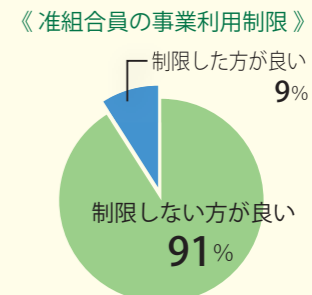
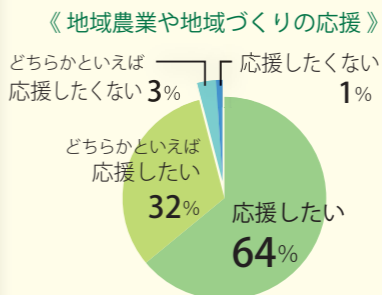
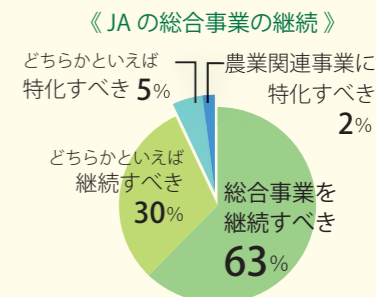
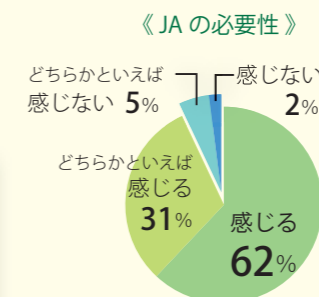
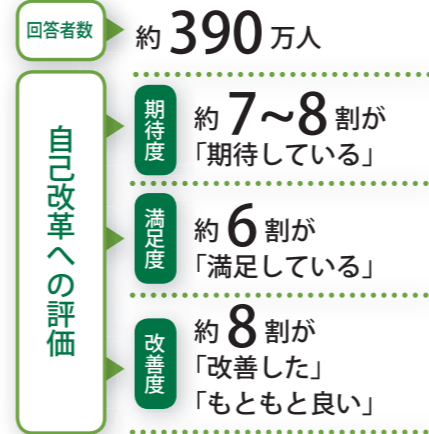
それに対し我々全国の JA は、改めるべきところは自らの手で改め、農業協同組合の役割や価値を組合員と共に再認識しながら、組合員や利用者の願いを実現し地域の農業と暮らしになくはならない組織となるため、自らの力で「農協改革」を進める——— その取り組みが【自己改革】です。

「なにわの伝統野菜」をモチーフにした JA 大阪市のオリジナルキャラクター
大阪市農業の PR や自己改革活動のアイコンとして大活躍しています



組合員アンケート
JA 大阪市の主な結果
(有効回答数 9,518 人)

全国 JA の集計結果



自己改革

これまでの取り組みを継続しながら、更にその内容や幅を広げること。そして JA の活動を広く伝え、都市農業の振興と協同組合への理解を広げること。

生産コストの低減

予約購買による生産資材の価格見直しを行いました。

また、新たに安価なタマネギ苗の販売も開始。直売所・朝市会会員に向けては、安価なプラグトレイ苗の普及にも取り組んでいます。



土壌診断

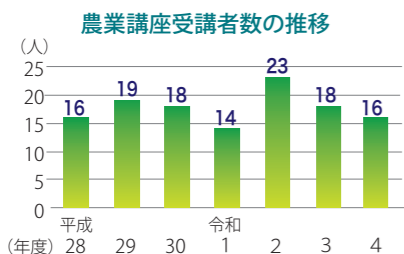
土壌の栄養状態の検査です。不足する養分と過剰な養分を把握することで、生育する農産物に合わせた適正な施肥が可能になります。作物の収量の安定はもちろん、効率のよい施肥でコストの低減にもつながります。

担い手の育成

農業講座



農業技術・知識の向上を目指す方向に向けた『農業講座』を開講し、本格的に農業に取り組む担い手を支援。直売所「おいで〜菜」へ出荷する農業者の増加にも一役買っています。また、営農相談を随時受付、個別のサポートも行っています。



売れる場があるから、喜んでくれる消費者がいるから、作る喜びや楽しみが、新たなチャレンジへとつながる

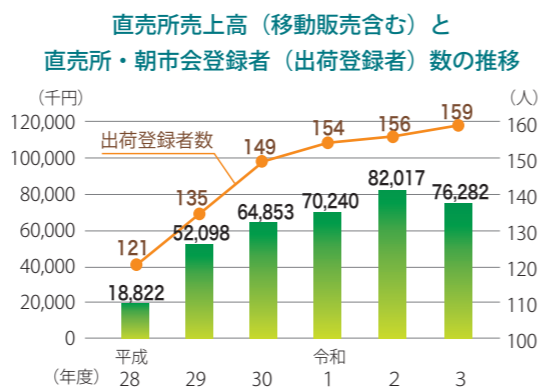
多様な販路の確保



【常設直売所】 【移動販売】 【即売イベント】

大阪市全体が都市農業のため、営農規模が小さく生産高も限られており、自家消費生産者が多いのが現状です。そのため、米や野菜を少量でも販売できる販路をより多く作ることで農業者の所得拡大に繋げようと、即売イベントを開催。中でも、常設の直売所「おいで〜菜」の開店は、自家消費から販売できる農業へ転換する契機となっています。更に、各支店を巡回販売する「移動販売」の開始で、管轄地域全域での年間を通じた販売体制が整いました。

また、米の品質を維持して保管する【米定温倉庫】を営農促進センターに新設。管内農家組合員が生産した「ヒノヒカリ」を保管し、直売所「おいで〜菜」で販売しています。



イタリア野菜を大阪市の特産へ！ レストランへの販売経路拡大を目指す

JA 大阪市の農地は消費地に近く、新鮮な農産物を供給できるという利点があります。そこで、輸入に頼ることの多いイタリア野菜を生産し、レストランへの販路を広げようと、イタリア野菜特産化の取り組みを始めました。コロナ禍よりレストランへの販路拡大は足踏み状態ですが、直売所「おいで〜菜」への出荷数は増加しています。

また、「大阪生まれのトレビスリゾット」の開発や「イタリア野菜ライブキッチン」の開発など、イタリア野菜の生産拡大と PR 活動を進めています。



【大阪生まれのトレビスリゾット】

「農」が担う教育的役割 都市の貴重な農地だからこそ意義を増す

小学校での食農教育



■ 田植指導 ■ 食農授業 ■

大阪市内小学校の総合学習授業『田植体験授業』に稲苗・肥料を提供する他、JA 大阪市職員を講師として派遣し田植え出張授業を実施。学習田のない学校では、営農促進センターでの田植え・稲刈を行っています。また、JA バンクの食農教育本『農業とわたしたちの暮らし』2万冊を大阪市教育委員会に毎年寄贈。JA 大阪市職員が学校を訪問し、この教材を使いながら、米作りや市内農業・地産地消などを教える授業を実施しています。

児童生徒の農業体験や農地見学 学校教員の社会体験学習の受け入れも

営農促進センターでの種まき・収穫などの農業体験だけでなく、実際の農地見学での学習も受け入れています。



地域の中で地域と共に — 各支店が実施

1支店1地域貢献活動

地域のイベントで即売会を実施

地域イベントで野菜や花苗の直売会を実施し、安心で新鮮な農産物を安価で提供しています。

高齢者施設への訪問

介護レクリエーションにと地域の高齢者施設へ野菜や花の苗を提供。植え付けお手伝いもしています。



バザーの開催

女性会を中心にバザーを開催。売上金を社会福祉団体に寄付しています。



野菜づくりで生きがいくくり

地域の方々に向けての農業講座を開催。農を通じて生きがいくくりを実施しています。



応募型の食農教育イベント

親子農業体験

JA 大阪市営農促進センターを会場に、夏は田植えとジャガイモ掘り、秋は稲刈りとサツマイモ掘りを体験。自ら植えた稲の実りを体感してもらおうと、夏と秋の2回セットで実施しています。花の寄せ植えなどもあり、生産者と交流しながらの体験です。昼食は、採れたて野菜を使い、女性会会員が腕を振るいます。



親子農業体験参加のべ人数累計 (平成 26 年度以降)



小学生お弁当作り教室「ベジっ子 Bento!」

大阪市内産の旬野菜を使い、春・夏・冬休みに開催。女性会会員に助けをもらいながら、子ども達の力で作り上げます。



社会福祉活動

野菜の寄付

ひとり親世帯や地域の経済的困窮者を支援する「こども食堂」などに、野菜を寄贈しています。



職員が認知症サポーター研修を受講

高齢者やその家族が安心して利用できる店舗づくりを目指して、認知症サポーターの増員に力を入れています。



文化・健康増進活動

「男の料理教室」や「ウインターコンサート」「絵手紙教室」「囲碁教室」など暮らしを豊かにする文化活動の他、「大阪まちなかハイキング」「ヨガ教室」「ゴルフ大会」など健康増進活動を企画・実施しています。

様々な地域貢献のあり方を模索

本店

所在地／大阪市平野区加美鞍作 2-2-1
電話番号／06-6793-8701

＜令和4年3月末現在＞
【組合員総数】正組合員 1,041名
准組合員 19,190名
【支部構成員総数】89支部 2,271名

●平成26年6月建築

平成26年6月23日に旧本店を取り壊し新築オープン。建物の1階は「加美支店」を併設しています。

新築を機に、「ホール」「多目的スペース」「料理教室」を加え、組合員活動の拠点としての機能を強化しました。ホールのカーペットは畑の畝をイメージしたデザインで、文化教室や講演会などのイベント・女性会活動発表会の他、各種会議など幅広く活用されています。料理教室は、小学生を対象としたお弁当作り教室などの食農教育、男の料理教室・イタリア野菜の普及イベントなどに使用しています。

大阪市内農業のPRと安心で安全な野菜類の提供を目的とした常設店舗、直売所「おいで〜菜」本店も併設。平成31年3月29日には「移動販売」に業態変更し、店舗は閉店しました。店舗スペースは、現在「組合員相談センター」として活用しています。



＜平成26年新築前の旧本店＞



＜ホール＞



＜多目的スペース＞



＜料理教室＞

巽支店

所在地／大阪市生野区巽中 3-16-11
電話番号／06-6758-0521

＜令和4年3月末現在＞
【組合員数】正組合員 72名・准組合員 2,117名
【管轄支部】10支部（構成員数 169名）
大地1区支部（10）、大地2区支部（23）
伊賀ヶ支部（26）、矢柄支部（11）、
西足代支部（27）、中川・小路支部（9）
深江支部（9）、四条支部（17）、大地3区支部（13）
田島支部（24）

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 令和2年5月建築

平成16年、コイン精米機を設置。
令和2年5月25日に巽南支店と統合。これを機に、旧店舗を取り壊し新築オープンしました。



＜令和2年新築前の旧店舗＞

加美支店

所在地／大阪市平野区加美鞍作 2-2-1
電話番号／06-6791-0546

＜令和4年3月末現在＞
【組合員数】正組合員 89名・准組合員 2,215名
【管轄支部】6支部（構成員数 124名）
正覚寺東支部（30）、正覚寺西支部（29）、
正覚寺南支部（32）、鞍作支部（13）
南鞍作支部（8）、新家支部（12）

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 平成25年11月建築

令和4年2月28日、加美南支店と統合し、所在地を本店併設店舗（旧加美南支店）へと移転しました。



＜令和4年加美南支店と統合前の加美支店＞

平野支店

所在地／大阪市平野区平野西 5-2-2
電話番号／06-6702-0852

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 84 名・准組合員 1,780 名

【管轄支部】11 支部（構成員数 256 名）

今林支部 (25)、桑津支部 (14)、杭全支部 (8)、

今川支部 (36)、中野支部 (4)、湯里支部 (29)

平野西支部 (14)、平野東支部 (16)

西喜連支部 (36)、中喜連支部 (35)

東喜連支部 (39)

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 平成 29 年 6 月建築

平成 21 年 3 月 9 日にリニューアルオープン。

平成 29 年 6 月 12 日に旧店舗を取り壊し新築オープンしました。直売所「おいで～菜」平野店も併設しています。



<平成 29 年新築前の旧店舗>

東住吉支店

所在地／大阪市東住吉区湯里 4-7-22
電話番号／06-6701-7500

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 95 名・准組合員 1,628 名

【管轄支部】9 支部（構成員数 172 名）

鷹合支部 (19)、中野支部 (18)、田辺支部 (14)

住道支部 (45)、山支部 (19)、矢田部支部 (27)

枯木支部 (19)、富田支部 (5)、北山支部 (6)

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 平成 16 年 5 月建築

平成 16 年 5 月 10 日に東住吉支店と矢田支店が統合。これを機に、移転新築オープンしました。



<平成 16 年新築移転前の旧店舗>

瓜破支店

所在地／大阪市平野区瓜破 1-9-31
電話番号／06-6703-0444

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 104 名・准組合員 1,147 名

【管轄支部】6 支部（構成員数 82 名）

南之町支部 (16)、仲之町支部 (7)

北之町支部 (17)、西之町川西支部 (26)

西之町川東支部 (9)、成本支部 (7)

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 昭和 44 年 6 月建築

平成 20 年 3 月 17 日にリニューアルオープン。

令和 4 年 10 月 24 日付けで、平野支店と統合します。



<平成 19 年リニューアル前の旧店舗>

住吉支店

所在地／大阪市住吉区杉本 2-30-8
電話番号／06-6691-0293

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 150 名・准組合員 1,561 名

【管轄支部】11 支部（構成員数 225 名）

杉本支部 (20)、山之内支部 (27)

我孫子支部 (31)、東長居支部 (37)

苅田支部 (30)、西長居支部 (10)

沢之町支部 (23)、遠里小野支部 (16)

住吉支部 (2)、大新支部 (5)、庭井支部 (24)

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 平成 7 年 12 月建築

平成 7 年 12 月 12 日に旧店舗を取り壊し新築オープン。

平成 21 年 12 月にコイン精米機を設置しました。



<平成 7 年新築前の旧店舗>

住之江支店

所在地／大阪市住之江区南加賀屋 4-8-19
電話番号／06-6681-4174

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 28 名・准組合員 1,288 名

【管轄支部】3 支部（構成員数 90 名）

北島支部 (26)、安住支部 (22)、
南加賀屋支部 (42)

- 旧 大阪市農業協同組合より合併
- 平成9年3月建築

平成9年3月10日に旧店舗を取り壊し新築オープン。



<平成9年新築前の旧店舗>

茨田支店

所在地／大阪市鶴見区浜 3-5-29
電話番号／06-6912-1000

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 192 名・准組合員 2,677 名

【管轄支部】18 支部（構成員数 450 名）

浜 1 班・2 班支部 (119)、焼野支部 (35)
大宮支部 (28)、共栄支部 (31)、安田支部 (46)、
中茶屋 1 班支部 (7)、中茶屋 2 班支部 (13)、
徳庵支部 (0)、諸口支部 (39)、横堤支部 (39)、
鶴見支部 (32)、今津支部 (21)、左専道支部 (23)、
天王田支部 (4)、鴨野支部 (4)、旭支部 (8)、
永田支部 (1)

- 旧 大阪市茨田農業協同組合より合併
- 平成12年12月建築

平成12年12月11日に旧店舗を取り壊し新築オープン。

平成20年9月にコイン精米機を設置。

令和3年10月25日に城東支店と統合しました。



<平成12年新築前の旧店舗>

長吉支店

所在地／大阪市平野区长吉長原 2-1-12
電話番号／06-6709-2255

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 152 名・准組合員 2,815 名

【管轄支部】8 支部（構成員数 215 名）

東出戸支部 (46)、西出戸支部 (31)、
長原東支部 (9)、長原西支部 (29)、
長原南支部 (19)、長原北支部 (4)
川辺支部 (38)、六反支部 (39)

- 旧 大阪市長吉農業協同組合より合併
- 平成26年7月建築

平成21年4月にコイン精米機を設置。

平成26年7月28日に六反支店と統合。これを機に、旧店舗を取り壊し新築オープンしました。



<六反倉庫>



<平成26年新築前の旧店舗>

東淀川支店

所在地／大阪市東淀川区瑞光 1-8-15
電話番号／06-6328-4567

<令和4年3月末現在>

【組合員数】正組合員 75 名・准組合員 1,961 名

【管轄支部】12 支部（構成員数 488 名）

江口・井高野支部 (60)、大桐支部 (40)
三宝寺・大道支部 (40)、豊里・大道南支部 (46)
豊里西支部 (56)、新庄支部 (62)
下新庄支部 (30)、淡路支部 (55)
北中島支部 (38)、三国十八条支部 (41)
美津島支部 (16)、西淀川支部 (4)

- 旧 東淀川農業協同組合より合併
- 昭和39年12月建築

平成4年5月6日、JA 大阪市発足後初となるリニューアルオープン。

平成18年3月24日に西淀連絡所を統合。

令和3年3月15日にリニューアルオープンしました。



<令和3年リニューアル前の旧店舗>

組合員相談センター

所在地／大阪市平野区加美鞍作 2-2-1
電話番号／06-6791-3901

●平成 26 年 1 月 6 日オープン

本店と併設移転した加美南支店（平野区加美東）の建物を転用してオープン。

令和 1 年 5 月に本店（直売所「おいで～菜」本店跡地）へ移転しました。

【取扱い相談内容】

- ◎組合員の土地有効活用相談・仲介
土地売買、新築・リフォーム
賃貸物件の建築や商業施設誘致など
生産緑地についての相談
- ◎組合員の各種相談
相続や遺産分割についての相談
税務相談（税理士紹介）
法律相談（弁護士紹介）



<令和 1 年移転前の旧センター>

営農促進センター

所在地／大阪市平野区瓜破東 6-3-64
電話番号／06-6700-6111

- 平成 1 年 7 月オープン
- 敷地面積 7,766 平米

減少する市内農業の維持のため、JA 大阪市の「農の発信基地」として業務を行っています。

令和 3 年 3 月 30 日には、センター内の農地が大阪市初の防災協力農地として登録。防災協力農地とは、災害発生時、近隣住民の避難場所・復旧用資材の置き場・仮設住宅の建設地などに活用される農地のことです。

【主な施設】

- ・発芽室
- ・育苗ハウス 3 棟
- ・稲作ほ場
- ・野菜試験ほ場
- ・籾殻堆肥舎

【主な業務内容】

- 利用事業
水稲機械苗の育成
トラクター作業（耕耘・畝たて・代掻き）
田植え作業、水稲収穫作業
野菜苗・花き苗の育成
- 苗の販売（農家組合員・みどり農園利用者）
- 土壌診断
- 買取出荷米農産物検査（米等級検査）
- 農作物の販売『朝市』
- 農業体験、職業体験の受け入れ

《米定温倉庫》

平成 30 年 4 月 10 日に、敷地内に「米定温倉庫」を新設（敷地面積 223.74 平米）。農家組合員から買い取った玄米を定温保存するための施設で、精米機・色彩選別機などが揃った精米ラインと定温貯蔵庫があります。これにより、高品質な玄米や精米した白米を直売所「おいで～菜」で販売できるようになりました。



JA 大阪市直売所「おいで～菜」平野店／移動販売

所在地／大阪市平野区平野西 5-2-2
電話番号／06-6702-7739

- 平成 29 年 6 月 15 日オープン
- 売り場面積 63.20 平米

大阪市内農業の PR と安心で安全な野菜類の提供を目的とした常設店舗です。平成 26 年 6 月には直売所『おいで～菜』本店がオープンしており、2 号店としてスタートしました。

大阪市内産を中心に、各地の旬の野菜を品揃え。米の量り売りや店内精米を行う他、加工品や花苗も取り揃えています。

直売所へ通えない遠方のお客様にも大阪市内産の農産物をお届けするため、平成 31 年 3 月 29 日に本店を閉店し、各支店を月 1 回巡回する移動販売へ業態を変更しました。



移動販売



<精米ライン>

<定温貯蔵庫内>

思い出写真館

photographs with full of memories

統廃合などで役目を終えた、懐かしの事業所をご紹介します



平成 26 年 7 月に長吉支店と統合した【六反支店】



平成 16 年 5 月に東住吉支店と統合した【矢田支店】



移動販売に業態変更し、平成 31 年 3 月に閉店した直売所【おいで〜菜本店】
令和 1 年 5 月からは【組合員相談センター】として使用。



平成 18 年 3 月に東淀川支店と統合した【西淀連絡所】



平成 25 年 11 月に本店併設で新築移転される前の【加美南支店】
令和 1 年 5 月までは【組合員相談センター】として使用。



令和 2 年 5 月に
巽支店と統合した【巽南支店】



令和 3 年 10 月に
茨田支店と統合した【城東支店】

Appendices 資料編

- 歴代役員名簿
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 主な出来事年表

歴代役員名簿

役員

代表理事組合長

(旧：組合長理事)

天野 朝一	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
代表理事組合長	
吉本 良治	平成 5 年 5 月～8 年 5 月
天野 朝一	平成 8 年 5 月～23 年 6 月
池田 隆	平成 23 年 6 月～29 年 6 月
菱井 由一	平成 29 年 6 月～現在

旧：代表理事副組合長

(旧：副組合長理事)

吉本 良治	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
辻江 潔	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
板谷 久雄	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
上田 裕照	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
永田 治一郎	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
(旧：代表理事副組合長)	
永田 治一郎	平成 11 年 6 月～17 年 6 月

代表理事専務

(旧：専務理事)

山野 盛二	平成 5 年 5 月～8 年 5 月
中西 豊次	平成 14 年 6 月～17 年 6 月
代表理事専務	
中西 豊次	平成 17 年 6 月～20 年 10 月
山内 幸夫	平成 21 年 6 月～26 年 6 月
福中 利夫	平成 26 年 6 月～現在

常務理事

山内 幸夫	平成 14 年 6 月～21 年 6 月
上田 保	平成 20 年 6 月～29 年 6 月
福中 利夫	平成 21 年 6 月～26 年 6 月
合羽 雅彦	平成 26 年 6 月～現在
中川 誠	平成 29 年 6 月～現在
田中 聡	平成 29 年 6 月～現在

旧：筆頭理事

上田 裕照	平成 14 年 6 月～23 年 6 月
-------	----------------------

理事

林 清司	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
龍味 菊三	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
成山 新一	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
井上 秀次	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
中西 豊次郎	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
田中 彦一	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
己本 重雄	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
大野 和一	平成 4 年 1 月～5 年 5 月
田中 清隆	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
荻田 稔	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
東堤 才一郎	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
木下 増次郎	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
吉内 昭一	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
南野 利秋	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
氏本 利雄	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
桑田 延治	平成 4 年 1 月～8 年 5 月
道庭 富太郎	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
辻本 昇	平成 4 年 1 月～11 年 6 月

山田 正雄	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
種谷 治男	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
山本 英夫	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
田中 一吉	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
大谷 義治	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
梶井 光雄	平成 4 年 1 月～11 年 6 月
西野 光蔵	平成 4 年 1 月～14 年 6 月
多留谷 静夫	平成 4 年 1 月～14 年 6 月
榊井 清次	平成 4 年 1 月～17 年 6 月
永田 光文	平成 4 年 1 月～17 年 6 月
杉本 秀樹	平成 4 年 1 月～20 年 6 月
田中 昭治	平成 4 年 1 月～23 年 6 月
天野 朝一	平成 5 年 5 月～8 年 5 月
土井 健二	平成 5 年 5 月～8 年 5 月
林 三千雄	平成 5 年 5 月～11 年 6 月
奥村 清	平成 5 年 5 月～11 年 6 月
矢倉 信男	平成 5 年 5 月～11 年 6 月
馬馬脇 岡	平成 5 年 5 月～11 年 6 月
藤本 重治	平成 5 年 5 月～14 年 6 月
青木 茂	平成 5 年 5 月～14 年 6 月
茨木 治	平成 5 年 5 月～14 年 6 月
板谷 久雄	平成 5 年 5 月～17 年 6 月
橋本 淳一	平成 5 年 5 月～17 年 6 月
南畑 俊雄	平成 8 年 5 月～11 年 6 月
荻田 千代蔵	平成 8 年 5 月～11 年 6 月
木下 貞次	平成 8 年 5 月～11 年 6 月
山田 裕三	平成 8 年 5 月～11 年 6 月
川北 保	平成 8 年 5 月～11 年 6 月
松島 久和	平成 8 年 5 月～14 年 6 月
織谷 幸次	平成 8 年 5 月～14 年 6 月
青木 寛治	平成 8 年 5 月～17 年 6 月
谷川 友雄	平成 8 年 5 月～23 年 6 月

歴代役員名簿

理事

清水 弘	平成8年5月～23年6月
岡田 亘義	平成11年6月～14年6月
辻江 昭次郎	平成11年6月～14年6月
上田 裕照	平成11年6月～14年6月
谷 保男	平成11年6月～14年6月
竹村 惇一	平成11年6月～14年6月
美濃 房次	平成11年6月～14年6月
林 専三	平成11年6月～17年6月
井藤 佐吉	平成11年6月～17年6月
井浪 正次	平成11年6月～20年6月
倉澤 市郎	平成11年6月～20年6月
西村 久夫	平成11年6月～23年6月
池田 隆	平成11年6月～23年6月
坊農 勇	平成11年6月～26年6月
和田 英男	平成14年6月～17年6月
河内 義三	平成14年6月～17年6月
松本 吉喬	平成14年6月～17年6月
藪野 哲夫	平成14年6月～17年6月
松野 悟	平成14年6月～17年6月
城下 明	平成14年6月～17年6月
氏本 努	平成14年6月～17年6月
西田 和臣	平成14年6月～17年6月
藤井 清春	平成14年6月～23年6月
内山 宗之	平成14年6月～26年6月
桑田 政彦	平成14年6月～26年6月
柳本 初夫	平成17年6月～20年6月
村上 壽男	平成17年6月～20年6月
笹野 治二	平成17年6月～20年6月
田中 勇	平成17年6月～20年6月
東野 弘	平成17年6月～20年6月
宮浦 但	平成17年6月～20年6月
山岡 良一	平成17年6月～23年6月
中西 明	平成17年6月～23年6月
北野 吉治	平成17年6月～26年6月
種田 茂	平成17年6月～26年6月
森本 浅一	平成17年6月～20年6月 平成26年6月～29年6月
石田 祐也	平成17年6月～23年6月 平成26年6月～29年6月
田中 康弘	平成17年6月～26年6月 平成29年6月～令和2年6月
西川 光明	平成17年6月～現在
西田 伸彦	平成20年6月～23年6月
奥村 清廣	平成20年6月～23年6月
吉田 克彦	平成20年6月～23年6月
田中 輝雄	平成20年6月～23年6月

北東 真	平成20年6月～23年6月
樋口 良行	平成20年6月～23年6月
北野 勇	平成20年6月～23年6月
道庭 保	平成20年6月～26年6月
松村 昇二	平成20年6月～26年6月
高田 武	平成20年6月～23年6月 平成26年6月～29年6月
龍味 敏一	平成20年6月～23年6月 平成29年6月～令和2年6月
山本 巖	平成23年6月～26年6月
松井 宗三郎	平成23年6月～26年6月
松田 保	平成23年6月～26年6月
松野 正	平成23年6月～26年6月
上田 武彦	平成23年6月～26年6月
辰己 政博	平成23年6月～26年6月
武中 秀一	平成23年6月～26年6月
木下 喜代秀	平成23年6月～26年6月
牧田 滋	平成23年6月～26年6月
瀧口 房太郎	平成23年6月～26年6月
羽田 清	平成23年6月～26年6月
橋本 平八郎	平成23年6月～29年6月
松下 覺	平成23年6月～29年6月
上田 信行	平成23年6月～29年6月
田中 順一	平成23年6月～29年6月
菱井 由一	平成23年6月～29年6月
棕本 順一	平成23年6月～令和2年6月
藤井 啓子	平成24年6月～29年6月
樋口 善子	平成24年6月～29年6月
松田 保之	平成26年6月～29年6月
田中 雅彦	平成26年6月～29年6月
嶋田 長祐	平成26年6月～29年6月
中野 紀久雄	平成26年6月～29年6月
家根本 孝裕	平成26年6月～令和2年6月
後藤 雄史	平成26年6月～令和1年11月
南野 博	平成26年6月～令和2年6月
灰野 悦次	平成29年6月～令和2年6月
吉田 敬一	平成29年6月～令和2年6月
寺本 一義	平成29年6月～令和2年6月
瀧田 義治	平成29年6月～令和2年6月
池田 勇	平成29年6月～令和2年6月
日下 康夫	平成29年6月～令和2年6月
藪田 雅万	平成29年6月～令和2年6月
綿世 良一	平成17年6月～20年6月 令和2年6月～現在
井浪 一晃	平成23年6月～現在
榎井 勇	平成23年6月～現在
山口 雄三	平成26年6月～現在
井田 一裕	平成26年6月～現在

磯田 一昭	平成29年6月～現在
岡田 尚士	平成29年6月～現在
平岡 美枝子	平成29年6月～現在
坂野 幸作	平成29年6月～現在
村井 富雄	平成29年6月～現在
林 登志子	平成29年6月～現在
山野 義秋	令和2年6月～現在
山野 吉英	令和2年6月～現在
芝本 等	令和2年6月～現在
樹 富加津	令和2年6月～現在
青木 清明	令和2年6月～現在
竹野 嗣夫	令和2年6月～現在
長谷 裕司	令和2年6月～現在
辻本 一	令和2年6月～現在
南野 利博	令和2年6月～現在
林 育彦	令和2年6月～現在
藪野 雄史	令和2年6月～現在
木下 泰徳	令和2年6月～現在

常勤監事

和田 征夫	平成14年6月～17年6月
瀧田 昇三	平成17年6月～23年6月
田中 雅彦	平成23年6月～26年6月
山内 幸夫	平成26年6月～29年6月
文野 和彦	平成29年6月～現在

代表監事

辻江 昭次郎	平成4年1月～11年6月
山本 英夫	平成11年6月～23年6月
綿世 良一	平成23年6月～29年6月
山内 幸夫	平成29年6月～現在

監事

井浪 正次	平成4年1月～11年6月
西野 安一	平成4年1月～11年6月
太口 節男	平成4年1月～5年5月
道端 寿夫	平成4年1月～11年6月
細谷 龍太郎	平成4年1月～5年5月
吉本 忠雄	平成5年5月～8年5月
井上 秀次	平成5年5月～11年6月
松谷 武司	平成8年5月～14年6月
坂下 良男	平成11年6月～14年6月
山田 裕三	平成11年6月～14年6月

瓜本 肇	平成11年6月～20年6月
松島 久和	平成14年6月～17年6月
森田 博	平成14年6月～20年6月
中辻 幸男	平成14年6月～17年6月 平成20年6月～23年6月
松井 宗三郎	平成17年6月～20年6月
武中 秀一	平成17年6月～23年6月
柳本 初夫	平成20年6月～23年6月
橋本 平八郎	平成20年6月～23年6月
井田 一裕	平成23年6月～26年6月
北口 幸三	平成23年6月～26年6月
林 保	平成23年6月～29年6月
保井 壽夫	平成23年6月～29年6月
牧田 滋	平成26年6月～29年6月
高田 武	平成29年6月～令和2年6月
青木 清明	平成29年6月～令和2年6月
石田 祐也	平成29年6月～令和2年6月
瀧田 義治	令和2年6月～現在
東野 富士雄	令和2年6月～現在
灰野 悦次	令和2年6月～現在

員外監事

篠岡 昭吾	平成11年6月～20年6月
森 輝雄	平成20年6月～23年6月
上野 清之	平成23年6月～29年6月
北村 昌万	平成29年6月～令和2年6月
辰巳 八栄子	令和2年6月～現在

※年度4月始まり

組合員組織会長

支部長代表協議会

辻江 昭次郎	平成17～19年度
清水 弘	平成20～25年度
内山 宗之	平成26～令和3年度
西川 光明	令和4年度～現在

技術部会

西野 彰	平成4～11年度
榎井 清次	平成12～13年度
橋本 重雄	平成14～17年度
種田 茂	平成18～21年度
桑田 政彦	平成22～23年度
谷 保男	平成24～27年度
井浪 一晃	平成28～令和3年度
石田 祐也	令和4年度～現在

女性会

増井 富美枝	平成4～5年度
中村 秀子	平成6～11年度
倉澤 武子	平成12～21年度
樋口 善子	平成22～26年度
西川 昇子	平成27年度～現在

年金友の会

北口 清太郎	平成4～17年度
上田 武彦	平成18～23年度
藪野 弘	平成24～29年度
小山 孝	平成30年度～現在

直売所・朝市会

保井 壽夫	平成26～27年度
棕本 順一	平成28～令和1年度
瀧田 義治	令和2年度～現在

大阪市なにわの伝統野菜
生産者協議会

松本 隆	平成24～25年度
細田 仙次	平成26～29年度
松本 皓市	平成30～令和1年度
藤本 泰一郎	令和2～3年度
寺本 一義	令和4年度～現在

大阪市花き生産組合

樹 富加津	平成16年7月～18年7月
金田 博充	平成18年7月～20年7月
横井 俊範	平成20年7月～22年7月
西村 友宏	平成22年7月～24年7月
辻川 穂高	平成24年7月～26年7月
金田 幸敏	平成26年7月～28年7月
樹 富加津	平成28年7月～30年7月
金田 博充	平成30年7月～令和2年7月
梶井 俊範	令和2年7月～4年7月
樹 富加津	令和4年7月～現在

歴代役職員名簿

※年度4月始まり

部門役職者

企画管理部《部長》

(旧：総務部)

山野 盛二	平成4年度
合羽 勇	平成5～7年度
川岸 輝文	平成8～9年度
中西 豊次	平成10～11年度
山内 幸夫	平成12～14年度
佐藤 保清	平成15～16年度
上田 保	平成17～18年度

企画管理部

上田 保	平成19年度
合羽 雅彦	平成20～25年度
田中 聡	平成26～28年度
竹村 敏彦	平成29年度～現在

総務課《課長》

(旧：総務部／総務課)

山内 幸夫	平成4～7年度
奥村 恒夫	平成8～9年度
山下 時男	平成10～12年度
佐藤 保清	平成13～14年度
磯田 好英	平成15～18年度

(旧：総務人事課)

合羽 雅彦	平成19年度
澤井 秀春	平成20年度
米虫 宏幸	平成21～23年度
房本 均	平成24～25年度
北野 善史	平成26年度

総務課

三浦 昌明	平成27～28年度
深田 毅	平成29～令和3年度
内本 健博	令和4年度～現在

人事課《課長》

(旧：総務部／教育課)

南野 勝	平成7年度
奥村 恒夫	平成8～9年度 兼任
山下 時男	平成10年度 兼任

(旧：総務部／人事課)

山下 時男	平成11年度 兼任
上田 保	平成12年度
新開 昌幸	平成13～18年度

人事課

吉本 賢一	平成27年度
-------	--------

藤井 綾子	平成28～30年度
橋本 佳世子	令和1年度～現在

経理課《課長》

(旧：総務部 経理課)

丸山 邦夫	平成6～10年度
保井 明	平成11～13年度
房本 均	平成14～18年度

経理課

北野 善史	平成21～25年度
柏原 正治	平成26～令和2年度
松尾 純一	令和3年度～現在

組織活性対策課《課長》

荻田 昌司	平成27～28年度
松田 好次	平成29年度～令和2年9月
竹村 敏彦	令和2年10月～3年3月 兼任
益田 健次	令和3年度～現在

旧：企画課《課長》

(旧：総務部 企画管理課)

茨木 時一	平成4年度
浅井 武彦	平成5年度

(旧：企画課)

房本 均	平成19～23年度
------	-----------

旧：資金運用課《課長》

新開 昌幸	平成27～29年12月 兼任
竹村 敏彦	平成30年1月～3月 兼任

リスク管理部《部長》

米虫 宏幸	令和1年度
村橋 俊彦	令和2～令和3年度
深田 毅	令和4年度～現在

コンプライアンス課《課長》

(旧：企画管理部／コンプライアンス課)

新開 昌幸	平成26年10月～27年3月
阪谷 浩二	平成27年度
平岡 宗彦	平成28年度
香川 繁久	平成29～30年度

コンプライアンス課

香川 繁久	令和1～2年度
村橋 俊彦	令和3年度 兼任
山野 友也	令和4年度～現在

審査課《課長》

(旧：財務部／審査課)

芝本 八十美	平成17～18年度
--------	-----------

(旧：金融部／審査課)

芝本 八十美	平成19年度
保井 明	平成20年度
辻野 雅巳	平成21年度
岡本 良樹	平成22年度
藤永 久仁子	平成23～26年度
新吉 郁子	平成27～30年度

審査課

矢島 英明	令和1年度～現在
-------	----------

営農生活部《部長》

(旧：営農経済部)

川岸 輝文	平成4年度
茨木 時一	平成5年度
岸下 弘	平成6～9年度
荻田 耕司	平成10～13年度
小澤 廣二	平成14～18年度

営農生活部

田中 雅彦	平成19～22年度
文野 和彦	平成23～28年度
三浦 昌明	平成29～30年度
北野 善史	令和1年度～現在

営農生活課《課長》

(旧：営農経済部／経済課)

荻田 耕司	平成4～5年度
玉沢 正己	平成6～8年度
乾 馨	平成9～10年度

営農経済課

乾 馨	平成11～14年度
松野 長次	平成18年度

営農生活課

荻田 昌司	平成19～20年度
後藤 勝彦	平成21～22年度
文野 和彦	平成23年度 兼任
田中 恵美子	平成24～28年度9月
橋本 佳世子	平成28年10月～30年度
藤井 綾子	令和1年度～現在

営農販売課《課長》

河原 真一	令和1年度
天野 尊博	令和2～3年度
森田 晃好	令和4年度～現在

資産管理相談課《課長》

(旧：資産管理課)

岸下 弘	平成6～9年度 兼任
荻田 耕司	平成10～13年度 兼任
小澤 廣二	平成14～17年度 兼任
松野 長次	平成18年度 兼任

資産管理相談課

田中 雅彦	平成19～21年度 兼任
芝本 八十美	平成22～23年度
奥田 俊一	平成24年度～25年10月
文野 和彦	平成25年11～12月 兼任
阪谷 浩二	平成26年1月～27年3月
下農 敦弘	平成27～令和1年度
北野 善史	令和2年4～5月 兼任
細田 正樹	令和2年5月～現在

営農促進指導課《課長》

(旧：営農指導課)

中田 市男	平成4～6年度9月
山田 勇男	平成6年10月～8年度
東尾 勝美	平成9年度
山本 勝次	平成10年度
後藤 勝彦	平成23～29年度12月
河原 真一	平成30年1月～30年度

営農促進指導課(営農促進センター)

河原 真一 令和2年度～現在

旧：営農促進センター《センター長》

(旧：営農センター)

増井 久雄	平成4～5年2月
保井 壽夫	平成5年3月～11年度
玉尾 吉寛	平成12～13年度
後藤 勝彦	平成14～18年度

(旧：営農促進センター)

後藤 勝彦	平成19～20年度
荻田 昌司	平成21～26年度
香川 繁久	平成27～28年度
荻田 昌司	平成29年4～12月
三浦 昌明	平成30年1～3月 兼任
益田 健次	平成30～令和1年度

※令和2年度～営農促進指導課に統合

旧：旅行センター《センター長》

松本 義雄	平成8～10年度
-------	----------

金融部《部長》

(旧：財務部)

棟田 幸男	平成4～6年度
中西 豊次	平成7～9年度
山内 幸夫	平成10～11年度
田中 雅彦	平成12～15年度
福中 利夫	平成16～18年度

金融部

合羽 勇	平成4年度
川岸 輝文	平成5～7年度
山内 幸夫	平成8～9年度
東尾 勝美	平成10年度
丸山 邦夫	平成11年度～12年4月
上田 保	平成12年5月～16年度
佐藤 保清	平成17～18年度
福中 利夫	平成19～20年度
田中 聡	平成21～25年度
竹村 敏彦	平成26年度
北野 善史	平成27～28年度
安田 悦規	平成29～令和3年度
藤井 俊行	令和4年度～現在

資金管理課《課長》

(旧：財務部／資金課)

中西 豊次	平成4～6年度
上田 保	平成7～9年度
辻野 雅巳	平成10～16年度
保井 明	平成17～18年度

(旧：企画管理部／資金管理課)

新開 昌幸	平成19年度～26年9月
房本 均	平成26年10月～27年3月
杉本 二三男	平成27年度

新開 昌幸	平成28年度～29年12月 兼任
竹村 敏彦	平成30年1月～30年3月 兼任
杉本 二三男	平成30年度

資金管理課

杉本 二三男	令和1～3年度
天野 尊博	令和4年度～現在

融資管理課《課長》

(旧：財務部／融資課)

稲谷 伴征	平成4年度～5年10月
-------	-------------

(旧：財務部 融資一課)

浅井 武彦	平成5年11月～8年度
佐藤 保清	平成9～12年度
芝本 八十美	平成13～16年度

(旧：財務部／融資二課)

稲谷 伴征	平成5年11月～16年度
-------	--------------

(旧：財務部／融資課)

山本 吉章	平成17～18年度
-------	-----------

融資管理課

花崎 宣彦	平成19～22年度
岡本 良樹	平成23～25年度
深田 毅	平成26年度
花崎 宣彦	平成27～28年度
天野 信子	平成29～30年度
門野 次郎	令和1～3年度
平木場 博一	令和4年度～現在

貯金管理課《課長》

(旧：貯金課)

玉尾 吉寛	平成4～5年度
南野 勝	平成6年度 兼任
瀧田 昇三	平成7～8年度
玉沢 正己	平成9～11年度
田中 聡	平成12～16年度
米虫 宏幸	平成17～18年度

(旧：貯金営業課)

米虫 宏幸	平成19～20年度
保井 明	平成21～23年度
深田 毅	平成24～25年度

貯金管理課

天野 信子	平成26～28年度
横溝 綾子	平成29～30年度
田中 真奈美	令和1～3年度
本田 祥司	令和4年度～現在

旧：推進課《課長》

南野 勝	平成4～6年度
------	---------

旧：CS営業サポート課《課長》

田中 真奈美	平成29～30年度
--------	-----------

共済部《部長》

中川 誠	平成19～25年度
米虫 宏幸	平成26～30年度
山本 吉章	令和1年度～現在

共済課《課長》

(旧：金融部／共済課)

石崎 彰	平成4～8年度
浅井 武彦	平成9～12年度

歴代役職員名簿

※年度4月始まり

中川 誠	平成13～15年度
花崎 宣彦	平成16年度
松野 長次	平成17年度
永井 治良	平成18年度
共済課	
山本 吉章	平成19～20年度
三浦 昌明	平成21～22年度
花崎 宣彦	平成23～26年度
山野 友也	平成27～28年度
大谷 幸俊	平成29年4～11月
内本 健博	平成30年～令和3年度
門野 次郎	令和4年度～現在

損害査定相談課《課長》

中川 誠	平成19～21年度 兼任
高尾 功	平成22～27年度10月
米虫 宏幸	平成27年11月～28年3月兼任
村橋 俊彦	平成28年度
大谷 幸俊	平成29年度4～11月 兼任
内本 健博	平成30年度 兼任
西埜 由洋	令和1年4月～10月
山野 巧	令和1年10月～2年度
香川 繁久	令和3年度～現在

監査部《部長》

(旧：監査室 室長)

岸下 弘	平成4～5年度
茨木 時一	平成6～7年度
河原 利明	平成8～9年度
保井 明	平成10年度
東尾 勝美	平成11～12年度
瀧田 昇三	平成13～16年度
辻野 雅巳	平成17～20年度
佐藤 保清	平成21～25年度
監査部	
中川 誠	平成26～28年度
花崎 宣彦	平成29～30年度
新吉 郁子	令和1年度～現在

監査課《課長》

新吉 郁子	平成26年度
藤永 久仁子	平成27年度
松尾 純一	平成28～令和2年度
柏原 正治	令和3年度～現在

支店長

巽支店

山田 勇男	平成4～5年度
瀧田 昇三	平成6年度
山下 時男	平成7～9年度
小澤 廣二	平成10～13年度
合羽 雅彦	平成14～17年度
益田 義昇	平成18～22年度
三浦 昌明	平成23～26年度
深田 毅	平成27～28年度
柴田 剛	平成29年度
細田 正樹	平成30年度
森田 晃好	令和1年度～
※令和2年5月25日 巽南支店と統合	
森田 晃好	～令和3年度
田中 真奈美	令和4年度～現在

加美支店

大西 義信	平成4～5年度
乾 馨	平成6～8年度
磯田 好英	平成9～11年度
田中 康弘	平成12～15年度
中川 誠	平成16～18年度
西埜 由洋	平成19年度
大谷 幸俊	平成20～24年度
山本 吉章	平成25～27年度
益田 健次	平成28～29年度
平木場 博一	平成30～令和1年度
下農 敦弘	令和2年度～
※令和4年2月28日 加美南支店と統合	
下農 敦弘	～現在

平野支店

浅井 武彦	平成4年度～5年2月
山下 時男	平成5年3月～6年度
奥田 俊一	平成7～11年度
松野 長次	平成12～14年度
乾 馨	平成15年度
保井 明	平成16年度
田中 聡	平成17～18年度
竹村 敏彦	平成19～21年度
村橋 俊彦	平成22～25年度12月

藤井 俊行	平成26年1月～28年度
天野 尊博	平成29～令1年度
平木場 博一	令和2～3年度
杉本 二三男	令和4年度～現在

瓜破支店

中村 進一	平成4～7年度
田中 康弘	平成8～11年度
磯田 好英	平成12～14年度
松野 長次	平成15～16年度
澤井 秀春	平成17～19年度
文野 和彦	平成20～22年度
益田 義昇	平成23年度～25年12月
村橋 俊彦	平成26年1月～27年度
杉本 二三男	平成28～29年度
柴田 剛	平成30年度～現在

東住吉支店

河原 利明	平成4～6年度
芝本 八十美	平成7～8年度
津田 昭治	平成9～11年度
玉沢 正己	平成12～13年度
保井 明	平成14～15年度
下農 守	平成16年度
※平成16年5月10日	
矢田支店・東住吉支店が統合し移転	
下農 守	～平成17年度
合羽 雅彦	平成18年度
保井 明	平成19年度
西埜 由洋	平成20～24年度
大谷 幸俊	平成25～28年度
村橋 俊彦	平成29～30年度
中村 弘樹	令和1～2年度
松村 和彦	令和3年度～現在

住吉支店

玉沢 正己	平成4～5年度
奥野 富康	平成6～7年度
田中 雅彦	平成8～11年度
文野 和彦	平成12～13年度
岡本 良樹	平成14～18年度
奥田 俊一	平成19～23年度
米虫 宏幸	平成24～25年度

天野 尊博	平成26～28年度
森田 晃好	平成29～30年度
山本 良治	令和1～2年度
天野 信子	令和3年度～現在

住之江支店

中村 光雄	平成4年度
田中 雅彦	平成5～7年度
奥野 俊彦	平成8年4月～12月
松野 長次	平成9年1月～11年度
中村 進一	平成12～13年度
西埜 由洋	平成14～18年度
山本 務	平成19～20年度
天野 尊博	平成21～25年度
益田 健次	平成26年度
森田 晃好	平成27～28年度
山本 良治	平成29～30年度
天野 信子	令和1～2年度
山野 巧	令和3年度～現在

長吉支店

東尾 勝美	平成4～8年度
瀧田 昇三	平成9～12年度
山下 時男	平成13年度
荻田 耕司	平成14～15年度
田中 雅彦	平成16～18年度
田中 聡	平成19～20年度
澤井 秀春	平成21年度～
※平成26年7月25日 六反支店と統合	
澤井 秀春	～平成26年度
竹村 敏彦	平成27～28年度
北野 善史	平成29～30年度
藤井 俊行	令和1～3年度
安田 悦規	令和4年度～現在

茨田支店

大塚 栄三	平成4～5年度
荻田 耕司	平成6～9年度
玉尾 吉寛	平成10～11年度
奥田 俊一	平成12～16年度
三浦 昌明	平成17～20年度
山本 吉章	平成21～24年度
西埜 由洋	平成25～27年度

山本 吉章	平成28～30年度
廣中 誠	令和1年度～
※令和3年10月25日 城東支店と統合	
廣中 誠	～現在

東淀川支店

奥村 恒夫	平成4～7年度
中村 進一	平成8～11年度
澤井 秀春	平成12～16年度
奥田 俊一	平成17～18年度
岡本 良樹	平成19～21年度
竹村 敏彦	平成22～25年度
安田 悦規	平成26～28年度
藤井 俊行	平成29～30年度
村橋 俊彦	令和1年度
中川 晃男	令和2年度～現在

旧支店 支店長

旧：城東支店

乾 馨	平成4～5年度
保井 明	平成6～9年度
下農 守	平成10～12年度
大谷 幸俊	平成13～17年度
山本 務	平成18年度
阪谷 浩二	平成19～20年度
松田 好次	平成21～22年度
平岡 宗彦	平成23年度～25年5月
吉本 賢一	平成25年6月～26年度
平木場 博一	平成27～29年度
松村 和彦	平成30～令和2年度
中村 弘樹	令和3年4～10月
※令和3年10月25日 茨田支店と統合	

旧：巽南支店

瀧田 昇三	平成4～5年度
小澤 廣二	平成6～9年度
合羽 雅彦	平成10～13年度
益田 義昇	平成14～17年度

文野 和彦	平成18～19年度
深田 毅	平成20～23年度
中川 晃男	平成24～26年度8月
松田 好次	平成26年9月～27年度
増田 敦	平成28年度
西埜 由洋	平成29～30年度
細田 正樹	令和1年度～2年5月
※令和2年5月25日 巽支店と統合	

旧：加美南支店

森 勲	平成4～5年度
津田 昭治	平成6～8年度
岡本 良樹	平成9～13年度
文野 和彦	平成14～17年度
大谷 幸俊	平成18年度
北野 善史	平成19～20年度
山本 務	平成21～22年度
松田 好次	平成23年度～
※平成25年11月25日 新築移転	
松田 好次	～平成26年度5月
廣中 誠	平成26年6月～30年度
横溝 綾子	令和1年度～4年2月
※令和4年2月28日 加美支店と統合	

旧：矢田支店

山下 時男	平成4年度～5年2月
磯田 好英	平成5年3月～8年度
芝本 八十美	平成9～12年度
下農 守	平成13～16年5月
※平成16年5月10日 東住吉支店と統合	

旧：六反支店

丸山 邦夫	平成4～5年度
玉尾 吉寛	平成6～9年度
上田 保	平成10～11年度
福中 利夫	平成12～15年度
竹村 敏彦	平成16～18年度
大谷 幸俊	平成19年度
芝本 八十美	平成20～21年度
安田 悦規	平成22～25年度
平木場 博一	平成26年4～7月
※平成26年7月25日 長吉支店と統合	

(単位：千円)

項目	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
信用事業資産	186,449,292	192,616,317	190,096,233	187,429,438	189,039,824	190,854,688
現金	328,009	305,187	464,474	328,213	330,113	415,002
預金	95,151,685	89,285,847	88,212,320	99,329,077	108,151,687	109,380,140
金銭信託・有価証券	42,094,763	42,970,912	38,033,423	23,661,008	16,725,517	13,626,726
貸出金	44,801,698	58,070,308	61,421,425	62,633,658	62,626,849	66,346,918
その他信用事業資産	4,073,137	1,984,063	1,964,591	1,477,482	1,205,658	1,085,902
貸倒引当金(信用)	—	—	—	—	—	—
共済事業資産	24,638	7,281	9,472	10,765	14,822	29,490
共済貸付金	20,889	3,397	4,583	10,765	14,368	27,822
その他共済事業資産	3,749	3,884	4,889	—	454	1,668
貸倒引当金(共済)	—	—	—	—	—	—
経済事業資産	65,364	84,132	76,709	64,872	66,549	61,086
経済未収金	21,564	48,950	40,999	34,737	39,239	30,035
棚卸資産	43,800	35,182	35,710	30,135	27,310	31,051
その他経済資産	—	—	—	—	—	—
貸倒引当金(経済)	—	—	—	—	—	—
雑資産	505,658	535,020	555,380	625,640	713,759	679,956
固定資産	2,390,027	2,342,302	2,399,078	2,935,218	2,961,777	2,943,524
有形固定資産	2,237,043	2,189,259	2,246,188	2,782,481	2,809,190	2,791,090
無形固定資産	152,984	153,043	152,891	152,738	152,586	152,434
外部出資	1,453,375	1,617,004	1,790,130	1,911,052	1,964,050	2,083,112
繰延税金資産	—	—	—	—	—	—
繰延資産	7,003	5,045	1,935	4,327	3,569	3,171
(資産合計)	190,895,357	197,207,101	194,928,937	192,981,312	194,764,350	196,655,027
信用事業負債	181,698,396	187,556,580	184,588,445	181,158,125	184,846,122	186,761,933
貯金	170,733,243	178,278,493	180,704,489	178,135,349	180,130,579	183,223,193
借入金	277,320	487,295	277,320	277,320	249,588	221,856
その他信用事業負債	10,687,833	8,790,792	3,606,636	2,745,456	4,465,955	3,316,884
共済事業負債	590,271	963,794	896,281	971,454	994,331	972,986
共済借入金	20,889	3,346	4,583	10,765	14,368	27,822
共済資金	316,892	651,082	529,398	569,043	566,034	514,103
未経過共済付加収入	252,490	307,774	359,827	391,611	413,475	427,567
その他共済事業負債	—	1,592	2,473	35	454	3,494
経済事業負債	30,936	39,984	33,100	31,466	104,836	20,849
経済未払金	30,862	39,949	33,079	31,423	104,678	20,786
設備借入金	457,716	381,430	305,144	830,858	754,572	648,186
雑負債	300,644	279,877	521,405	376,272	309,016	402,741
諸引当金	1,657,784	1,776,324	2,231,090	3,201,865	1,284,407	1,269,130
繰延税金負債	—	—	—	—	—	—
再評価に係る繰延税金負債	—	—	—	—	—	—
(負債合計)	184,735,747	190,997,989	188,575,465	186,570,040	188,293,284	190,075,825
資本	6,159,611	6,209,110	6,353,473	6,411,274	6,471,066	6,579,200
出資金	2,365,280	2,363,990	2,358,670	2,352,380	2,323,350	2,304,650
利益剰余金等	3,794,331	3,845,120	3,994,803	4,058,894	4,147,716	4,274,550
評価・換金差額等	—	—	—	—	—	—
(純資産合計)	6,159,611	6,209,110	6,353,473	6,411,274	6,471,066	6,579,200
(負債・純資産合計)	190,895,357	197,207,101	194,928,937	192,981,312	194,764,350	196,655,027

平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
191,775,931	195,034,040	199,255,655	206,993,827	216,900,434	226,371,791	239,826,106	247,828,789	256,113,939
378,642	362,126	396,805	382,493	400,881	372,589	448,178	468,890	483,517
105,794,286	107,336,952	113,279,748	125,920,330	140,344,390	150,611,467	166,011,021	171,317,488	182,256,498
10,504,010	9,969,329	9,789,009	8,616,523	5,327,414	3,832,178	2,785,201	2,843,450	2,532,910
74,081,190	76,334,675	78,331,408	74,110,588	71,446,343	72,176,541	70,158,324	75,104,595	71,365,883
1,017,803	1,030,958	1,078,264	1,070,240	1,028,797	1,050,820	1,077,882	1,126,715	1,351,360
—	—	△ 3,619,579	△ 3,106,347	△ 1,647,391	△ 1,671,804	△ 654,500	△ 3,032,349	△ 1,876,229
27,063	31,960	33,594	39,807	60,442	129,470	150,173	191,057	205,702
26,351	31,063	32,881	38,937	59,237	126,975	147,682	187,393	202,053
712	897	814	989	1,214	2,947	3,020	3,682	3,824
—	—	△ 101	△ 119	△ 9	△ 452	△ 529	△ 18	△ 175
46,867	47,198	38,626	33,792	33,755	32,294	28,299	27,129	20,932
15,183	12,203	10,420	8,321	13,049	11,240	9,214	11,642	5,656
31,684	34,995	28,237	25,495	20,708	21,093	19,117	15,487	15,278
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	△ 31	△ 24	△ 2	△ 39	△ 32	—	△ 2
618,259	610,933	572,224	550,496	468,889	437,969	440,998	407,479	429,193
6,346,223	6,291,995	6,344,709	6,279,189	6,368,206	6,730,383	6,524,217	6,313,247	6,259,199
6,193,917	6,134,429	6,192,197	6,126,757	6,215,816	6,578,024	6,371,884	6,160,940	6,106,917
152,304	152,221	152,511	152,431	152,389	152,358	152,333	152,307	152,282
2,206,784	2,353,138	2,740,073	3,124,974	3,456,567	4,042,362	4,406,165	4,799,790	5,014,360
—	513,257	622,802	580,521	631,747	611,948	360,452	79,996	500,682
—	—	—	—	—	—	—	—	—
201,021,127	204,882,521	209,607,688	217,602,606	227,920,040	238,356,217	251,736,410	259,647,487	268,544,007
187,277,321	190,584,170	195,594,101	203,353,138	213,336,768	223,510,796	237,008,309	247,901,162	255,375,220
183,740,012	186,600,286	194,924,629	202,850,563	212,661,094	223,022,399	236,064,575	245,562,718	250,501,868
194,124	166,392	138,660	110,928	89,161	161,862	175,024	2,057,592	4,263,952
3,343,185	3,817,492	530,812	391,647	586,513	326,535	768,710	280,852	609,400
1,233,592	1,047,510	904,678	767,628	817,647	1,051,166	1,041,300	1,024,057	1,245,722
26,351	31,063	32,881	38,937	57,811	124,765	144,561	185,309	200,817
755,353	543,029	380,068	241,976	276,218	453,584	414,329	366,593	589,074
448,235	469,199	486,155	481,872	480,563	469,970	464,647	449,612	433,403
3,653	4,219	5,573	4,843	3,055	2,847	17,763	22,543	22,428
27,564	17,087	14,968	20,673	10,209	12,589	18,218	11,390	20,453
27,094	17,051	14,986	20,673	10,166	12,589	18,218	11,390	20,453
541,800	511,700	481,600	451,500	421,400	391,300	361,200	331,100	301,000
485,228	300,619	491,025	224,888	393,792	332,269	281,176	226,015	235,938
1,282,827	1,347,817	1,299,199	1,236,453	1,178,943	1,079,928	980,877	872,932	802,156
419,039	—	—	—	—	—	—	—	—
—	1,058,509	1,058,509	1,057,293	1,054,707	1,054,707	1,027,974	976,772	974,407
191,267,371	194,867,412	199,174,611	207,111,573	217,213,466	227,432,755	240,719,054	251,343,428	258,954,896
7,330,324	7,591,674	7,871,218	7,997,204	8,230,091	8,480,804	8,819,900	6,266,621	7,535,382
2,287,370	2,281,260	2,271,120	2,251,880	2,235,710	2,226,160	2,208,490	2,194,190	2,201,900
5,042,954	5,310,414	5,600,098	5,745,324	5,994,381	6,254,644	6,611,410	4,072,431	5,333,482
2,423,430	2,423,430	2,561,858	2,493,828	2,476,480	2,442,658	2,197,453	2,037,437	2,053,728
9,753,754	10,015,104	10,433,076	10,491,032	10,706,571	10,923,462	11,017,353	8,304,058	9,589,110
201,021,127	204,882,521	209,607,688	217,602,606	227,920,040	238,356,217	251,736,410	259,647,487	268,544,007

貸借対照表 (平成 19 年度～令和 3 年度)

(単位：千円)

項目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
信用事業資産	257,875,078	261,356,458	266,760,810	268,215,021	274,284,138	286,214,495
現金	544,102	515,127	475,953	478,778	516,677	544,396
預金	189,804,484	189,812,257	191,641,885	193,382,489	203,524,510	217,963,426
金銭信託・有価証券	2,446,344	5,548,220	8,321,217	10,241,196	9,432,188	9,094,323
貸出金	65,049,371	65,218,398	66,339,098	64,306,204	60,801,651	58,505,319
その他信用事業資産	1,551,314	1,571,688	1,375,517	1,301,036	1,323,505	1,393,996
貸倒引当金 (信用)	△ 1,520,537	△ 1,309,232	△ 1,392,860	△ 1,494,684	△ 1,314,394	△ 1,286,967
共済事業資産	239,430	251,109	224,353	215,582	209,675	225,276
共済貸付金	235,458	247,340	221,209	208,196	195,733	216,718
その他共済事業資産	4,153	4,066	3,550	8,088	14,507	9,277
貸倒引当金 (共済)	△ 181	△ 297	△ 406	△ 702	△ 565	△ 719
経済事業資産	23,932	26,791	28,786	27,647	27,992	25,716
経済未収金	5,053	12,321	14,802	14,333	16,072	15,869
棚卸資産	18,913	14,515	13,958	13,227	11,833	9,766
その他経済資産	—	—	66	132	132	132
貸倒引当金 (経済)	△ 34	△ 45	△ 40	△ 46	△ 46	△ 52
雑資産	409,849	380,254	367,233	350,603	339,247	323,851
固定資産	6,284,410	6,261,018	6,255,665	6,247,234	6,169,701	6,117,170
有形固定資産	6,132,154	6,108,779	6,103,436	6,095,015	6,017,510	5,964,978
無形固定資産	152,256	152,239	152,228	152,218	152,191	152,191
外部出資	5,474,944	5,971,073	6,550,926	7,029,908	8,774,933	9,287,217
繰延税金資産	282,983	280,956	211,284	223,387	147,305	108,252
繰延資産	—	—	—	—	—	—
(資産合計)	270,590,626	274,527,659	280,399,057	282,309,384	289,952,994	302,301,979
信用事業負債	256,705,143	260,331,830	266,187,190	267,614,763	275,078,274	286,709,723
貯金	252,099,841	255,839,369	260,334,979	264,011,055	271,802,816	283,716,978
借入金	3,990,861	3,551,656	5,097,631	2,884,630	2,456,138	1,968,460
その他信用事業負債	614,441	940,805	754,580	719,076	819,319	1,024,284
共済事業負債	1,283,580	1,083,509	839,065	1,021,137	998,567	1,269,397
共済借入金	233,072	245,495	213,636	206,241	188,285	212,345
共済資金	631,134	438,985	250,837	456,674	468,659	730,445
未経過共済付加収入	413,262	392,959	369,258	353,028	334,986	321,591
その他共済事業負債	6,112	6,070	5,334	5,192	6,634	5,013
経済事業負債	12,180	11,924	20,365	12,383	9,359	11,820
経済未払金	12,180	11,924	20,365	12,383	9,359	11,820
設備借入金	270,900	240,800	210,700	180,600	150,500	120,400
雑負債	401,111	446,805	460,056	549,067	400,034	484,344
諸引当金	839,475	866,016	838,242	859,385	838,013	918,237
繰延税金負債	—	—	—	—	—	—
再評価に係る繰延税金負債	974,495	1,006,551	1,005,086	1,005,086	891,133	881,442
(負債合計)	260,486,884	263,987,435	269,560,704	271,242,423	278,365,883	290,395,367
資本	8,040,333	8,511,802	8,754,647	8,936,107	9,188,801	9,400,113
出資金	2,198,006	2,180,240	2,157,178	2,118,571	2,082,350	2,060,629
利益剰余金等	5,842,327	6,331,562	6,597,469	6,817,536	7,106,451	7,339,484
評価・換金差額等	2,063,407	2,028,418	2,083,703	2,130,853	2,398,309	2,506,498
(純資産合計)	10,103,740	10,540,220	10,838,350	11,066,960	11,587,110	11,906,612
(負債・純資産合計)	270,590,626	274,527,659	280,399,057	282,309,384	289,952,994	302,301,979

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
293,587,080	302,322,387	310,274,172	321,199,600	332,684,189	336,119,465	331,994,133	336,594,730	334,643,700
579,841	586,023	569,017	578,351	506,640	572,806	605,443	600,169	603,486
227,097,855	235,321,341	240,222,405	247,175,722	255,822,495	257,018,980	253,299,131	253,846,931	247,160,060
9,728,344	12,326,336	12,210,311	11,916,324	12,894,164	13,141,495	9,981,751	9,481,004	11,019,100
56,010,685	53,458,314	56,376,049	60,424,465	62,279,756	64,131,154	66,988,290	71,598,969	74,831,305
1,388,951	1,498,189	1,537,574	1,590,344	1,644,506	1,711,834	1,557,542	1,498,969	1,448,892
△ 1,218,597	△ 867,817	△ 641,185	△ 485,607	△ 463,373	△ 456,804	△ 438,026	△ 431,312	△ 419,145
209,266	209,053	196,176	219,288	226,022	14,393	9,461	14,426	10,385
201,330	202,811	189,018	210,875	214,341	4,456	500	500	—
8,628	6,908	7,777	9,105	12,392	9,949	8,961	13,926	10,385
△ 693	△ 666	△ 619	△ 692	△ 711	△ 13	—	—	—
29,423	39,045	41,081	29,219	62,073	61,576	56,993	43,262	35,282
20,792	30,996	34,324	22,455	54,818	53,616	44,765	33,996	24,815
8,570	8,020	6,740	6,706	7,305	8,005	12,239	9,240	10,411
132	132	132	132	132	132	132	132	132
△ 72	△ 104	△ 115	△ 75	△ 183	△ 178	△ 144	△ 107	△ 76
325,542	364,664	400,632	395,574	403,233	328,938	475,246	490,263	456,642
6,636,326	7,059,002	6,888,046	7,084,826	6,811,616	6,675,996	6,608,589	6,737,128	6,503,347
6,481,916	6,904,271	6,734,331	6,931,753	6,657,960	6,523,089	6,456,074	6,585,088	6,351,578
154,410	154,731	153,715	153,073	153,656	152,906	152,514	152,040	151,768
9,287,217	9,287,215	9,287,214	9,287,213	9,310,423	9,310,423	9,324,393	9,367,853	9,404,493
94,944	25,836	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
310,169,800	319,307,205	327,087,324	338,215,722	349,497,559	352,510,791	348,468,816	353,247,664	351,053,851
295,052,893	303,857,898	310,832,621	320,978,209	332,848,620	335,119,540	331,298,266	335,675,038	333,458,252
292,754,005	301,098,023	309,455,189	319,901,617	331,143,750	332,433,411	327,490,479	330,376,713	328,832,662
1,627,459	1,311,456	524,144	495	900,000	1,600,000	2,900,000	4,000,000	4,000,000
671,427	1,448,418	853,286	1,076,096	804,868	1,086,128	907,786	1,298,324	625,589
838,043	826,488	795,053	1,098,984	958,374	912,815	641,983	593,861	631,675
200,320	200,769	185,864	203,392	210,192	1,456	—	—	—
324,823	322,746	310,576	605,602	455,424	598,374	322,629	267,651	303,138
309,195	297,867	286,203	284,720	285,786	298,777	305,895	310,116	315,438
3,702	5,104	12,408	5,267	6,969	14,207	13,458	16,093	13,097
18,447	9,669	13,718	14,390	12,461	11,996	11,547	27,071	10,555
18,447	9,669	13,718	14,390	12,461	11,996	11,547	27,071	10,555
90,300	60,200	30,100	650,000	617,500	647,510	611,720	1,052,430	1,098,140
396,852	360,074	375,924	410,754	370,544	424,426	333,053	342,916	375,655
823,411	768,616	949,442	856,018	683,178	636,243	570,136	498,059	467,717
—	—	49,736	35,484	86,130	146,410	151,076	106,591	23,154
846,899	834,367	801,020	801,020	795,523	815,071	783,322	757,673	726,319
298,066,849	306,717,314	313,847,616	324,844,862	336,372,333	338,714,015	334,401,105	339,053,640	336,791,471
9,740,237	10,105,601	10,395,690	10,742,724	10,393,121	11,026,207	11,368,229	11,705,094	12,078,840
2,030,104	2,005,854	1,983,668	1,952,880	1,919,268	2,194,144	2,317,865	2,393,166	2,412,179
7,710,133	8,099,747	8,412,022	8,789,844	8,473,853	8,832,063	9,050,364	9,311,928	9,666,661
2,362,714	2,484,288	2,844,016	2,628,135	2,732,104	2,770,569	2,699,481	2,488,929	2,183,539
12,102,951	12,589,890	13,239,707	13,370,860	13,125,225	13,796,776	14,067,710	14,194,024	14,262,380
310,169,800	319,307,205	327,087,324	338,215,722	349,497,559	352,510,791	348,468,816	353,247,664	351,053,851

(単位：千円)

項目	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
事業総利益	3,096,815	2,755,938	3,511,542	3,820,802	2,658,430	2,867,943
信用事業収益	10,526,203	8,738,248	7,133,506	6,157,278	4,985,577	4,541,492
信用事業費用	7,986,379	6,625,204	4,331,298	3,076,051	3,081,433	2,450,544
信用事業総利益	2,539,824	2,113,044	2,802,208	3,081,227	1,904,144	2,090,948
共済事業収益	602,416	683,658	724,679	741,983	736,474	772,552
共済事業費用	75,103	89,668	94,319	86,621	81,548	81,376
共済事業総利益	527,313	593,990	630,360	655,362	654,926	691,176
購買事業収益	726,606	643,706	543,720	509,850	576,031	417,555
購買事業費用	681,570	590,627	499,683	470,666	539,894	383,764
購買事業総利益	45,036	53,079	44,037	39,184	36,137	33,791
販売事業収益	23,794	52,282	59,862	78,315	86,195	56,160
販売事業費用	20,688	45,339	51,924	63,818	65,228	44,295
販売事業総利益	3,106	6,943	7,938	14,497	20,967	11,865
利用事業収益	66,154	97,668	83,535	82,991	87,119	84,163
利用事業費用	38,172	58,314	44,893	43,457	40,790	36,780
利用事業総利益	27,982	39,354	38,642	39,534	46,329	47,383
宅地等供給事業収益	—	—	70,280	79,149	79,030	80,726
宅地等供給事業費用	—	—	35,651	37,718	38,026	38,755
宅地等供給事業総利益	—	—	34,629	41,431	41,004	41,971
旅行事業収益	—	—	—	—	88,527	40,776
旅行事業費用	—	—	—	—	84,419	37,993
旅行事業総利益	—	—	—	—	4,108	2,783
指導事業収入	24,417	52,988	81,082	139,037	148,451	39,464
指導事業支出	70,863	103,460	127,354	189,470	197,636	91,439
指導事業収支差額	△46,446	△50,472	△46,272	△50,433	△49,185	△51,975
事業管理費	2,695,822	2,461,870	2,566,144	2,607,415	2,603,133	2,608,494
(事業利益)	400,993	294,068	945,398	1,213,387	55,297	259,449
事業外利益	413,864	327,141	787,718	1,171,689	160,087	88,172
うち受取出資配当金	65,549	62,307	63,548	64,056	74,555	44,829
事業外費用	553,697	410,158	1,167,308	2,083,032	30,241	26,347
(経常利益)	261,160	211,051	565,808	302,044	185,143	321,273
特別利益	596	11,208	740	842	97,206	100,883
特別損失	4,870	229	1,436	6,342	38,876	8,957
税引前当期利益	256,886	222,030	565,112	296,544	243,473	413,199
税引前当期損失	—	—	—	—	—	—
法人税・住民税・事業税	114,780	88,800	333,000	150,000	96,077	228,366
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—
法人税等合計	114,780	88,800	333,000	150,000	96,077	228,366
当期剰余金	142,106	133,230	232,112	146,544	147,396	184,833
当期損失金	—	—	—	—	—	—
前期繰越剰余金	—	29,665	25,466	25,127	33,094	32,491
当期首繰越剰余金	—	—	—	—	—	—
土地再評価差額金取崩額	—	—	—	—	—	—
施設整備積立金取崩額	—	—	—	—	—	—
合併20周年積立金取崩額	—	—	—	—	—	—
過年度税効果調整額	—	—	—	—	—	—
特別積立金取崩額	—	—	—	—	—	—
(当期末処分剰余金)	142,106	162,895	257,578	171,671	180,490	217,325

平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
2,960,172	2,711,175	2,582,473	2,645,587	2,671,151	2,589,495	2,699,405	△60,883	2,942,514
3,433,992	3,029,675	2,998,359	2,634,987	2,512,867	2,312,031	2,370,190	2,382,930	2,873,263
1,287,524	1,121,387	1,230,445	818,082	688,294	568,333	512,468	3,291,586	773,016
2,146,468	1,908,288	1,767,914	1,816,905	1,824,573	1,743,698	1,857,722	△908,656	2,100,247
796,593	787,367	791,600	813,962	810,228	801,631	796,798	797,930	796,273
76,631	70,251	61,467	57,549	53,163	46,260	47,051	50,543	46,854
719,962	717,116	730,193	756,413	757,065	755,371	749,747	747,387	749,419
395,775	346,697	358,385	320,546	378,198	313,409	308,908	350,472	325,988
367,100	318,552	331,320	301,547	352,993	286,761	280,730	317,594	294,428
28,675	28,145	27,065	18,999	25,205	26,648	28,178	32,878	31,560
36,231	26,678	21,943	22,585	26,770	27,341	26,039	23,151	19,886
28,569	19,201	18,104	16,278	17,893	17,401	16,300	15,305	13,225
7,662	7,477	3,839	6,307	8,877	9,940	9,739	7,846	6,661
84,329	80,849	78,802	70,984	64,478	61,768	57,872	56,991	57,987
34,600	34,688	32,198	34,309	32,707	30,124	30,334	30,458	31,426
49,729	46,161	46,604	36,675	31,771	31,644	27,538	26,533	26,561
94,702	90,887	91,085	87,921	104,047	101,187	103,382	110,488	100,042
40,222	40,000	38,260	37,332	40,165	37,917	37,742	39,828	34,118
54,480	50,887	52,825	50,589	63,882	63,270	65,640	70,660	65,924
115,179	—	—	—	—	—	—	—	—
110,071	—	—	—	—	—	—	—	—
5,108	—	—	—	—	—	—	—	—
30,391	11,452	5,815	5,681	5,412	4,713	5,944	5,689	5,203
82,303	58,351	51,782	45,982	45,634	45,789	45,103	43,220	43,061
△51,912	△46,899	△45,967	△40,301	△40,222	△41,076	△39,159	△37,531	△37,858
2,465,563	2,351,335	2,375,773	2,403,129	2,271,173	2,239,700	2,256,890	2,304,629	2,151,138
494,609	359,840	206,700	242,458	399,978	349,795	442,515	△2,365,512	791,376
79,154	84,295	119,189	77,963	72,809	143,897	83,044	84,003	88,153
45,295	50,070	86,504	61,609	57,768	62,569	67,663	72,697	78,213
68,957	15,724	21,816	12,042	9,889	13,043	19,212	8,661	8,328
504,806	428,411	304,073	308,379	462,898	480,649	506,347	△2,290,170	871,201
14,791	54,673	220,557	4,556	9,652	—	8	5,416	513
7,925	2,310	28,086	5,331	537	2,175	57,914	89,369	10,770
511,672	480,774	496,544	307,604	472,013	478,474	448,441	△2,374,123	860,944
—	—	—	—	—	—	—	—	—
325,259	30,000	320,000	35,000	213,000	138,970	54,920	3,383	5,290
△54,190	126,213	△170,007	70,779	△46,235	34,572	175,438	234,587	△420,082
271,069	156,213	149,993	105,779	166,765	173,542	230,358	237,970	△414,792
240,603	324,561	346,551	201,825	305,248	304,932	218,083	△2,612,093	1,275,736
—	—	—	—	—	—	—	—	—
49,847	103,628	181,321	311,274	361,338	482,021	557,663	629,758	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
585,279	—	—	—	—	—	183,057	117,226	5,415
—	—	—	—	—	—	—	1,110,298	—
875,729	428,189	527,872	513,099	666,586	786,953	958,803	△754,811	1,281,151

(単位：千円)

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業総利益	3,022,779	2,925,154	2,720,128	2,647,132	2,671,456	2,762,920
信用事業収益	3,244,489	3,287,695	3,020,329	2,750,865	2,558,582	2,644,043
信用事業費用	1,045,832	1,185,548	1,125,326	930,030	712,645	724,106
信用事業総利益	2,198,657	2,102,147	1,895,003	1,820,834	1,845,937	1,919,936
共済事業収益	805,868	810,792	800,484	807,245	799,638	794,390
共済事業費用	57,101	51,123	41,386	47,496	42,523	44,192
共済事業総利益	748,767	759,669	759,098	759,749	757,115	750,198
購買事業収益	290,754	292,915	287,895	237,321	261,379	240,260
購買事業費用	265,063	267,153	264,872	217,503	243,604	218,762
購買事業総利益	25,691	25,762	23,023	19,818	17,775	21,498
販売事業収益	7,140	2,299	8,135	7,379	9,552	11,105
販売事業費用	5,225	1,706	6,950	6,249	7,844	9,100
販売事業総利益	1,915	593	1,185	1,129	1,707	2,005
利用事業収益	55,455	53,725	55,061	55,769	63,851	86,235
利用事業費用	31,236	31,367	34,943	34,072	40,976	65,128
利用事業総利益	24,219	22,358	20,118	21,696	22,874	21,107
宅地等供給事業収益	92,518	81,840	87,832	90,016	87,040	107,841
宅地等供給事業費用	31,739	30,523	30,583	27,644	27,475	27,560
宅地等供給事業総利益	60,779	51,317	57,249	62,372	59,565	80,280
旅行事業収益	—	—	—	—	—	—
旅行事業費用	—	—	—	—	—	—
旅行事業総利益	—	—	—	—	—	—
指導事業収入	5,746	5,401	9,001	8,775	5,978	5,415
指導事業支出	42,995	42,093	44,549	47,243	39,497	37,522
指導事業収支差額	△ 37,249	△ 36,692	△ 35,548	△ 38,468	△ 33,518	△ 32,107
事業管理費	2,282,404	2,267,081	2,291,048	2,265,751	2,297,815	2,400,124
(事業利益)	740,375	658,073	429,080	381,380	373,641	362,796
事業外利益	89,729	94,806	100,684	106,759	183,066	161,027
うち受取出資配当金	83,902	89,588	94,630	100,844	108,303	127,696
事業外費用	8,492	7,506	6,584	4,258	8,443	4,075
(経常利益)	821,612	745,373	523,180	483,881	548,264	519,748
特別利益	137,469	73,807	37,615	343	141	1,338
特別損失	3,672	17,450	15,843	36,696	118,850	113,398
税引前当期利益	955,409	801,730	544,952	447,527	429,555	407,688
税引前当期損失	—	—	—	—	—	—
法人税・住民税・事業税	169,802	227,481	189,253	228,065	77,328	178,003
法人税等調整額	214,554	3,214	41,434	△ 33,683	24,776	△ 22,070
法人税等合計	384,356	230,695	230,687	194,381	102,104	155,932
当期剰余金	571,053	571,035	314,265	253,146	327,450	251,755
当期損失金	—	—	—	—	—	—
前期繰越剰余金	456,154	466,901	488,376	497,406	—	—
当期首繰越剰余金	—	—	—	—	464,111	434,624
土地再評価差額金取崩額	△ 202	—	3,201	—	—	25,119
施設整備積立金取崩額	84,805	23,271	7,793	6,087	—	8,194
合併20周年積立金取崩額	—	—	—	—	20,000	—
過年度税効果調整額	—	—	—	—	—	—
特別積立金取崩額	—	—	—	—	—	—
(当期末処分剰余金)	1,111,810	1,061,207	813,635	756,639	811,561	719,694

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
2,645,932	2,699,843	2,824,665	2,778,700	2,792,716	2,904,257	2,725,217	2,789,487	2,769,924
2,587,419	2,652,870	2,787,149	2,704,025	2,719,572	2,730,730	2,509,219	2,441,680	2,390,642
753,018	762,542	791,485	775,373	759,046	714,639	616,602	491,175	432,880
1,834,400	1,890,328	1,995,663	1,928,651	1,960,525	2,016,091	1,892,616	1,950,505	1,957,762
784,499	793,675	808,441	808,582	793,933	815,695	799,364	785,659	776,247
46,637	45,909	41,088	35,969	30,452	31,878	18,687	16,095	16,323
737,862	747,765	767,352	772,612	763,480	783,816	780,676	769,564	759,923
239,238	220,192	229,395	239,445	184,812	201,246	205,513	156,739	52,754
220,561	203,494	212,071	223,902	172,564	186,934	189,823	145,064	40,888
18,677	16,698	17,324	15,543	12,248	14,312	15,689	11,675	11,865
9,834	12,171	15,413	15,536	26,649	31,649	30,826	42,128	34,818
7,900	11,052	14,037	13,128	21,758	25,871	23,393	32,422	27,138
1,933	1,119	1,376	2,408	4,890	5,778	7,432	9,705	7,680
83,949	81,551	76,817	76,475	73,071	68,646	67,294	69,782	70,332
59,848	59,197	56,701	54,382	53,137	52,663	49,674	51,018	51,426
24,100	22,353	20,116	22,092	19,934	15,983	17,620	18,763	18,906
82,136	65,857	65,983	80,356	78,271	113,477	55,694	64,197	45,123
19,726	12,541	11,104	10,833	12,857	11,275	10,927	10,699	10,895
62,410	53,316	54,879	69,522	65,414	102,201	44,766	53,497	34,227
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
6,698	5,088	4,358	4,503	4,008	3,684	5,325	3,257	2,900
40,150	36,825	36,407	36,633	37,786	37,609	38,909	27,483	23,340
△ 33,452	△ 31,737	△ 32,048	△ 32,129	△ 33,778	△ 33,924	△ 33,584	△ 24,225	△ 20,440
2,377,601	2,531,568	2,552,706	2,565,989	2,620,282	2,575,802	2,539,894	2,498,134	2,433,383
268,330	168,274	271,959	212,710	172,434	328,454	185,323	291,352	336,540
236,024	328,287	247,775	293,906	204,933	207,419	214,048	202,727	227,437
147,519	153,469	157,567	162,178	166,962	171,650	171,630	174,515	174,765
1,984	1,975	2,842	863	4,526	4,325	5,897	11,152	6,768
502,371	494,586	516,892	505,754	372,841	531,548	393,473	482,927	557,210
33,096	896	80,414	—	—	—	—	—	—
142,798	88,914	381,035	4,310	453,301	53,043	2,687	139,796	141,367
392,669	406,568	216,270	501,444	—	478,505	390,786	343,130	415,842
—	—	—	—	80,460	—	—	—	—
75,425	18,709	74,149	19,805	34,999	134,208	72,556	96,314	131,322
△ 303	△ 6,101	△ 130,184	69,203	51,313	△ 9,296	62,451	△ 14,389	△ 28,086
75,121	12,607	△ 56,035	89,008	86,313	124,911	135,007	81,925	103,236
317,548	393,960	272,305	412,435	—	353,593	255,779	261,205	312,606
—	—	—	—	166,774	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
373,228	419,593	629,951	788,323	880,698	455,741	618,762	681,523	802,848
89,532	35,584	86,262	—	△ 119,915	31,561	—	66,349	81,105
11,206	6,164	10,724	11,320	9,640	4,152	13,833	15,872	5,452
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
791,515	855,302	999,243	1,212,079	603,648	845,049	888,375	1,024,952	1,202,012

主な出来事年表（平成2年度～10年度）

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
平成2年度		
12月17日	大阪市内4農協（大阪市農協、大阪市長吉農協、東淀川農協、大阪市茨田農協）合併促進協議会設立総会 促進協議会会長 西尾正也大阪市長（当時）	4月 大阪府の鶴見緑地で「国際花と緑の博覧会」開幕 8月 イラク軍、クウェートに侵攻
平成3年度		
10月22日	大阪市内4農協合併予備契約調印式（於：大阪コクサイホテル8階いちょうの間）	6月 長崎県雲仙普賢岳で大火砕流発生
11月18日	4農協 合併総会	12月 ソ連邦消滅
12月12日	第1回 大阪市農業協同組合設立委員会	1月 脳死臨調が、脳死を人の死とし提供者本人の意思を尊重して臓器提供を認める答申
1月9日	第2回 大阪市農業協同組合設立委員会	2月 冬季オリンピックがフランス・アルペールビルで開幕
1月31日	第3回 大阪市農業協同組合設立委員会 第2回 役員会（仮理事会）	3月 東海道新幹線に特急列車「のぞみ」登場
2月25日	大阪府へ認可申請	
3月13日	第3回 役員会（仮理事会）（於：大阪市役所）	
平成4年度		
4月1日	新農協 大阪市農業協同組合発足（愛称 JA 大阪市） ◆4部・1室・10課・1センター・15支店・1連絡所 ◆本店・城東支店・巽支店・巽南支店・加美支店・加美南支店・平野支店・瓜破支店・矢田支店・東住吉支店・住吉支店・住之江支店・長吉支店・六反支店・茨田支店・東淀川支店・西淀連絡所・営農センター ◆組合員7,159人：正組合員3,574人/准組合員3,585人 合併記念式典（於：本店営業室）／入組式（9名）／「JA」の愛称スタート	4月 オレンジ果汁の輸入自由化 4月 EUがユーゴスラビアのボスニア・ヘルツェゴビナ 共和国の独立を承認 5月 沖縄本土復帰20周年記念式典開催 6月 PKO（国連平和維持活動）協力法案成立
4月6～24日	成人病巡回検診	
5月6日	東淀川支店リニューアルオープン	
5月7～14日	成人病巡回検診	
5月9日	合併祝賀会（於：月華殿・フェイスゲストハウス）	
5月18日	第1回 渉外担当者研修会（全3回 ～1月11日）	10月 銀行の不良債権12兆3,000億円
5月26日	第1回 窓口担当者（限定）研修会	
6月18日	リーダー（渉外・窓口）研修会	
7月25日	第1回 渉外・代理合同研修会（全3回 ～2月6日）	
10月1日	外貨両替業務開始	
10月23日	代理研修会	
11月27日	年金友の会設立準備発起人会	
3月22日	支店長研修会	3月 地価公示価格が2年連続で下落
平成5年度		
4月15日	JA 大阪市婦人部 第1回 通常総会（於：月華殿）	
4月16日	JA 大阪市技術部会 第1回 通常総会（於：本店会議室）	
5月22日	第1回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	5月 日本プロサッカーリーグ開幕
6月28日	第1回 年金友の会総会	
7月3日	事業推進大会（於：月華殿）	
7月22日	第1回 渉外担当者研修会（全2回 ～10月23日）	7月 東京サミット（主要先進国首脳会議）開催
8月3日	夏休み親子料理教室（於：平野支店料理教室）	8月 第79代首相に細川護熙氏が指名
9月17日	婦人部健康増進講演会（於：本店大会議室）	
10月2日	窓口担当者研修会	
11月26日	渉外・窓口リーダー研修会	10月 南アフリカ共和国のマンデラ議長がノーベル平和賞を受賞
12月24～28日	JA 大阪市冬休み子供村 北志賀小丸山スキー場 110名	
1月4日	第3次 オンラインシステム開始	
1月4日	新年交礼会	12月 12月31日金融機関が休日に
2月8日	支店長研修会	12月 屋久島・白神山・法隆寺・姫路城が世界遺産に登録
2月25日	共済事業達成大会（於：東映ホテル）	
2月25日	JA 大阪市婦人部 第1回 文化祭（於：平野区画整理記念会館）	
3月16～18日	役員懇親旅行 沖縄方面 2泊3日	
平成6年度		
4月1日	入組式（29名）／辞令交付式	
4月19日	JA 大阪市婦人部 第2回 通常総会（於：月華殿）	4月 北大西洋条約機構（NATO 軍）がボスニア紛争でセルビア人武装勢力を空爆
4月28日	JA 大阪市技術部会 第2回 通常総会（於：月華殿）	
5月25日	第2回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
6月20日	第2回 年金友の会総会（於：本店大会議室）	
6月21日	第1回 JA 大阪市職員OB会総会 兵庫県 竜野市方面	6月 松本サリン事件発生
7月2日	事業推進大会（於：月華殿）	7月 日本人初の女性宇宙飛行士 向井千秋氏が宇宙へ
8月3日	夏休み親子教室（於：長吉支店大会議室）	

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
9月6日	JA 大阪市年金友の会 日帰り懇親会 180名	9月 関西国際空港開港
9月14日	第1回 公的年金研修会（全2回 ～11月9日）	10月 大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞
10月1日	国債等窓口販売開始	11月 年金改革法成立、年金支給年齢を引き上げ
11月12日	大阪市農業フェア（於：柴島浄水場広場）	12月 WTO（世界貿易機関）に日本が加盟
12月25～29日	冬休み子供村 桐池高原スキー場 159名	1月 阪神・淡路大震災、死者5,000人を超える
1月24～25日	技術部会役員見学会 金沢・加賀方面	2月 野茂英雄投手がロサンゼルスドジャースと契約
2月23日	共済事業達成大会（於：東映ホテル）	3月 霞が関で地下鉄サリン事件発生
3月4～5日	農機具・園芸用品展示即売会（於：営農センター）	
平成7年度		
4月1日	入組式（13名）／辞令交付式	4月 東京都知事に青島幸男氏、大阪府知事に横山ノック氏が当選
4月18・25日	新採用職員補完研修会	
4月25・27日	営業店管理者研修会	7月 ミャンマーの民主化運動指導者アウンサンスーチー氏6年ぶり自宅軟禁から解放
5月29日	第3回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
6月10日	事業推進大会（於：リバーサイドホテル）	
7月5～26日	新採用職員フォロー研修会（男女別）	
8月9日	夏休み親子陶芸教室（於：長吉支店）32名	11月 新食糧法施行、米流通の自由化スタート
11月13日	第4次 オンラインシステム開始	12月 高速増殖炉「もんじゅ」で事故発生
12月6日	女性会正月用品活用料理講習会（於：平野支店）32名	
12月12日	住吉支店新築オープン	
1月20日	営農担当者研修会	2月 北海道積丹半島トンネル崩落、20名死亡
1月24～25日	為替管理者研修会	
2月15日	第2回 女性会文化祭（於：コミュニティプラザ平野）	
平成8年度		
4月1日	入組式（10名）／辞令交付式／旅行センター発足	4月 三菱銀行と東京銀行が合併、東京三菱銀行誕生
4月17日	第4回 女性会通常総会（於：フェイス月華殿）	
4月26日	第4回 技術部会通常総会（於：フェイス月華殿）	
5月22日	健康管理講演会（於：巽支店）	
5月24日	第4回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	7月 夏季オリンピックが米国・アトランタで開催
6月29日	全事業推進大会（於：フェイス月華殿）	
7月3～4日	旅行センター開設記念旅行 浜名湖方面	
8月2日	女性会夏休み親子料理教室（於：平野支店）35名	9月 薬害エイズ事件、ミドリ十字元・前・現社長逮捕
9月3日	年金友の会懇親会 長島温泉「水前寺清子ンヨー」 225名	
12月25～29日	冬休み子供村 桐池方面 70名	12月 ペルー日本大使館占拠をゲリラが占拠
3月10日	住之江支店新築オープン	
平成9年度		
4月1日	入組式（10名）／辞令交付式	4月 消費税3%から5%に引き上げ
5月27日	第5回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
6月20日	女性会 健康管理講演会（於：コミュニティプラザ平野）	
7月29日	技術部会講演会（於：コミュニティプラザ平野） 154名	11月 北海道拓殖銀行、山一証券が破綻
9月3日	年金友の会懇親会 焼津温泉	12月 地球温暖化防止、京都会議が開催
11月15～16日	大阪市農業フェア（於：鶴見緑地プール横広場）	2月 冬季オリンピックが長野県で開催
12月24～28日	冬休み子供村 桐池方面 60名	3月 民間の非営利団体のボランティア活動を支援するNPO法成立
2月26日	第3回 女性会文化祭（於：コミュニティプラザ平野）	
3月17～18日	農機具展示即売会（於：営農センター）	
平成10年度		
4月1日	入組式（10名）／辞令交付式	4月 金融改革ビッグバンの皮切りとなる改正外為法成立
5月26日	第6回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	5月 欧州連合（EU）首脳会議、通貨「ユーロ」に統一
6月2～3日	女性会役員・担当者合同研修会 嵐山方面	6月 大蔵省に金融監督庁発足
7月4日	全事業推進大会（於：フェイスゲストハウス） 一部店舗でサンデーバンキング開始	
8月2日	女性会 夏休み親子レクリエーション教室（於：コミュニティプラザ平野）	
8月4日	女性会・技術部会合同講演会（於：コミュニティプラザ平野）	8月 北朝鮮、日本海に向けてミサイル「テポドン」発射
10月6日	北海道グルメツアー 38名	
11月10～12日	大阪市農業フェア（於：住吉大社）	10月 JAの信用事業の呼称「JAバンク」に
11月28日	女性会役員・担当者合同懇親会（於：フェイスゲストハウス）	11月 中国の江沢民主席来日（初の元首公式訪問）
1月25日	技術部会役員旅行 淡路島・四国方面	
2月25～26日	役員旅行 玉造温泉・四国方面	
3月7～9日	旅行センター廃止／平野ストア廃止	3月 北大西洋条約機構（NATO 軍）、ユーゴスラビアに対し空爆開始
3月31日		

主な出来事年表（平成11年度～18年度）

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
平成11年度		
4月1日	入組式（10名）／辞令交付式	
4月1日	機構変更 教育課→人事課／経済課、営農指導課→営農経済課	4月 東京都知事選で石原慎太郎氏が初当選
5月7日	第1回 企画推進会議（全7回 ～3月30日）	5月 国際保護鳥トキの人工孵化に成功
6月15日	第7回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	6月 男女共同参画社会基本法成立
7月3日	全事業推進大会（於：フェイスゲストハウス）	
7月9日	支部長懇親会（於：東映ホテル）	9月 台湾中部で大地震発生
8月26日	女性会オール電化料理教室（於：平野支店）	
9月1～4日	年金友の会懇親旅行 瀬戸内しまなみ海道 268名	
10月25日	年末貯蓄目標必達決起大会（於：東映ホテル）	
11月1日	大阪府下 JA 貯金3兆円 スーパー定期11月～12月まで	2月 太田房江氏が大阪府知事に就任
12月18日	女性会役員・会員・担当者合同研修会（於：近鉄劇場）	3月 北海道の有珠山が23年ぶりに噴火
2月7～8日	役員旅行 山中温泉	
3月6日	日本版デビットカードサービス開始	
平成12年度		
4月3日	入組式（13名）／辞令交付式	4月 小淵恵三内閣総辞職、第1次森喜朗内閣発足
4月3日	機構変更 参事制設置／職能制度導入	
5月8日	茨田支店新築工事着工	
6月23日	第8回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	7月 三宅島雄山噴火
7月1日	全事業推進大会（於：フェイスゲストハウス）	
8月17日	第1回 総合3ヶ年計画個別策定委員会（全4回～12月30日）	9月 夏季オリンピックがオーストラリア・シドニーで開催
9月7日	茨田支店 上棟式	
10月21日	大阪府下 JA 役員大会（於：舞洲アリーナ）	
12月11日	茨田支店新築オープン	
1月18日	女性会役員・職員合同懇親会（於：フェイスゲストハウス）	2月 宇和島水産高校「えひめ丸」が米潜水艦に衝突される
2月1～2日	技術部会役員研修旅行 三重方面	
2月27～28日	女性会役員研修旅行 城崎温泉	
平成13年度		
4月2日	入組式（11名）／辞令交付式／チャレンジ2,000億ジャンプアップ作戦	4月 中国からの輸入野菜急増
4月7日	全事業推進決起大会（於：フェイスゲストハウス）	6月 大阪教育大学附属池田小学校に男が侵入、児童8人刺殺
5月24日	平成12年度 全国 JA 共済優績組合表彰（於：帝国劇場 東京都）	
6月22日	第9回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	9月 米国の世界貿易センタービルにハイジャック機突入（同時多発テロ事件）
7月4日	瓜破小学校 営農センター見学	
8月28～29日	年金友の会懇親旅行 北陸方面 粟津温泉 267名	11月 大リーグ最優秀選手、マリナーズのイチロー選手に
9月19日	女性会支部長・担当者合同研修会 岡山方面 湯郷温泉	12月 皇太子夫妻に敬宮愛子さま誕生
10月19日	矢田東小学校「稲刈り体験学習」（於：営農センター）	2月 冬季オリンピックが米国・ソルトレイクシティで開催
11月17日	大阪市農業フェア（於：箕ヶ原）	3月 ダイエーが産業再生法適用申請
1月10日	共済優待観劇「川中美幸特別公演」543名	
2月8日	女性会文化祭（於：コミュニティプラザ平野）	
3月27日	女性会支部長・本店役員合同慰労会	
平成14年度		
4月1日	入組式（31名）／辞令交付式／トリプルチャレンジ「貯金・共済・融資」	4月 ペイオフ制度解禁（利用者保護制度）
4月20日	全事業推進決起大会（於：フェイスゲストハウス）	5月 サッカー・ワールドカップ日韓大会開催
5月29日	茨田北小学校 茨田支店業務見学	
6月21日	第10回 通常総代会	
7月10日	支部長懇親会（於：東映ホテル）	
8月9日	女性会 夏休み親子手話教室（於：コミュニティプラザ平野）110名	9月 小泉首相が北朝鮮を訪問し金正日総書記と会談
9月3～4日	年金友の会懇親旅行 伊勢志摩方面 200名	10月 北朝鮮から5人の拉致被害者が日本に帰国
10月15日	第1回 組織整備審議会（全3回 ～12月11日）	11月 プロ野球松井秀喜選手がFA宣言して大リーグへ
11月12～13日	共済優待旅行 岐阜県 南木曾・下呂温泉	
12月4日	第49回 JA 大阪女性協議会・家の光大会にて優良 JA 表彰を受賞	
1月21～22日	技術部会1泊研修旅行 和歌山方面	
2月4日	共済優待観劇「天童よしみ公演」（於：新歌舞伎座）645名	3月 米英軍がイラクに侵攻しイラク戦争始まる
3月10日	改正農業取締法施行	

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
平成15年度		
4月1日	入組式（16名）／辞令交付式	4月 日本郵政公社発足
4月26日	全事業推進決起大会（於：フェイスゲストハウス）	
5月12～15日	ママさん大学 伊香保・月岡温泉 119名	6月 有事関連法案成立
6月20日	第11回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月10日	支部長懇親会（於：東映ホテル）	8月 北朝鮮の核問題をめぐる6か国協議、北京で開催
8月1日	女性会親子まんが教室（於：コミュニティプラザ平野）122名	
9月5日	JA 大阪市窓口活性化取組について JA 松阪金融研究会が視察来農	10月 農水省、食料自給率は40%で5年連続横ばいと発表
10月27～28日	立毛品評会・審査	11月 自民・公明両党連立の第2次小泉純一郎内閣が発足
11月8日	大阪市農業フェア（於：白鷺公園）	
12月6日	東住吉支店地鎮祭	
1月16日	マルチペイメントネットワークサービス開始（ペイジー）	
2月7日	窓口ロールプレイング大会 長吉支店ベア府下第2位	
2月20日	第6回 女性会文化祭（於：コミュニティプラザ平野）	
平成16年度		
4月1日	入組式（15名）／辞令交付式	
4月10日	全事業推進決起大会（於：コミュニティプラザ平野）	6月 厚生労働省、出生率が過去最低1.29%と発表
5月10日	東住吉支店新築オープン	8月 夏季オリンピックがギリシャ・アテネで開催
6月24日	第12回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月12日	支部長懇親会（於：天王寺東映ホテル）	
8月3日	女性会親子レインボー体操教室（於：コミュニティプラザ平野）	10月 新潟県中越地震、震度7を記録
8月25～26日	年金友の会懇親旅行 草津温泉 235名	
10月15日	健康管理講演会（於：コミュニティプラザ平野）400名	
11月13日	大阪市農業フェア（於：蒲生公園）	2月 愛知県常滑市に中部国際空港（セントレア）開港
12月4日	伝統野菜復活フェスタ 即売 技術部会・女性会（於：湊町リバープレイス）	3月 愛知万博（通称：愛・地球博）開幕
2月5日	JA 大阪市窓口ロールプレイング大会	
3月18日	共済優待観劇「北島三郎公演」（於：梅田コマ劇場）541名	
平成17年度		
4月1日	入組式（16名）／辞令交付式	4月 JR 福知山線脱線事故
4月23日	全事業推進決起大会（於：コミュニティプラザ平野）	
5月16～18日	ママさん大学 第4期生第1課程 愛・地球博、西山温泉 86名	7月 英国ロンドンで地下鉄・バス同時自爆テロ
6月14日	瓜破小学校 稲作体験（於：営農センター）	
6月27日	第13回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	10月 市町村合併により日本各地で50の自治体が誕生
8月3日	女性会親子レインボー体操（於：コミュニティプラザ平野）171名	
9月1～2日	年金友の会懇親旅行 白浜温泉ホテルシーモア 208名	
10月3日	大阪府独自システム JA 大阪システム（JOWS）稼働	2月 冬季オリンピックがイタリア・トリノで開催
11月15～16日	共済優待旅行 和歌山県 勝浦温泉 107名	3月 第1回 WBC で王貞治監督率いる日本が優勝
11月21日	セブン銀行 ATM 提携開始	
2月10日	女性会文化祭（於：コミュニティプラザ平野）	
3月7～9日	女性会役員旅行 南西諸島 14名	
平成18年度		
4月3日	入組式（16名）／辞令交付式	4月 耐震強度偽装事件、姉齒元建築士ら8名逮捕
4月22日	全事業推進決起大会（於：コミュニティプラザ平野）	
5月11日	ママさん大学「宮根誠司氏講演」（於：帝国ホテル）	
6月23日	第14回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月14日	支部長懇親会（於：天王寺東映ホテル）	
9月6～7日	年金友の会懇親旅行 玉造温泉 210名	9月 秋篠宮妃紀子さまが男児をご出産（悠仁さま）
10月19日	健康管理講演会（於：コミュニティプラザ平野）304名	
11月1日	団体傷害保険制度「JA シニアクラブ21A」取扱開始	
11月15～16日	共済優待旅行 山中温泉 69名	
12月7日	第2回 支部長代表協議会（於：中之島倶楽部）	
1月19～20日	技術部会1泊研修 岐阜農業普及センター	1月 宮崎県知事選挙で東国原英夫氏が当選
2月6～7日	役員旅行 山代温泉	
3月24日	西淀連絡所、東淀川支店と店舗統合	

主な出来事年表（平成19年度～26年度）

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
平成19年度		
4月2日	入組式（13名）／辞令交付式／本店機構変更	4月 統一地方選挙、東京都知事選で石原慎太郎氏が3選
4月21日	全事業推進決起大会（於：コミュニティプラザ平野）	
5月13日	住宅ローン日曜相談会 ～3月 毎月第2日曜日実施	
6月22日	第15回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月13日	支部長懇親会（於：天王寺東映ホテル）	
8月10～11日	ママさん大学 高知方面	
9月20日	技術部会・女性会 健康管理講演会（於：コミュニティプラザ平野）308名	
11月8・13日	平成19年産米検査・出荷（595袋）	
11月21～22日	年金友の会懇親旅行 焼津方面 163名	
1月4日	新春住宅ローン相談会 全店実施	
2月8日	女性会文化祭（於：コミュニティプラザ平野）	
2月12日	加美支店リニューアルオープン	9月 安倍晋三首相、突然の辞任
3月17日	瓜破支店リニューアルオープン	10月 郵政民営化がスタート
平成20年度		
4月1日	入組式（17名）／辞令交付式／機構変更 複数常務制導入	4月 ガソリン税の暫定税率廃止に伴い、ガソリン価格が下落
4月16日	交通安全講習会（全2回 9月16日）	
5月12～15日	ママさん大学第4課程 香港マカオ美食の旅 69名	
6月26日	第16回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月11日	支部長懇親会（於：天王寺東映ホテル）	
8月4～6日	市内新任教職員研修受入（2名）	
9月19日	健康管理講演会（於：コミュニティプラザ平野）322名	
10月25～26日	食農教育応援事業「さつまいも・さといも収穫地産地消のお昼 富田林にて」	
11月15日	大阪市農業フェア（於：長居公園自由広場）	
12月4・7日	大阪エコ農産物説明会（於：東住吉支店）	
2月23日	加美南支店リニューアルオープン	
3月9日	平野支店リニューアルオープン	6月 改正道路交通法施行 シートベルト着用義務
平成21年度		
4月1日	入組式（15名）／辞令交付式／機構変更 経理課新設	4月 天皇・皇后両陛下、ご結婚50年
5月9日	全事業推進決起大会（於：フェイスゲストハウス）	
5月26～27日	女性会旅行 善光寺御開帳 特別参拝と地産地消メニュー 74名	
6月26日	第17回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月10日	支部長懇親会（於：天王寺東映ホテル）	
8月3～5日	新任教職員社会体験受入研修（於：営農促進センター他）1名	
9月4日	年金友の会懇親会日帰り旅行 雄琴温泉「京近江」200名	
10月27～28日	新米等級検査（432袋）	
11月21日	大阪市農業フェア（於：長居公園自由広場）	
12月5日	JAグループ大阪農業祭（於：NHKホール）	
1月4日	信用事業新システム導入（新JASTEM）	
2月12～13日	役員研修旅行 JAトピア浜松 緑花木センター視察	10月 オバマ米国大統領が、ノーベル平和賞受賞
3月3日	女性会文化祭（於：クレオ大阪中央）	11月 米大リーグ、ヤンキース松井秀喜選手がMVP受賞
平成22年度		
4月1日	入組式（9名）／辞令交付式	6月 鳩山由紀夫内閣総辞職、菅直人氏が総理に就任
4月24日	全事業推進決起大会（於：フェイスゲストハウス）	
5月8～9日	JA朝市会 朝市（於：平野支店）	
6月24日	第18回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
7月16日	支部長懇親会（於：天王寺東映ホテル）	
8月19日	食農教育応援事業「夏休みキッズ交流会」JA紀南 豚まん作り他	
9月2～3日	年金友の会親睦旅行 山梨方面 276名	
10月19日	JA大阪市文化セミナー「舞の海秀平氏講演」（於：クレオ大阪中央）	
11月20日	大阪市農業フェア（於：鶴見緑地プール横広場）	
12月16日	JAグループ大阪農業祭（於：NHKホール）	
1月14日	共済優待観劇「五木ひろし公演会」（於：新歌舞伎座）	
2月15～16日	役員研修旅行 北陸 山代温泉	9月 イチロー選手が大リーグ史上初の10年連続200安打を達成
3月26日	食農教育応援事業「イチゴと野菜の収穫体験」	10月 金融ADR制度施行
		3月 東日本大震災が発生

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
平成23年度		
4月1日	入組式（9名）／辞令交付式	7月 サッカー女子W杯で日本が初優勝
5月7日	全事業推進決起大会（於：フェイスゲストハウス）	
5月9日	支部長代表協議会総会（於：がんこ平野郷屋敷）	
6月24日	第19回 通常総代会（於：なんばグランド花月）	
8月29～30日	年金友の会親睦旅行 湯村温泉	
9月7～16日	スペイン・ポルトガル周遊8日間 貯金旅行	
10月31日	支部長代表協議会日帰り研修旅行 JAいずみの・JA紀の里視察	
11月19日	大阪市農業フェア（於：長居公園自由広場）	
12月9日	JAグループ大阪農業祭（於：NHKホール）	
12月16日	防犯訓練（於：東住吉支店）	
1月17～18日	技術部会支部長研修旅行 野菜茶業研究所視察	
2月29日	女性会「家の光大会」文化祭（於：クレオ大阪中央）	10月 世界人口が70億人を突破
3月9日	共済優待観劇「天童よしみ特別公演」（於：新歌舞伎座）	12月 北朝鮮の金正日総書記が死去（享年69）
平成24年度		
4月2日	入組式（8名）／辞令交付式	4月 関越自動車道、防音壁に夜行バスが激突
5月12日	全事業推進決起大会（於：シティプラザ大阪）	
5月29日	支部長代表協議会総会 赤穂きらら祥吉	
6月28日	第20回 通常総代会（於：大阪商工会議所）	
7月8日	大阪産大集合「野菜即売会」（於：咲洲庁舎）	
8月5日	アンパンマン交通安全キャラバン（於：大阪国際交流センター）	
9月1日	鶴見区民まつり「野菜即売会」	
10月25日	合併20周年『感謝の集い』中村美津子・神野美伽公演（於：新歌舞伎座）	
11月17日	大阪市農業フェア（於：鶴見緑地公園）	
12月15日	全農教育応援事業「クリスマス親子料理教室」（於：平野支店）	
2月19日	共済優待観劇「島津重豪 特別公演」（於：新歌舞伎座）	
3月13～16日	JA大阪市ふれあいの旅「カンボジア」	5月 東京スカイツリー開業
平成25年度		
4月1日	入組式（8名）／辞令交付式	5月 三浦雄一郎氏、エベレスト最高齢登頂
4月24日	本店 地鎮祭	
5月29日	技術部会総会（於：天王殿）	
6月27日	第21回 通常総代会（於：大阪商工会議所）	
8月23日	共済推進決起大会（於：リーガロイヤルホテル）	
9月17～20日	合併20年記念 国内貯金旅行 石垣島・小浜島	
10月30日	第1回 JA大阪市ゴルフ大会（於：島ヶ原カントリークラブ）	
11月16日	大阪市農業フェア（於：長居公園自由広場）	
11月25日	加美南支店新築オープン	
1月6日	組合員相談センターオープン	
2月18日	JA大阪市直売所・朝市会 第1回総会	
3月13～14日	年金友の会親睦旅行 片山津温泉	6月 安倍晋三内閣、経済政策「三本の矢」を閣議決定（アベノミクス）
平成26年度		
4月1日	入組式（3名）／辞令交付式	4月 韓国、セウォル号沈没
5月2日	共済普及推進大会（於：ホテルニューオータニ）	
6月23日	本店グランドオープン	
6月27日	第22回 通常総代会（於：本店別館ホール）	
7月1日	直売所「おいで～菜」オープン	
7月5日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	
7月28日	長吉支店グランドオープン	
11月15日	大阪市農業フェア（於：鶴見緑地）	
12月2日	青壮年組織協議会との交流会	
12月13日	ウィンターコンサート（於：本店別館ホール）	
12月15日	貯金残高3,000億円達成	
1月9日	初笑い新春演芸会	6月 富岡製糸場と絹産業遺産群、世界遺産に登録
2月20日	第1回 JA大阪女性・家の光大会（於：本店別館ホール）	8月 広島で豪雨、住宅地に土石流
		9月 御嶽山噴火、戦後最悪の火山災害に
		11月 俳優・歌手の高倉健氏死去

主な出来事年表（平成27年度～令和4年度）

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
平成27年度		
4月1日	入組式（7名）／辞令交付式	
4月25日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	5月 大阪都構想が住民投票で否決される
5月8日	共済普及推進大会（於：ホテルニューオータニ）	6月 改正公選法が成立
6月22日	支部長代表協議会総会 JA おうみ富士直売所おうみんち視察	
6月26日	第23回 通常総代会（於：本店別館ホール）	
7月7日	直売所・朝市視察研修会 道の駅「かなん」他	
8月29日	第1回 カラオケ発表会	9月 改正マイナンバー法が成立
10月31日	第40回 平野区民まつり「野菜即売会」（於：出戸池ランド）	11月 東京の渋谷区と世田谷区で同性カップルを認める
11月25日	JA 共済「交通安全ミュージカル」（於：大阪国際交流センター）	12月 「爆買い」がこの年の流行語大賞に
12月3日	女性会ふれあい購買ツアー 天橋立	
1月19～20日	第61回 JA 全国女性大会（於：ホテル東京イースト21）	3月 北海道新幹線の新青森～新函館北斗が開業
2月17日	共済優待観劇「藤山直美 特別公演」（於：新歌舞伎座）	
3月4日	支部長代表協議会（於：JAバンク大阪中之島倶楽部）	
平成28年度		
4月1日	入組式（7名）／辞令交付式	4月 熊本地震発生、最大震度7を観測
4月16日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	6月 大リーグのイチロー選手が日米通算安打でメジャー記録を抜く
5月24日	第24回 大阪市農協技術部会総会（於：天王殿）	7月 東京都知事に小池百合子氏が初当選
6月24日	第24回 通常総代会（於：本店別館ホール）	8月 夏季オリンピックがブラジル・リオデジャネイロで開幕
7月22日	支部長懇親会（於：スイスホテル南海大阪）	
8月22日	共済事業推進決起大会（於：ホテルモントレグラスミア大阪）	10月 ミュージシャンのボブ・ディラン氏がノーベル文学賞を受賞
10月27～28日	年金友の会親睦旅行 白浜温泉「むさし」	12月 国民的アイドルのSMAP が解散
11月25日	平野支店地鎮祭	1月 ドナルド・トランプ氏が米国第45代大統領に就任
12月17日	JA グループ大阪合同農業祭（於：NHK 大阪放送局）	
1月6日	翼支店 福娘来店	
2月17日	第2回 JA 大阪市女性・『家の光』大会	
3月13日	共済優待観劇（於：新歌舞伎座）	
平成29年度		
4月3日	入組式（19名）／辞令交付式	4月 体操の内村航平選手が全日本選手権10連覇達成
4月22日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	6月 神奈川県あおり運転を受け、家族4人死傷事故発生
5月10日	食農教育教材本贈呈式（於：大阪市役所）	6月 将棋の藤井聡太四段が公式戦29連勝の新記録
6月12～14日	平野支店オープニングフェア	9月 陸上男子の桐生祥秀選手が日本人初の9秒台を達成
6月15～17日	直売所「おいで～菜平野店」オープニングフェア	12月 日本ハムの大谷翔平選手が大リーグエンジェルスに入団
6月23日	第25回 通常総代会（於：本店別館ホール）	2月 冬季オリンピックが韓国・ピョンチャンで開幕
9月17日	女性会読書ボランティア活動（加美・箕小學校）	
10月15日	東住吉区民フェスティバル「農産物即売」	
11月18日	大阪市農業フェア（於：長居公園 自由広場）	
12月10日	水都大阪伝統食まつり 伝統野菜即売（於：大阪天満宮）	
1月18日	難波葱フェスタキックオフセレモニー（於：難波高島屋前）	
2月16日	新生産緑地制度説明会	
平成30年度		
4月2日	入組式（15名）／辞令交付式	5月 アメフト日大選手の危険タックル問題
4月10日	米定温倉庫完成セレモニー	6月 史上初となる米朝首脳会談開催
4月21日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	6月 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連が世界文化遺産に登録
6月14～16日	直売所「おいで～菜平野店」1周年記念フェア	9月 テニス女子の大坂なおみ選手が全米オープン優勝
6月22日	第26回通常総代会（於：本店別館ホール）	10月 京都大学教授の本庶佑氏がノーベル物理学賞を受賞
7月12日	レディースカレッジ「ラ・ラ・ラ♪」開講式	12月 BS・CS 放送で4K・8Kの実用放送開始
8月25日	平野区画整理記念会館での「野菜即売会」	1月 平成最後の新年一般参賀が開催
10月25～26日	年金友の会親睦旅行 上諏訪温泉「ホテル紅や」	2月 政府主催の天皇陛下御在位30周年式典が開催
11月11日	JA 大阪市組合員の集い（於：新歌舞伎座）	
11月17日	大阪市農業フェア（於：花博記念公園/ナミスキホール）	
1月11日	初笑い新春芸芸会（於：本店別館ホール）	
2月2日	組合員アンケート調査開始	
3月5日	女性会と大学生による意見交換会（於：本店別館ホール）	

年月日	JA 大阪市での出来事	社会での出来事
令和1年度（平成31年度）		
4月1日	入組式（15名）／辞令交付式	4月 新元号「令和」を菅義偉官房長官が発表
4月20日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	5月 皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位
5月30日	男の料理教室（於：本店別館料理教室）	5月 元号を「令和」に改元
6月21日	第27回 通常総代会（於：本店別館ホール）	
7月6日	食農教育応援事業「田植え・じゃがいも掘り体験」（於：営農促進センター）	
8月21日	女性会季節の炊き込みご飯販売（於：おいで～菜）	
9月8日	東淀川区民まつり「農産物即売会」	
10月24～25日	年金友の会親睦旅行 山代温泉「ゆのくに天祥」	9月 ラグビーワールドカップ日本大会開幕
11月16日	大阪市農業フェア（於：長居公園 自由広場）	10月 消費税が10%になる
11月25日	第1回 イタリア野菜ライブキッチン・飲食店対象（於：本店別館料理教室）	
12月25日	第1回 なにわの伝統野菜メニュー開発コンテスト（於：帝塚山学院大学）	
1月7日	翼支店 福娘来店	1月 新型コロナウイルスが全世界で大流行
2月21日	支部長代表協議会による「正木明さん講演会」（於：本店別館ホール）	3月 東京マラソンで大迫傑選手が日本新記録更新
令和2年度		
4月1日	入組式（13名）／辞令交付式	4月 新型コロナで緊急事態宣言
5月25日	翼支店オープン（店舗統合：翼南支店）	5月 高校野球夏の甲子園大会中止
6月26日	第28回 通常総代会（於：本店別館ホール）	6月 中国で香港国家安全法案を可決
7月10日	東淀川支店「朝市野菜即売会」	7月 東京都知事選で小池百合子氏が圧勝
8月19～21日	インターンシップ受入	8月 安倍晋三首相が辞任表明
10月1日	内定式	9月 菅義偉内閣が発足
10月20日	加美・加美南店舗統廃合説明会	11月 大阪都構想住民投票、反対多数で大阪市存続
10月30日	城東・茨田店舗統廃合説明会	12月 関越道、大雪で立ち往生
11月25日	第2回 イタリア野菜ライブキッチン・一般対象（於：本店別館料理教室）	1月 ジョー・バイデン氏、第46代米大統領就任
12月1日	翼支店ブランドオープン	3月 東日本大震災から10年
1月7日	翼支店 福娘来店	
3月15日	東淀川支店リニューアルオープン	
令和3年度		
4月1日	入組式（10名）／辞令交付式	4月 男子ゴルフの松山英樹選手がマスターズ・トーナメント 日本人初制覇
4月5日	第2回 JA 大阪市准組合員対策会議	4月 緊急事態宣言（新型コロナウイルス感染症）
6月25日	第29回 通常総代会（於：本店別館ホール）	6月 女子ゴルフ笹生優花選手が全米女子オープン初優勝
7月3日	食農教育応援事業「田植え・じゃがいも掘り体験」（於：営農促進センター）	7月 熱海で大規模な土石流
10月21日	准組合員モニター会議（全3回1回目）（於：平野支店）	7月 大谷翔平選手、球宴で二刀流（大リーグ）
10月25日	茨田支店オープン（店舗統合：城東支店）	8月 東京オリンピック開幕
11月6日	食農教育応援事業「稲刈り・さつまいも掘り体験」（於：営農促進センター）	10月 岸田文雄内閣発足
11月29日	准組合員モニター会議（全3回2回目）「収穫体験・営農促進センター見学」	11月 将棋の藤井聡太九段、最年少四冠
12月8日	第3回 イタリア野菜ライブキッチン・一般対象（於：本店別館料理教室）	1月 トンガで海底火山噴火、近隣国で津波発生
1月7日	翼支店 福娘来店	2月 将棋の藤井聡太九段、10代初の五冠
2月28日	加美支店オープン（店舗統合：加美南支店）	2月 北京五輪で日本のメダル過去最多18個
3月18日	准組合員モニター会議（全3回3回目）「翼支店見学」	2月 ロシアがウクライナに侵攻
令和4年度		
4月1日	入組式（10名）／辞令交付式	4月 知床半島沖で観光船沈没
4月27日	全事業推進決起大会（於：本店別館ホール）	4月 円急落20年ぶりに一時131円台に
5月27～28日	KIRIN presents「おおさかもんマルシェ」で移動販売「おいで～菜」出張販売（於：グランフロント大阪うめきた広場）	5月 沖縄復帰50年
6月24日	第30回 通常総代会（於：本店別館ホール）	5月 大谷翔平選手、メジャー通算100号ホームラン（大リーグ）
6月30日	准組合員モニター会議（全4回1回目）（於：平野支店）	6月 英国エリザベス女王 在位70年
7月2日	食農教育応援事業「田植え・じゃがいも掘り体験」（於：営農促進センター）	7月 安倍晋三元総理、狙撃され死亡
9月16日	准組合員モニター会議（全4回2回目）（於：平野支店）	7月 フィギュアスケート羽生選手プロへ
10月24日	平野支店オープン（店舗統合：瓜破支店）	
10月31日	准組合員モニター会議（全4回3回目）（於：営農促進センター）	9月 英国エリザベス女王死去（享年96歳）
11月5日	食農教育応援事業「稲刈り・さつまいも掘り体験」（於：営農促進センター）	
11月15日	合併30周年記念式典（於：大阪新歌舞伎座）	

あとがき

全国初の政令指定都市での1市1JAとして誕生したJA大阪市。「平成」から「令和」と時代が移り、昨今では更なる大型合併が進みつつあります。JAを取り巻く環境が著しく変化していく中で、30年を迎えたJA大阪を、長年にわたり常に温かく見守っていただき、共に歩んでいただいた組合員・利用者の方々に、この場を借りまして深く感謝申し上げます。

本誌は、組合員・利用者の皆さまと共に築き上げた30年を振り返り、その歴史と思いを未来につなげていきたく作成いたしました。なお、本誌の作成作業は、企画管理部 組織活性化対策課を中心に進めました。不十分な点など多々あろうかとは存じますが、ご容赦賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さま方のご健康と益々のご発展をお祈りすると共に、発刊に際して協力いただいた皆さま方に、心より御礼申し上げます。

常務理事（総務担当） 合羽 雅彦

JA 大阪市合併 30周年記念誌

発行日 令和4年10月1日

発行 大阪市農業協同組合

〒547-0004 大阪府大阪市平野区加美鞍作2丁目2番1号
TEL: 06-6793-8701 FAX: 06-6794-4495

制作 有限会社 林印刷所

〒547-0041 大阪府大阪市平野区平野北2丁目14番2号
TEL: 06-6791-2071 FAX: 06-6794-0847

編集・デザイン プランニングM2 椋浦めぐみ



 JA大阪市

